

# 目 次

1	設置の趣旨及び必要性	1
	(1) 横浜美術短期大学の沿革	
	(2) 横浜美術大学設置の必要性	
	(3) 横浜美術大学の立地条件と進学動向	
	(4) 首都圏における美術系大学への志願動向	
	(5) 横浜美術大学設置に関するアンケート調査	
	(6) 四年制大学開設に向けた基礎調査	
2	教育研究上の目的	8
	(1) 教育研究上の目的	
	(2) 人材の養成についての考え方	
	(3) 芸術系学生の就職進路状況	
	(4) 卒業後の進路の見通しとキャリアサポート	
	(5) 学生に習得させる能力	
	(6) 研究対象とする中心的学問分野	
	(7) 現短期大学との違い	
	(8) 現短期大学及び専攻科の募集停止	
	(9) 1年次・3年次の同時開学	
3	学部、学科等の特色	18
4	大学、学部、学科及び学位の名称	19
5	教育課程の編成の考え方及び特色	19
	(1) 教育課程編成における教養教育の特色等	
	(2) 教育課程編成の実際	
6	教員組織の編成の考え方及び特色	25
	(1) 共通科目における教員組織	
	(2) 専門科目における教員組織	
	(3) 教職課程科目	
	(4) 教員組織の年齢構成等	
	(5) 研究の体制	
7	教育方法の考え方と特色	30
	(1) 領域	
	(2) クラス	
	(3) コース	
	(4) 「領域」選択の方法および「領域」変更の方法	
	(5) 成績の評価	

8	卒業要件と履修	33
	(1) 共通科目	
	(2) 専門科目	
	(3) 履修に関する特記事項	
	(4) GPA制度の導入	
	(5) 教職課程科目	
9	施設・設備等の整備計画	36
	(1) 校地、運動場の整備計画	
	(2) 校舎等施設の整備計画	
	(3) 図書等の資料及び図書館の整備計画	
10	入学者選抜の概要	41
	(1) アドミッションポリシー	
	(2) 入試区分	
	(3) 入試の方法	
	(4) 正規の学生以外の者の受け入れについて	
11	取得可能な資格	44
	(1) 教員免許状	
	(2) ウェブデザイン実務士	
12	編入学に関する計画	45
	(1) 編入学の考え方	
	(2) 既修得単位の認定方法	
	(3) 履修指導方法	
	(4) 教育上の配慮	
	(5) 現短期大学からの編入学	
13	管理運営	47
	(1) 教授会の役割・構成員	
	(2) 教授会の開催頻度	
	(3) 主な審議事項	
	(4) 教授会のもとにおかれる委員会等	
14	自己点検・評価	49
	(1) 基本方針	
	(2) 実施体制	
	(3) 実施の方法	
	(4) 評価項目	
15	情報の提供	50
16	授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み	50

## 1 設置の趣旨及び必要性

### (1) 横浜美術短期大学の沿革

横浜美術短期大学は、学校法人トキワ松学園（大正5年（1916年）創設の常磐松女学校に始まる。）により、昭和41年（1966年）「人間の創造活動の根源を培う美術教育こそ本来の教育の姿である。」という理念のもとに、トキワ松学園女子短期大学造形美術科として創設された。

その後、平成7年（1995年）にトキワ松学園横浜美術短期大学に校名を変更し、平成8年（1996年）には、専攻科・造形美術専攻（大学評価・学位授与機構認定）を設置した。さらに、平成13年（2001年）、校名を「横浜美術短期大学」に変更するとともに、男女共学とし現在に至る。創立以来、「創造性豊かな人間形成」を目指し、一貫して造形美術の教育を行ってきたが、その間、教育の充実を図るため、授業内容の見直し、教職員の拡充強化、施設設備の増設整備等を行うとともに、社会のニーズに応じ、随時、造形美術科のコース・専攻科のクラスの再編を行ってきた。

### (2) 横浜美術大学設置の必要性

文化芸術振興基本法（平成13年施行）にあるように、芸術は、心豊かな活力ある社会の形成にとって、きわめて重要な意義を持っている。芸術はこれまで、人間一人ひとりの創造性をはぐくむと同時に個性を尊重し、真に豊かな社会を創造する役割を果たしてきた。

また、移動手段、情報手段が発達した今日的な社会状況においては、異なった歴史を持ち、異なった文化で育まれた感性を有する人々と共に、人類の健全な発展に向け協力し活動しなければならない。そのような場面で異文化を理解し、垣根を超えてコミュニケーションするためにも、文化芸術が果たす役割は大きい。故に、この分野から社会を構築する人材の育成に力を入れることは必須である。

その意味において、芸術・デザインを創作、創造する人材を育成する最高学府として、芸術・美術大学の教育、研究はさらに充実されるべきである。

美術大学では一般教養、および美術に関わる専門教養を広く教授し、感性教育（見る、感受する、理解する、表現する、洗練する）を柱とした、高次で専門的な美術・デザイン実技を教授し、いち早く異文化を受容し、育んできた横浜の地から本分野を担う人材を育成するものである。

前述のとおり横浜美術短期大学（以下「現短期大学」という。）では、建学の理念に基づき、基礎的表現を根幹とした美術制作、あるいはデザインワークなどの実践的な表現技術を習得させることをめざした教育を行ってきた。しかし、上記の役割を果たす人材を育成するにあたって、現短期大学の2年間の学習では高度な美術教育を実現することは困難であるとの結論に達した。

また、本学園設置のトキワ松学園高等学校では、美術類型クラスを設けて美術

を目指す生徒の育成に努めているが、美術類型クラスに所属するほとんどの生徒は四年制大学を目指している。また、現短期大学では、入学試験において指定校推薦入試制度を設けているが、当該指定校である高等学校においても現短期大学の四年制大学への転換を希望している。（（5）参照）さらに、現短期大学の卒業生にあっては専攻科への志願者が年々増加している。（資料1）このように、本学園の内外から現短期大学の四年制大学への転換が求められている。

そこで、現短期大学造形美術科（入学定員300人）及び同専攻科（入学定員60人）を廃止し、美術学部美術学科（入学定員190人、3年次編入学定員6人）を置く四年制の横浜美術大学を設置するものである。横浜美術大学（以下「本大学」という。）においては、現短期大学の教育理念に基づき、これまでの教育研究上の目的を高度化する。教育研究上の目的については「2教育研究上の目的（1）教育研究上の目的」にて詳述する。

### （3）横浜美術大学の立地条件と進学動向

本大学は、神奈川県横浜市青葉区に設置する。

平成19年度、神奈川県に所在する大学、学部への進学者のうち、53.7%が東京都・神奈川県の高高等学校の出身者である。平成20年度もほぼ変わらず53.6%である。これに近隣の千葉、埼玉、静岡の各県の高高等学校出身者を加えると、平成19年度では、全体の68%が近隣都県の高高等学校出身者である。平成20年度も同様に近隣都県の高高等学校出身者が68%である。また、その内、47%を神奈川県の高高等学校の出身者が占めている。つまり、神奈川県に所在する大学、学部は、安定した志願者を確保可能な状況にある。（数値は、文部科学省生涯学習政策局調査企画課『平成19年度学校基本調査速報』及び『平成20年度学校基本調査速報』に基づく。）

本大学の最寄り駅である東急田園都市線青葉台は、渋谷駅から25分の距離にあり、都心からのアクセスがよい。加えて、近年、東急田園都市線に接続する地下鉄網が整備されている。その結果、埼玉県、千葉県からの志願者を確保できる可能性が高くなった。また、横浜市は、静岡県東部からは十分な通学エリアでもある。従って、本大学は、東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡を中心とした近隣都県からの学生確保が可能な立地条件にある。

なお、過去3年間、現短期大学の入学者に占める近隣都県の高高等学校出身者の割合は、平均77%である。（資料2）

(4) 首都圏における美術系大学への志願動向

首都圏に所在する美術系大学の平成 19 年度及び 20 年度の志願者及び入学者について調査した結果は、次表のとおりである。

設置区分	大学名	平成 19 年度				平成 20 年度			
		入学定員	志願者	志願倍率	入学者	入学定員	志願者	志願倍率	入学者
国立	東京藝術大学 美術学部	240	4,506	18.8	243	240	4,327	18.0	242
私立	多摩美術大学 美術学部	800	7,969	8.0	1,107	800	8,602	8.6	1,128
	造形表現学部	200				200			
		計 1,000		計 1,000					
	武蔵野美術大学 造形学部	986	6,996	7.1	※	986	11,047	11.2	1,027
	女子美術大学 芸術学部	541	1,564	2.9	635	541	1,370	2.5	635
	東京造形大学 造形学部	380	2,918	7.7	475	380	2,628	6.9	473
	日本大学芸術学部 美術学科	60	2,879	18.0	189	60	2,603	16.3	181
デザイン学科	100	100							
	計 160				計 160				
	計	3,067	22,326	7.3	—	3,067	26,250	8.6	3,444

※は公表してないことを示す。

この結果によれば、首都圏における私立美術系大学の平均志願倍率は平成 19 年度 7.3 倍、平成 20 年度 8.6 倍といずれも高い志願倍率となっている。

従って、首都圏に位置する本大学における学生確保についても十分可能であると判断した。(資料 3)

(5) 横浜美術大学設置に関するアンケート調査

現短期大学の指定校である高等学校を対象に、横浜美術大学設置に関するアンケート調査を行った。

概要は次の通りである。

① 調査対象地域・回収数・回収率・有効サンプル数

調査対象地域	依頼数	回収数	回収率	有効サンプル数
全 国	568	211	37.1%	211
関 東	297	133	44.8%	133
神奈川県	156	74	47.4%	74
東京都	82	35	42.7%	35

② 調査対象

調査対象は、現短期大学が指定校推薦入試制度において、指定校とする全ての高等学校（校長・進路指導主任・美術科教員等）。

③ 調査方法

高等学校への郵送による調査票配布・回収。

④ 調査期間

平成 20 年 7 月 10 日～平成 20 年 8 月 11 日

⑤ 調査結果（資料 4）

項目	地 域	全 国	関 東	神奈川県	東京都
横浜美術大学の設置の実現を望む （是非・出来れば）		73%	79%	81%	85%
横浜美術大学の指定校推薦枠を希望 する（是非・出来れば）		82%	88%	92%	91%
横浜美術大学の指定校推薦枠増加を 希望する（是非・出来れば）		38%	49%	56%	52%
横浜美術大学への進学希望者は増加 すると思う（かなり・ある程度）		47%	61%	61%	71%
美術系大学への進学希望者は増加す ると思う（かなり・ある程度）		31%	38%	31%	55%

横浜美術大学の設置については、各地域とも実現を望む回答が高い数値を示しており、特に、関東、神奈川県、東京都において高くなっている。また、引き続き指定校を望む回答も同様の結果となっており、指定校の推薦枠増加については、東京都、神奈川県において 50% を超える指定校が希望する旨の回答をしている。

次に、横浜美術大学への進学希望者の増加の予測については、関東、神奈川県、東京都において 60% を超える指定校が増加すると回答している。

以上の結果から、横浜美術大学が首都に近く交通至便という立地条件にあること、首都圏に美術系大学の選択肢が増えること、また、現短期大学のこれまでの実績に

ついて一定の評価を得ていることなどから、指定校である各高等学校においては、現短期大学の四年制大学への改組転換を望んでいると判断できる。

従って、前述の美術系大学への入学志願者の動向と本調査結果により、本大学における学生確保は十分可能であると判断している。

#### (6) 四年制大学開設に向けた基礎調査（株式会社日本ドリコムによる調査）

学生確保の見通しに関して、第三者機関である株式会社日本ドリコム（以下「ドリコム」という。）による基礎調査を実施した。調査エリア一都十県（神奈川県・東京都・千葉県・埼玉県・山梨県・静岡県・長野県・新潟県・茨城県・栃木県・群馬県）

#### 絵画系類似学部・学科 志願状況

##### ①2008年度

校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
了徳寺大学	芸術		20	13	0.7
常葉学園大学	造形		40	49	1.2
東京造形大学	造形	美術/彫刻	28	74	2.6
女子美術大学	芸術	立体アート	12	45	3.8
玉川大学	芸術	ビジュアル・アーツ	30	116	3.9
和光大学	表現	芸術	30	118	3.9
東京家政大学	家政	造形表現	48	229	4.8
武蔵野美術大学	造形	彫刻	29	158	5.4
女子美術大学	芸術	絵画	63	444	7.0
多摩美術大学	美術	彫刻	26	187	7.2
東京造形大学	造形	美術/絵画	52	549	10.6
多摩美術大学	美術	絵画	190	2191	11.5
武蔵野美術大学	造形	油絵	126	1599	12.7
武蔵野美術大学	造形	日本画	36	459	12.8

##### ②2007年度

校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
了徳寺大学	芸術		22	21	1.0
常葉学園大学	造形		52	57	1.1
明星大学	造形芸術		55	113	2.1
女子美術大学	芸術	立体アート	15	47	3.1
武蔵野美術大学	造形	彫刻	33	122	3.7
和光大学	表現	芸術	35	137	3.9
東京造形大学	造形	美術/彫刻	28	138	4.9
多摩美術大学	美術	彫刻	30	152	5.1
東京家政大学	家政	造形表現	56	323	5.8
玉川大学	芸術	ビジュアル・アーツ	40	235	5.9
女子美術大学	芸術	絵画	63	446	7.1
多摩美術大学	美術	絵画	190	1445	7.6
武蔵野美術大学	造形	油絵	140	1107	7.9
武蔵野美術大学	造形	日本画	40	332	8.3
東京造形大学	造形	美術/絵画	52	591	11.4

↓

A. 全校の平均志願倍率	8.5倍
B. 高倍率校を除いた平均志願倍率	4.4倍

▼絵画系類似学部・学科の志願倍率からの推計

40名 × (4.4~8.5倍) = <b>176名~340名</b>
-------------------------------------

↓

A. 全校の平均志願倍率	6.2倍
B. 高倍率校を除いた平均志願倍率	5.9倍

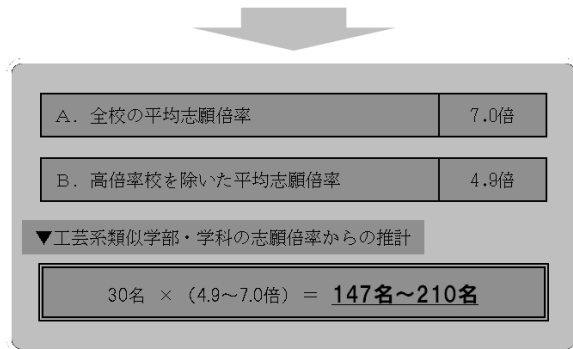
▼絵画系類似学部・学科の志願倍率からの推計

40名 × (5.9~6.2倍) = <b>236名~248名</b>
-------------------------------------

## 工芸系類似学部・学科 志願状況

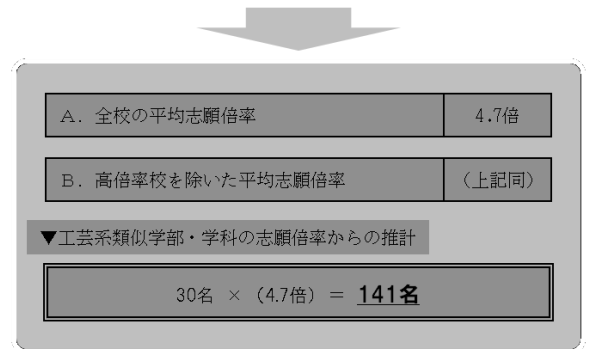
### ①2008年度

校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
東京家政学院大学	人文	工芸文化	30	5	0.2
女子美術大学	芸術	工芸	25	105	4.2
東京家政大学	家政	造形表現	48	229	4.8
多摩美術大学	美術	工芸	40	310	7.8
東京造形大学	造形	デザイン/テキスタイル	16	137	8.6
武蔵野美術大学	造形	工芸工業デザイン	133	1265	9.5



### ②2007年度

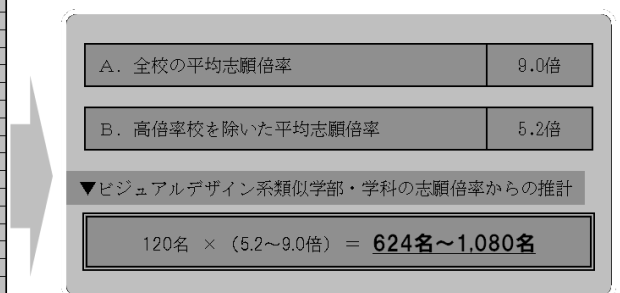
校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
東京家政学院大学	人文	工芸文化	30	17	0.6
明星大学	造形芸術		55	113	2.1
文化女子大学	造形	生活造形	40	101	2.5
多摩美術大学	美術	工芸	40	213	5.3
女子美術大学	芸術	工芸	25	136	5.4
東京家政大学	家政	造形表現	56	323	5.8
武蔵野美術大学	造形	工芸工業デザイン	133	819	6.2
東京造形大学	造形	デザイン/テキスタイル	18	145	8.1



## ビジュアルデザイン系類似学部・学科 志願状況

### ①2008年度

校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
湘南工科大学	工	機械デザイン工	39	26	0.7
筑波学院大学	情報コミュニケーション	情報メディア	45	37	0.8
長岡造形大学	造形	ものデザイン	16	25	1.6
長岡造形大学	造形	建築・環境デザイン	16	25	1.6
尚美学園大学	芸術情報	情報表現	60	94	1.6
長岡造形大学	造形	視覚デザイン	32	53	1.7
駒沢女子大学	人文	空間造形	20	34	1.7
駒沢女子大学	人文	映像コミュニケーション	20	44	2.2
デジタルハリウッド大学	デジタルコミュニケーション		55	140	2.5
女子美術大学	芸術	メディアアート	45	120	2.7
玉川大学	芸術	ビジュアル・アーツ	30	116	3.9
千葉工業大学	工	デザイン科学	147	578	3.9
和光大学	表現	芸術	30	118	3.9
静岡文化芸術大学	デザイン	メディア造形	25	99	4.0
静岡文化芸術大学	デザイン	空間造形	25	112	4.5
東京工業大学	芸術	メディアアート表現	50	228	4.6
東京工業大学	芸術	デザイン	65	309	4.8
東京家政大学	家政	造形表現	48	229	4.8
拓殖大学	工	工業デザイン	40	209	5.2
静岡文化芸術大学	デザイン	生産造形	32	182	5.7
玉川大学	芸術	メディア・アーツ	40	262	6.6
東洋大学	ライフデザイン	人間環境デザイン	125	869	7.0
東京工業大学	芸術	映像	49	341	7.0
女子美術大学	芸術	デザイン	73	568	7.8
共立女子大学	家政	建築・デザイン	43	338	7.9
武蔵野美術大学	造形	映像	70	584	8.3
多摩美術大学	美術	環境デザイン	80	675	8.4
武蔵野美術大学	造形	空間演出デザイン	120	1033	8.6
東京造形大学	造形	デザイン/インダストリアル	23	206	9.0
武蔵野美術大学	造形	工芸工業デザイン	133	1265	9.5
桜美林大学	総合文化学群		65	660	10.2
多摩美術大学	美術	生産デザイン	100	1099	11.0
武蔵野美術大学	造形	デザイン情報	97	1133	11.7
多摩美術大学	美術	グラフィックデザイン	180	2956	16.4
立教大学	現代心理	映像身体	106	1773	16.7
武蔵野美術大学	造形	基礎デザイン	73	1353	18.5
東京造形大学	造形	デザイン/グラフィック	39	815	20.9
武蔵野美術大学	造形	視覚伝達デザイン	102	2529	24.8



2007年度

校名	学部	学科/専攻	募集人員	志願者数	志願倍率
浜波学院大学	情報コミュニケーション	情報メディア	55	21	0.4
デジタルハリウッド大学	デジタルコミュニケーション		90	169	1.9
明星大学	造形芸術		55	113	2.1
長岡造形大学	造形	ものデザイン	16	33	2.1
湘南工科大学	工	機械デザイン工	39	93	2.4
尚美学園大学	芸術情報	情報表現	55	138	2.5
文化女子大学	造形	生活造形	40	101	2.5
長岡造形大学	造形	視覚デザイン	32	83	2.6
駒沢女子大学	人文	映像コミュニケーション	25	67	2.7
駒沢女子大学	人文	空間造形	25	69	2.8
女子美術大学	芸術	メディアアート	50	158	3.2
拓殖大学	工	工業デザイン	64	206	3.2
長岡造形大学	造形	建築・環境デザイン	14	48	3.4
東京工芸大学	芸術	メディアアート表現	50	188	3.8
和光大学	表現	芸術	35	137	3.9
静岡文化芸術大学	デザイン	生産造形	32	149	4.7
東洋大学	ライフデザイン	人間環境デザイン	130	620	4.8
静岡文化芸術大学	デザイン	メディア造形	25	122	4.9
武蔵野美術大学	造形	空間演出デザイン	120	593	4.9
玉川大学	芸術	メディア・アーツ	40	199	5.0
東京工芸大学	芸術	デザイン	65	334	5.1
武蔵野美術大学	造形	映像	70	374	5.3
東京家政大学	家政	造形表現	56	323	5.8
玉川大学	芸術	ビジュアル・アーツ	40	235	5.9
武蔵野美術大学	造形	工業デザイン	133	819	6.2
千葉工業大学	工	デザイン科学	129	907	7.0
静岡文化芸術大学	デザイン	空間造形	25	177	7.1
共立女子大学	家政	建築・デザイン	48	359	7.5
武蔵野美術大学	造形	デザイン情報	100	778	7.8
東京工芸大学	芸術	映像	51	398	7.8
東京造形大学	造形	デザイン/インダストリアル	26	203	7.8
桜美林大学	総合文化学群		65	545	8.4
多摩美術大学	美術	環境デザイン	80	676	8.5
女子美術大学	芸術	デザイン	73	650	8.9
武蔵野美術大学	造形	基礎デザイン	73	722	9.9
多摩美術大学	美術	生産デザイン	85	1143	13.4
武蔵野美術大学	造形	視覚伝達デザイン	102	1533	15.5
多摩美術大学	美術	グラフィックデザイン	180	3044	16.9
立教大学	現代心理	映像身体	100	1938	19.4
東京造形大学	造形	デザイン/グラフィック	44	898	20.4

A. 全校の平均志願倍率 7.7倍

B. 高倍率校を除いた平均志願倍率 5.2倍

▼ビジュアルデザイン系類似学部・学科の志願倍率からの推計

120名 × (5.2~7.7倍) = 624名~924名

類似学部・学科 志願状況からの横浜美術大学志願者予測

領域別の類似学部・学科倍率から算出した横浜美術大学志願者予測一覧は以下の通り。

		08年度		07年度	
		類似系学部全校	高倍率除く	類似系学部全校	高倍率除く
絵画系	類似学部 平均倍率	8.5倍	4.4倍	6.2倍	5.9倍
	平均倍率からの推計志願者数	340名	176名	248名	236名
工芸系	類似学部 平均倍率	7.0倍	4.9倍	4.7倍	4.7倍
	平均倍率からの推計志願者数	210名	147名	141名	141名
ビジュアルデザイン系	類似学部 平均倍率	9.0倍	5.2倍	7.7倍	5.2倍
	平均倍率からの推計志願者数	1080名	624名	924名	624名

『高倍率』といった特殊なケースを除いたパターンで試算をすると、横浜美術大学の志願者予測は以下のようになる。

	最低予測数	最高予測数
絵画系	176名	236名
工芸系	141名	147名
ビジュアルデザイン系	624名	624名
上記計	941名	1,007名

最低 941名 ~ 最高 1,007名

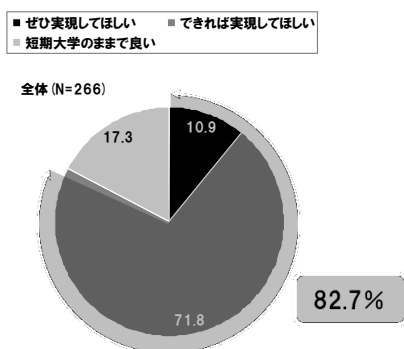
975名 ±35名

約 975名 前後の志願者が見込めると予測

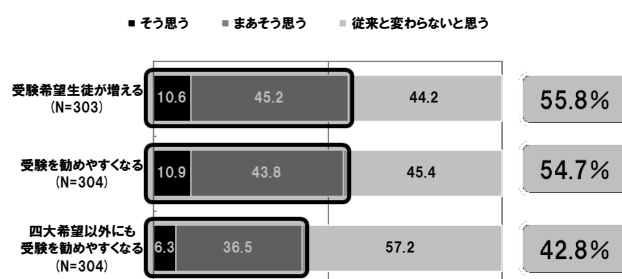
## 高校進路指導教員アンケートから見る学生確保の可能性

対象エリア内の高校進路指導教員に向けたアンケートの結果は以下の通り（抜粋）。

Q. 横浜美術短期大学が美術系四年制大学に移行することについて、進学先の選択肢のひとつとしてどう思われますか？



Q. 横浜美術短期大学が美術系四年制大学に移行した場合、どのように評価されますか？



横浜美術短期大学が美術系四年制大学を開設することについて、8割以上の高校指導教員が実現を望んでいる。

また開設した際には、実際に『受験希望生徒が増える』『受験が勧めやすくなる』との意見が8割を超えた。

現在四年制大学以外を希望している生徒の流入も、4割程度の教員が見込めると回答しており、従来は短期大学・専門学校を目指していた生徒からも志願が見込める可能性が高い。

## 2 教育研究上の目的

### （1）教育研究上の目的

横浜美術大学における、教育研究上の目的は次の五点である。

- ①基礎・基本的な表現技術を確実に習得させる。
- ②専門的な表現技術を習得させる。
- ③実践的な表現技術を習得させる。
- ④一般教養を習得させる。
- ⑤専門的な教養を習得させる。

①～⑤のいずれも、四年制大学として、四年間という時間があってこそ可能となる。また、四年制大学にふさわしい体系的な教育課程と、それを担う教員組織、さらに、それを裏付ける施設設備が必要である。

①～⑤の諸目的について詳述する。

「①基礎・基本的な表現技術を確実に習得させる。」という目的は、現短期大学においても同様であった。しかしながら、短期大学における二年間という期間では、量的・質的に限定されていた。四年制大学においては、特に最初の二年間に、基礎・基本的な表現技術を習得するための時間が確保される。つまり、基礎・基本的表現技術に関わる学習を量的に保証できる。それが質的な転換を可能にする。したがって、後の専門的な表現技術につながる基礎・基本的表現技術が、真に自らのものとなる。

この目的を実現するための、主たる教育課程は、専門科目としての基礎実技「美術リテラシー」および一般教養としての「造形科目群」である。

基礎・基本的表現技術に関わる学習を量的かつ質的に保証する事例として「美術リテラシー（デジタル）」・「美術リテラシー（DTP）」・「美術リテラシー（Web）」を挙げる。現短期大学において、実践的なコンピュータ基礎実技教育は主に映像メディアデザイン及びグラフィックデザインⅠ・Ⅱコース内で限定的に実施されていたが、四年制大学においては、ビジュアルデザイン領域のみならず絵画領域・工芸領域を含む全領域に所属する学生が学ぶことができ、実社会が求める今日的なコンピュータスキルを全学的に教育することが可能となる。また、それらは新設される専用コンピュータ実習室の最新コンピュータ機器によって実施される。

他にも基礎・基本的表現技術に関わる学習を量的かつ質的に保証する事例としてビジュアルデザイン領域の一・二年次において履修する「ビジュアルデザイン基礎A（グラフィックデザイン）」・「ビジュアルデザイン基礎B（映像メディアデザイン）」・「ビジュアルデザイン基礎C（イラストレーション）」・「ビジュアルデザイン実践A（グラフィックデザイン）」・「ビジュアルデザイン実践B（映像メディアデザイン）」・「ビジュアルデザイン実践C（イラストレーション）」を挙げる。現短期大学において、それぞれのコース内において基礎実技教育を独自に実施してきた。四年制大学においては、ビジュアルデザイン領域であれば、所属する一・二年生は三年次にコースを選択する前の段階として、グラフィックデザイン、映像メディアデザイン、イラストレーションの三分野の専門性に準拠したこれら基礎実技教育科目をあまねく履修し、三年次以降の専門性の高い実技教育に必要な、知識と表現技術を習得することが可能となる。

「②専門的な表現技術を習得させる。」という目的は、前述した、基礎・基本的な表現技術を基盤として成り立つ。現短期大学においては、この目的を達成するにあたって、やはり二年間という期間に制限されていた。専攻科の、さらなる二年間によって、ある一定レベルまでは可能になっていたものの、体系性の面から、限界があった。二年プラス二年ではなく、四年間というひとまとまりの時間を得ることによって、体系的な教育が可能となる。そして、より高いレベルの専門的な表現技術の習得につなげる。

この目的を実現するための、主たる教育課程は、一年次から四年次にかけて、各領域からコースへと展開する専門科目群である。

具体例として、ビジュアルデザイン領域映像メディアデザインコースのインスタレーションに関する科目が挙げられる。現短期大学の映像メディアデザインコースの授業においては映像やアニメーションなど制作したコンテンツをモニターやスクリーンでプレビューさせることまでを主な最終目標としてきた。四年制大学では、映像インスタレーション作品としてどのように空間を構成しコーディネートするかまでも学習していく。

また、ビジュアルデザイン領域グラフィックデザインコースにおいても、グラフィックデザイン教育の従来からの柱であったタイポグラフィー・エディトリアル、ビジュアルコミュニケーションという分野に加え、デジタルクリエーションという分野の実技教育科目

を新設し、コンピュータ機器を多用する実社会でのデザイン制作現場に順応できる、高いコンピュータスキルと豊かな創造性を兼ね備えた人材育成が可能となる。

他、工芸領域ではコンピュータ制御機器を導入することでより実践的で高度な作品制作に取り組むことが可能となる。特にテキスタイルデザインにおいては、コンピュータ制御によるドビー織機やインクジェット染色プリンタの導入により、服地の織り物や長尺物のプリントといった、プロダクト製品により近いかたちでの作品制作についての学習を可能とする。

「③実践的な表現技術を習得させる。」という目的は、上述①②の延長上にある。特に、量的・質的に充実した教育がなされ、基礎・基本的な表現技術および専門的な表現技術を身につけた学生が、さらなる目的の実現を目指す。それは、自らを確立し、自ら発想し、自ら表現する、というまさに実践的レベルである。作家として自己表現を行ううえでも、デザイナーとして社会に参画していくうえでも、この実践的レベルでの表現技術が必要である。

この目的を実現するための、主たる教育課程は四年次における「美術研究」と「卒業制作」である。特に四年制大学において新設される「美術研究」では、専門性に長けた各担当教員が「卒業制作」の礎となる専門的な知識、表現技法を教授し、また各履修学生が「自らを確立し、自ら発想し、自ら表現する」という自己探求を行うことによって、制作研究テーマを深く絞り込む貴重な機会を得ることとなる。結果としてそれらが四年間の教育の集大成である「卒業制作」に、より一層高い成果をもたらすこととなる。

上記①～③を補完するのが「④一般教養を習得させる。」と「⑤専門的な教養を習得させる。」という目的である。学士課程の中核となるのは教養教育である。現代の社会は知識基盤社会化している。その社会においては、一般教養および美術に関わる専門的教養を身につけた人間が、専門的で実践的な表現技術を身につけることによって、広く社会に貢献できる。

これらの目的を実現するための、主たる教育課程は、一年次から四年次にわたって配置された「一般教養科目」および「専門教養科目」、加えて「教職課程科目」である。

教育課程の編成については「5 教育課程の編成の考え方及び特色」、教員組織については、「6 教員組織の編成の考え方及び特色」の(5)研究の体制、施設・設備については「9 施設・設備等の整備計画」「16 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み」の「エ 研究の支援」において詳述する。

## (2) 人材の養成についての考え方

現短期大学は、上述の通り、昭和 41 年に創立以来、一貫して「人間の創造的活動の根源を培う美術こそ本来の教育の姿である。」を教育理念として掲げてきた。この教育理念は四年制の学士課程においても不変である。この教育理念に基づき、本大学では、次の①から③までを兼ね備えた人材の育成を目指す。

この①から③までを兼ね備えた人材こそが、異文化を理解し、そして相互のコミュニケーションを可能とするからである。さらには、こういった人材こそが心豊かな活力のある社会を形成し、真に豊かな社会を実現する役割を担いうるであろう。

- ① 美術・デザインの専門的な表現技術を身につけた人材。
- ② 美術・デザインの理論的な知識を身につけた人材。
- ③ 学士課程を修めた人間として、社会に貢献できる人材。

具体的には次のとおりである。

美術・デザインの現場において、アーティスト、デザイナーとして自立できる人材である。あるいは文化創造に関わる人材である。例えば、広告・出版物等の制作におけるグラフィックデザイナーやイラストレーター、映像・アニメーション等の制作におけるクリエイター、家具・日用品・宝飾品等のプロダクトデザイナー、あるいはテキスタイルデザイナー、そして造形作家である。

また、美術・デザインの理論的な知識を活かし、美術・デザインの知識、技術、魅力等を社会に伝達していく人材である。広い意味での教育者である。例えば、高齢化社会を見据えた様々な生涯学習の現場、あるいは地域の子どもたちへの情操教育における指導者等である。

さらに、美術・デザインの学習を通して培った創造性や感性を、分野を問わず広く企業活動・社会活動等において発揮できるような人材である。職種を超え、視覚的に美しく、わかりやすい資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行える人材、また社会的関心を高める創造的な企画を立案できる感性の高い人材である。

なお、本大学では免許資格取得のために教職課程（中学校教諭「美術」、高等学校教諭「美術」）を申請する予定である。また、ウェブデザイン実務士資格取得が可能である。

### （3）芸術系学生の就職進路状況

『平成 19 年度学校基本調査速報』・『平成 20 年度学校基本調査速報』の「大学の関係学科別 進路別 卒業者数」に基づけば、芸術系卒業者の就職率と進学率は次表のとおりになる。

年度	就職	進学
平成 19 年度	56%	13%
平成 20 年度	55%	14%

\* 就職の項目は「就職者」「一時的な仕事に就いた者」の合計である。

\* 進学の項目は「大学院等への進学者」「専修学校・外国の学校等入学者」の合計である。

大学卒業者全体の就職率は、平成 19 年度は 70%、平成 20 年度が 71% である。この数値と比較すれば、芸術系の就職率は 14 ポイント下回っている。芸術系学生の進

路意識は、他分野の学生の進路意識とは異なっている。例えば、作家活動をしている者がいる。それは、一概に数値としては現われない。

他方、大学卒業者全体の進学率は、平成 19 年度が 14%、平成 20 年度が 14%である。進学率に関しては、芸術系もほぼ平均値である。

(4) 卒業後の進路の見通しとキャリアサポート

① 卒業後に予想される主な職種、就職先

現短期大学の就職状況調査に基づけば、業種、職種は次表のとおりとなる。

横浜美術短期大学 就職内定者 業種別割合（平成17年度～19年度）

業種	平成17年度	平成18年度	平成19年度
製造業	14%	20%	15%
情報通信業	6%	14%	15%
運輸業	6%	0%	0%
卸売業、小売業	19%	31%	29%
学術研究、専門・技術サービス業	48%	22%	33%
複合サービス事業	0%	2%	0%
教育、学習支援業	6%	4%	0%
宿泊、飲食サービス業	0%	2%	0%
医療・福祉	0%	2%	2%
金融・保険業	0%	2%	2%
その他	0%	2%	4%

この業種別割合の項目は総務省統計局・統計センターの大分類に基づくものであり、例えば平均して割合の多い「学術研究、専門・技術サービス業」の内訳として多くを占めるのは中分類「専門サービス業（他に分類されないもの）」と中分類「広告業」である。中分類「専門サービス業（他に分類されないもの）」で多いのはデザイン制作にかかわる業種であり、商業デザインなどグラフィックデザインにかかわる業種からインテリア・クラフトデザインまでのデザインに関する専門的なサービスを提供する業種である。また、中分類「広告業」の多くは、いわゆる広告代理店やインターネット情報サービス業などであり、依頼人のために広告に係わる総合的なサービスを提供する業種である。ただし、インターネットに係わる業種で、映像や音楽等のコンテンツ配信やポータルサイト運営等の情報サービス事業所は、大分類「情報通信業」に分類され、近年就職先として増加傾向にある業種でもある。

横浜美術短期大学 就職内定者 職種別割合（平成17年度～19年度）

職種	平成17年度	平成18年度	平成19年度
グラフィックデザイナー等の 専門的、技術的職業	30%	51%	25%
その他の専門的、技術的職業	27%	2%	21%
事務	11%	6%	15%
営業、販売	25%	35%	27%
サービス（教育）	3%	0%	0%
その他	5%	6%	13%

職種で最も割合が高いのは総務省統計局・統計センターの大分類に基づく「専門的、技術的職業従事者」であり、これについて表では、「グラフィックデザイン等の専門的、技術的職業」と「その他の専門的、技術的職業」の大きく2つに分けて表記している。前者は印刷、広告、出版等のグラフィックデザイン及び Web デザインにかかわる職種が多くを占めている。また、後者の「その他の専門的、技術的職業」はディスプレイ、舞台美術、アパレルデザイン、染色などの立体、工芸系職種と映像制作、アニメーター、カメラマンなどの映像メディアにかかわる職種となっている。更に小数ではあるがコピーライターやプログラマー、情報処理技術者もこの分類に含まれている。また、表の「サービス（教育）」は学芸員や工芸指導員であり、本来の大分類としては「専門的、技術的職業従事者」に入るが、ここでは分けて表記している。

以上のような現短期大学調査結果から本大学の卒業後の希望職種としては、「専門的・技術的職業従事者」に分類される中の「美術家・写真家・デザイナー」が多くを占めることは明確である。これを更に小分類すれば、商業デザイナーとしてはグラフィックデザイナー、イラストレーター、カメラマン、エディトリアルデザイナーからアートディレクターなど広告や宣伝に関わるもの。また、更に商品企画に係わる職種としてパッケージデザイナーや SP（セールスプロモーション）デザイナーなどである。また、情報メディアの制作や配信に係わる分野としては、映像クリエイター、アニメーター、CG クリエイターや各種ゲームコンテンツ、インタラクティブコンテンツや Web コンテンツの制作に係わる職種があり、今後他分野と係わりながら多様化、増加する職種であることが予想される。また、立体や工芸に係わる職種としてはインテリアデザイナーや舞台美術デザイナーなどの空間に係わる分野、テキスタイルデザイナー、アパレルデザイナー、工業デザイナーなど身の回りの製品デザインに係わる職種がある。

また、四年制大学設置に伴って専門的技術や知識の向上が見込まれるとすれば、商業美術に係わる以外にも教育者として専門能力を教授する側に立つ職種につく者も多くなると思われる。更に美術家として絵画、彫刻、工芸、写真など芸術作品の創作活動を続けていく卒業生が増加することも見込まれるであろう。

## ② キャリアサポート

現短期大学では学生委員会の中に就職部会を設けており、就職支援・キャリアサポートプログラムの内容などを検討し、次のとおり実施してきた。

<学生スキルアップにつながる資格取得講座>

色彩検定

Photoshop クリエイター能力認定試験

Illustrator クリエイター能力認定試験

溶接技師資格

<外部講師を招聘してのキャリアサポートプログラム>

就職活動

卒業後の進路研究

業界・企業研究

卒業生講演

特別講演（デザイナー、映像クリエイター、作家等）

自己分析・自己PR対策

履歴書・エントリーシートの書き方

就職活動におけるマナー

面接対策

<教職員によるキャリアサポート>

進路相談

パソコンセミナー

ポートフォリオの作成指導

履歴書・エントリーシート作成指導

就職活動の方法や対策指導

模擬面接

<模擬テスト等>

SPI、一般常識試験模擬テスト

エントリーシート模擬テスト

現短期大学は、地元駅ビルや横浜市内の商業施設において、事業者との共同企画による学生作品の展覧会や地元児童生徒を対象としたワークショップなどのイベントをここ数年来行っている。本大学においても、その内容を拡充し、キャリアサポートを行なっていく。また、産学協同プロジェクトにも積極的に参画する計画である。（資料5）

また、本大学では、後述する通り、授業科目として「キャリアデザイン講座」や「ボランティア講座」を設置する。これらの科目を中心にキャリア教育を行い、教育内容と現実が遊離しないための工夫をする。

さらに、四年制大学設置後は、大学院への進学希望者は増加すると予想できる。現短期大学専攻科では、これまで多くの学生が大学院へ進学している。大学院進学についての指導実績がある。この指導実績を活かし、大学院等への進学希望者に対しては、専任教員が中心となり個人指導を行い、学生が志望する大学院へ進学できるようサポートする。（資料6）

なお、教職課程履修者に対しては、教員採用試験対策の講座等を設ける。

## (5) 学生に習得させる能力

現短期大学は、前述のとおり「人間の創造活動の根源を培う美術こそ本来の教育の姿である。」を教育理念として掲げてきた。この教育理念は「美術教育を通して創造的な人間を育成する。」との意味である。そのために、学生に習得させる能力とは、主として、次の二点である。

- ① 確実な基礎・基本的表現技術とそれに基づく専門的表現技術
- ② 確実な基礎・基本的教養と美術に関わる専門的教養

詳述すれば、次のようである。

本大学は、美術を専門とする大学であるから、当然、美術・デザインの専門的な表現技術を習得させることを目指す。そのために、基礎・基本的な実技を確実に習得させる。それ無しに、専門的・創造的な表現技術は確立しないからである。また、基礎・基本的な技術の習得が、変動の激しい社会における表現活動に適応する能力となるからである。

同様に、本大学は学士課程である。つまり、分野を問わず、学士課程として学生に習得させるべき能力がある。端的に言えば教養である。ただし、形式的に教養科目を配列するだけでは、科目同士の関連性のない、無秩序な配列となる。教養を身につけるためには、特定の観点、例えば「美術」という観点が必要である。「美術」という具体的な観点によって、そこに学生が、関連性と意味を見いだせるからである。その意味で、本学においては、すべての教養科目を、美術と関連づけて配置している。つまり、美術がコアとなり、その周りに関連する科目を配列している。例えば「英語」であれば、学生が英語で書かれた美術書やカタログを読んだり、作品に英語名をつけたりする場合に必要となる。つまり「美術と関連」しているのである。言い換えれば、単に英語を勉強するのではなく、美術を学ぶために、あるいは将来的に美術に関わる仕事をするという観点から英語を学ぶことによって、結果として英語が身に付く。

このように、他の科目においても、たとえ、表面的に関連性が見えないとしても、学ぶことにより、学生が美術という観点から教養科目を見た場合、関連性を見出すはずである。そのことが、結果として、教育研究上の目的のひとつである教養へとつながる。

また、専門教養として、美術理論や美術史を学習する場合には、その中に含まれるべき知識がある。例えば、歴史、社会、経済の状況、あるいはその時代の宗教、思想、教育制度等である。こういった、全体との連関において、例えば美術理論を理解するのでなければ、真に理解したことにはなりえない。

さらに、実技においても、学生自身が使っている素材、取り組んでいる題材、あるいは用いている技法等に関する知識は不可欠である。そこにもまた、歴史、理論、思想等がある。

ある特定の科目、あるいはその内容を起点として、広く他の知識と関連づけられる

とき教養が身に付く。

言い換えれば、本大学において学生は美術教育を通して教養を学ぶのである。

#### (6) 研究対象とする中心的学問分野

本大学において研究対象とする中心的学問分野は、芸術分野における美術である。美術・デザイン制作研究を中心として、それに関わる学術研究を行う。

研究の体制と支援等については「6 教員組織の編成の考え方及び特色」における「(5) 研究の体制」と、「16 教育内容方法の改善を図るための組織的な取り組み」における「エ 研究の支援」において詳述する。

#### (7) 現短期大学との違い

本大学における「人材養成の目的」は、現短期大学造形美術科及び専攻科における教育研究上の目的と方向性は変わらない。ただ、それが高度化する点において違いがある。現短期大学造形美術科及び専攻科における教育課程を再構築し、高度化する目的を達成する。この点について、詳述する。

上述の通り、現短期大学は、昭和41年に創立以来43年にわたり、短期大学でありながら、横浜市唯一の美術大学として、様々な役割を果たしてきた。

平成8年には、定員45名（現在60名）の専攻科を設置した。過去5年間（平成15年度～19年度）、卒業生の30パーセント以上が専攻科へ進学している。専攻科修了生は、大学評価・学位授与機構の審査を経て「学士（芸術学）」の学位を取得する。過去5年間（平成15年度～19年度）の取得率は、修了生の約90パーセントである。専攻科設置以来、572人が修了時に学位を取得した。事実上、四年制大学と同等の機能を果たしている。

専攻科への進学希望者が増加している要因はいくつかある。

- ① 学生が、短期大学の教育を受け、同じ教育環境のもとで学習を継続、専門性を高めようとしている。
- ② 学生が、短期大学の教育を受けた結果、自らが専門とする分野を見出し、専攻科において本格的に学ぼうと志している。
- ③ 高等教育を受けることが一般化するようになり、四年制大学志向が高まっているにもかかわらず、四年制美術大学の数は、他の分野の大学に比して少ない。このような状況から、現短期大学においても、現短期大学・専攻科というシステムを四年制大学と同等の学士課程とみなして、入学する学生が増加している。

しかし、美術教育を考えた場合、短期大学・専攻科というシステムでは、短期大学が2年間の課程であり、専門性を高めるために必要な基礎教育の時間が十分とれていない実状である。従って、基礎教育を充実し、専門性の高度化を図るためには、4年間の一貫した教育システムが不可欠であるとの結論に達し、四年制大学を設置することとした。

四年制大学の設置に際しては、高度化した目的を達成するために、専門科目

だけでなく共通科目の充実を図る。そのために教員組織を見直し、一般教養・専門教養を担当する専任教員を配置する。後述するように、英語の必修化、専門教養科目における必修科目の増設を図る。

(8) 現短期大学及び専攻科の募集停止

現短期大学は、平成 21 年度をもって募集停止とする。同様に専攻科についても平成 21 年度をもって募集停止とする。

(9) 1 年次・3 年次の同時開学

本大学の開設に伴い、現短期大学は募集停止するが、現短期大学の専攻科への進学を希望する短期大学の在校生の進路を保障する必要があるので、平成 22 年度開設時での 3 年次の同時開学を行う。この同時開学に伴う教育環境、施設設備条件の整備については、開設時からの 1・3 年次授業の開講、専任教員の配置、現有施設で対応し、学生への履修指導は 3 年次編入当初のオリエンテーション等による個人指導の徹底、休暇等を利用した補習授業の実施で対応する。なお、履修モデル等については「12 編入学に関する計画」にて詳述する。

### 3 学部、学科等の特色

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「3 高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」の「(2) 大学の機能別分化」では大学の機能として次の七つを挙げている。

- ① 世界的研究・教育拠点
- ② 高度専門職業人養成
- ③ 幅広い職業人養成
- ④ 総合的教養教育
- ⑤ 特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育・研究
- ⑥ 地域の生涯学習機会の拠点
- ⑦ 社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）

本大学が美術・デザインの専門的な表現技術や理論的な知識を身につけた職業人を育成するとともに、美術・造形分野の幅広い教養を身につけた人材を育成することは当然であるが、さらに、本大学が重点を置くのは「⑤特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育研究」（以下⑤）である。ここに、横浜美術大学美術学部美術学科の個性・特色がある。⑤に主たる重点を置き、他に「⑥地域の生涯学習機会の拠点」（以下⑥）及び「⑦社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）」（以下⑦）の比重を高くする。

⑥に関して言えば、本大学は横浜市青葉区に設置する。川崎市・町田市と隣接しており、渋谷駅から最寄りの青葉台駅まで 25 分という立地条件である。周辺の人口は、例

えば、横浜市 364 万人、川崎市 139 万人である。横浜市唯一の美術大学として、生涯学習の拠点となるべき責任を有する。すなわち、美術に関する生涯学習の機会を、本大学の生涯学習センターを通じて、提供していく。

生涯学習センターの組織はセンター長を学長が務め、主任を専任教員が務め、運営を専任教員と事務職員が担当する。

その内容は、本学キャンパス内の 6 号館 6A-21 教室にて、年間開講科目数は 15 講座程度、延べ受講者数は約 200 名を想定している。それは、単に成人を対象とするプログラムだけでなく、広く小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象とした、美術振興のためのプログラムも企図している。同様に、⑦に関して言えば、横浜は「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を宣言している。横浜の名を冠する大学として、社会貢献機能（地域貢献）を積極的に果たしていく。

美術という特定の専門的分野の教育・研究（⑤）を通じて、地域に生涯学習の拠点として（⑥）、地域の美術振興に貢献（⑦）していく計画である。

#### 4 大学、学部、学科及び学位の名称

大学、学部、学科、学位の名称を次の通りとする。

大学の名称：横浜美術大学	Yokohama College of Art and Design
学部の名称：美術学部	Faculty of Art and Design
学科の名称：美術学科	Department of Art and Design
学位の名称：学士（美術）	Bachelor of Fine Arts

（1）本学の名称を「横浜美術大学」とする理由は次の通りである。

- ① 横浜市唯一の美術大学である。
- ② 「横浜美術短期大学」という名称が高等学校に浸透している。
- ③ 現短期大学のこれまでの伝統・実績を継承している。
- ④ 現短期大学の教育目的が学士課程において高度化するのであり、理念における継続性がある。
- ⑤ 端的な名称ゆえに社会的通用性や英訳の際の国際的通用性がある。

（2）学部・学科を「美術学部」「美術学科」とする理由は次の通りである。

- ① 本学の教育研究上の中心的学問が美術である。
- ② 端的な名称ゆえに社会的通用性や英訳の際の国際的通用性がある。

（3）学位の名称を「学士（美術）」とする理由は次の通りである。

- ① 本学の教育研究上の中心的学問分野は芸術学における美術である。
- ② 端的な名称ゆえに社会的通用性や英訳の際の国際的通用性がある。

#### 5 教育課程の編成の考え方及び特色

（1）教育課程編成における教養教育の特色等

本大学では教育課程を共通科目と専門科目の二つに区分する。さらに教職課程

科目を設ける。

それぞれの区分の説明に先立って、教育課程編成における教養教育について、具体的な工夫・特色を述べる。

教育課程編成における教養教育の具体的な工夫・特色は次の三点である。

### ① 初年次教育の充実

高等教育に進学する者の「学力」が低下している。それは「読み書き」といった一般的な「学力」ばかりでなく、美術における「学力」も同様である。

大学における美術の学習は、ある一定程度以上の表現技術が身につけていなければ成り立たない。専門的な実技科目は、ある一定程度以上の表現技術を前提としている。しかも、それは、ある特定の領域の表現技術だけでは不十分である。後述するとおり、本大学では専門領域として絵画・工芸・ビジュアルデザインを設定する。いずれの領域を専門としようが、絵画・彫刻・工芸・デザインの基礎的表現技術は身につけておかなければならない。

また、今日の新しい分野としての情報メディア表現技術も欠かせない。

そこで、共通科目における「アカデミックリテラシー」と専門科目における「美術リテラシー」を設置し、初年次教育を充実させる。「アカデミックリテラシー」は、一般教養における初年次教育・導入教育である。「美術リテラシー」は、専門分野である美術・デザインにおける初年次教育・導入教育である。これらの科目を必修科目として履修させることにより、美術における基礎・基本的「学力」を確実にし、大学での学習にスムーズに適応できるようにすることを意図している。

### ② 教養教育としての基礎実技・演習

本大学は、「⑤特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育研究」（「我が国の高等教育の将来像」）に主眼を置いている。従って、教養教育には学士課程としての一般教養教育と美術大学としての特殊的教養教育が必要となる。美術大学としての特殊的教養教育には、例えば、基礎的な実技がある。学生がいかなる専門分野に進路を選択しようが、美術大学の学生として身につけなければならない基礎的な表現技術がある。本大学では、その基礎的な表現技術を教養教育の重点として位置づける。

### ③ 専門教養科目の充実と造形演習の設置

美術・デザインに関する教養科目の充実を図るため、美術理論・美術史に加え、「造形演習」なる科目を設定している。専門分野には、専門分野において培ってきた専門的な知識・技術がある。これまでは、その知識・技術は専門分野内においてのみ共有され、「縦割り」の傾向が強かった。本大学では、これまで専門分野内においてのみ共有されていた知識・技術を「造形演習」という形にして共通

科目とした。つまり、専門の教養化である。自らが専門とする分野とは異なる分野の専門的知識・技術を習得し、自己表現の幅を拡大させることを目標としている。

## (2) 教育課程編成の実際

### 1) 共通科目の教育課程編成

共通科目の中心は教養教育である。

共通科目には①一般教養、②専門教養の二分野がある。

#### ① 一般教養

一般教養科目には、a. 初年次教育、b. 人文、c. 社会・歴史、d. 体育、e. 外国語、f. 造形、g. メディア表現、h. 総合の八つの科目群がある。

a. 初年次教育「アカデミックリテラシー」及び e. 外国語「英語Ⅰ」を必修科目とし、1年次の配当科目とする。b. 人文、c. 社会・歴史及び h. 総合から、それぞれ4単位以上を選択必修とする。また、f. 造形、g. メディア表現から、合わせて4単位以上を選択必修とする。

b. 人文、c. 社会・歴史、d. 体育のすべての科目をそれに適した年次配当をした。ただし、後に必要となった場合には、配当年次に拘わらず履修可能とする。「教養を学んでから専門」という一方向的な単線的なシステムを脱するためである。高等教育が一般化することにより学生は多様化する。それは単に「学力」の差異が大きくなるという問題だけではない。学び方も多様化する。当然ながら、個人がおかれている状況によって、抱く問題意識も異なる。例えば、専門的な学習をしている高学年だからこそ教養を必要とする場合がある。また、自らの就職等を見据えて、事前に学ばなければならない科目が明確になる場合もある。

いわば、学内におけるユニバーサルアクセスの実現である。

学生の興味・関心に基づく選択を尊重しつつ、幅広く調和のとれた教養の習得を目指す。それぞれの科目群についてより詳しく説明すると、次のとおりである。

a. 初年次教育は1年生の必修科目である。大学に入学してきたばかりの学生が、円滑に大学でのアカデミックな学習に適応していくために必要となる、基礎・基本的な知識・教養の習得を目指す。学士課程において、学生が学士力を培うための基礎固めの科目である。つまり教養教育への導入科目である。

b. 人文科目群には、芸術の基礎となる、人間理解に関わる科目としての哲学・教育学・心理学・文学に関連する科目を配置する。

c. 社会・歴史科目群には、本学の学生が造形作家、デザイナーを目指すために不可欠な、法律的な知識を習得する科目を中心に歴史学、経済学といった科目を配置する。

d. 体育科目群には、健康や体力に関する基礎知識を習得させるため体育を

配置する。

e. 外国語科目群では、英語Ⅰを1年次の必修科目とし、それを発展させた科目である英語Ⅱ、初習外国語としてフランス語を配置する。

f. 造形科目群では、造形表現として、美術・デザインの基礎・基本的四領域である彫刻・描画・工芸・デザインを配置する。

g. メディア表現科目群には、美術・デザインにおいて表現ツールとなる情報メディアに関わる科目を配置する。情報処理概論、コンピュータリテラシー、コンピュータハードウェア、コンピュータネットワーク、コンピュータ編集、コンピュータグラフィックスの基礎的な六科目に加え、ウェブデザインⅠ、ウェブデザインⅡ、ウェブデザイン演習、ウェブプログラミング演習、マルチメディア演習、の五科目、そして実習科目として3D表現を配置する。

h. 総合科目群にはaからeまでの科目群から得た知識に基づいて、総合的に学習する科目を配置する。複数の科目群から得た知識を総合的に用いて、さらに一般教養を深め、能力を高めることを目標とする。原典講読、教養演習、環境科学といった科目や、自らの将来を見据えたキャリアデザイン講座、そして社会との接点を見出すためのボランティア講座である。本学において、ボランティア講座は、単なるボランティア活動の単位認定以上の意味を持つ。先に記述した通り、「横浜市は『文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ』を宣言している。横浜の名を冠する大学として、社会貢献機能（地域貢献）を積極的に果たしていかなくてはならない。」横浜市では「横浜トリエンナーレ」を代表例として、美術・デザインに関わる文化事業が盛んである。このような文化事業に、美術・デザインの様々な表現技術を学んでいる学生が、ボランティアスタッフとして参加する。これは、美術・デザインの実践活動あるいはインターンシップの機会として提供されることになる。

## ② 専門教養

専門教養分野には、a. 美術理論、b. 美術史、c. 造形演習の三つの科目群がある。

a. 美術理論科目群における色彩概論、造形美術論Ⅰ及びデザイン概論並びに  
b. 美術史科目群における西洋美術史Ⅰを必修科目とする。また、日本美術史Ⅰ又は東洋美術史のいずれかひとつを必修とする。c. 造形演習科目群においては、学生が専攻する領域以外の分野の科目を2単位選択必修とする。

a. 美術理論科目群には、美術・デザインという専門分野における基礎・基本的な教養科目を配置する。造形美術論や現代美術論のような美術理論、造形図法や構図論のような実技に関わる理論、映像論や絵本論といった専門領域における基礎理論、芸術企画論や博物館概論といった美術の社会理論等がある。

b. 美術史科目群には、美術・デザインを学ぶ者が、基礎・基本的な教養として知っておかねばならない歴史に関する科目を配置する。

c. 造形演習科目群には、絵画、工芸、ビジュアルデザインがある。基礎・基本的な表現技術を身につけた学生が、他領域の表現方法の学習によって、自らの表現の幅を広げるための科目である。

## 2) 専門科目の教育課程編成

専門科目には、①基礎実技と②絵画領域、③工芸領域、④ビジュアルデザイン領域の三領域がある。そして、全領域に共通する⑤卒業制作がある。

専門科目区分における特徴は、後述する全領域の基礎として①基礎実技を設けている点である。基礎実技には「美術リテラシー」として、導入・彫刻・描画・工芸・デザイン・デジタル（コンピュータによるデザインをいう。以下同じ）・DTP・Web を配置する。「美術リテラシー」は、専門実技における初年時教育として、1年生の必修科目である。とりわけ美術リテラシー（導入）においては、大学に入学してきたばかりの学生が、円滑に専門実技の学習へと適応するために、基礎・基本的な実技の習得を目指す。いわば、美術におけるリメディアル教育である。それに引き続き基礎実技を学び、自らの美術・デザイン分野における適性を見出す役割を果たす。

「美術リテラシー」に基づき、②絵画領域、③工芸領域、④ビジュアルデザイン領域の三領域に分かれる。本大学が専門科目の領域を絵画・工芸・ビジュアルデザインの三つとするのは、次の理由からである。

### ○ 普遍的な領域に特色を見出す。

今日、アート・デザインの世界においても、ジャンル同士の出会いと融合により新たな展開と多様化を示し、ダイナミックに変化している。本大学の専門教育における教育方針としては、現代のアート・デザインを教育するにあたって、この様な状況での先端の表層部だけを捉えることなく、その根幹にあるもの、すなわちアート・デザインの普遍的な表現技術を専門教育の原点とした。リベラルアーツカレッジが教養教育に特色を見出すように、本大学はこの普遍的な領域構成による美術教育に特色を見出すのである。

○ 美術学科には、ファインアートとしての絵画領域、また、造形表現という意味においては同じであるが、制作目的の異なる工芸領域及びビジュアルデザイン領域の三領域を抽出し、並列的に設置し学生が横断的に他の領域を学び、互いの分野から刺激を受けて表現の広がりが新たな発想へと繋がる様に意図した。

### ① 基礎実技

基礎実技分野には、美術リテラシー科目群として、導入・彫刻・描画・工芸・デザイン・デジタル・DTP・Web を配置する。

大学に入学してきたばかりの学生が、円滑に専門実技の学習へと適応するために、基礎・基本的な実技の習得を目指す。

## ② 絵画領域

絵画領域には、絵画科目群として、デッサン・ドローイング、油画、テンペラ画、版画、そしてミクストメディア表現などを内容とする科目を配置する。ファインアートとしての絵画は自己表現、絵画としての人・社会とのコミュニケーションを図ることにその動機があるが、ここではさらにその表現力・発想力を持った感性が他領域でも柔軟に対応出来るように科目を配置した。

## ③ 工芸領域

工芸領域には、a. 共通、b. クラフトデザイン、c. テキスタイルデザインの三つの科目群がある。

a. 共通科目群には、素材表現基礎、平面表現基礎、立体表現基礎等の工芸領域における、素材の知識とその基礎的な成形技術を習得するための科目と造形の基礎である平面表現、立体表現の構成要素について系統的に学ぶ科目を配置している。

b. クラフトデザイン科目群では、金属と木を主体とした素材の特性や、専門的な成形技術、あるいは形と機能性について学び、段階的にプロダクト製品などを主体とした「もの」をデザイン、制作することを学ぶ科目を配置する。

c. テキスタイルデザイン科目群では、繊維素材の特性や専門的な表現技法である織、染、フェルトワーク、ファイバーワーク等を学び、段階的に平面・立体表現そして空間表現を構成するテキスタイル製品などを主体とした「もの」をデザイン、制作することを学ぶ科目を配置する。

## ④ ビジュアルデザイン領域

ビジュアルデザイン領域には、a. 共通、b. グラフィックデザイン、c. 映像メディアデザイン、d. イラストレーションの四つの科目群がある。

a. 共通科目群には、ビジュアルデザイン共通基礎とグラフィックデザイン、映像メディアデザイン、イラストレーションそれぞれの基礎・基本的な科目を配置する。

b. グラフィックデザイン科目群では、次の三つに大別した科目を配置する。タイポグラフィー・エディトリアルデザインでは、文字を中心としたグラフィック表現を学ぶ。ビジュアルコミュニケーションでは、媒体制作を通して視覚的な情報伝達について学ぶ。デジタルクリエーションでは、コンピュータを活用した実践的な画像処理技術を学ぶ科目を配置する。

c. 映像メディアデザイン科目群では、写真や映像の表現技術に加え、コンピュータグラフィックスやアニメーションなどの演出法なども広く習得し、それら映像作品を伝達していく空間や人の感覚を考慮したインターフェースデザインなども考えていく分野とする。インタラクティブな表現手法を総合的に学び、実践

制作を通しテクノロジーアート、キネティックアートなど、時代に合ったデジタル環境を身につけ、映像から身体そして空間への広がり創造するコースである。

d. イラストレーション科目群では、グラフィカルな視覚表現領域における言語や社会的問題等をテーマとした発想力、及び本の装丁等のデザインワークを念頭に置いた描写力を養成する科目を基礎とし、さらにエディトリアルデザインや絵本制作を柱とした実践的なイラストレーション表現を学ぶ科目を配置する。

#### ⑤ 美術研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ

3年次における絵画・クラフトデザイン・テキスタイルデザイン・グラフィックデザイン・映像メディアデザイン・イラストレーション各専門コース科目において習得した表現技法を基盤に、担当する教員が、実習形式とゼミ形式を組み合わせ、総合的な制作研究指導を行う。学生は、自らが専門とする分野を担当する教員の研究室において、卒業制作に向けて、制作テーマと表現方法の設定・試作やスキース・制作というサイクルによる実践的な指導を受ける。この科目はⅠ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳと段階的に区分する。

この内、美術研究Ⅳを演習形式の授業とし、美術研究の総まとめとする。

#### ⑥ 卒業制作

4年間の学習成果の集大成として、絵画・クラフトデザイン・テキスタイルデザイン・グラフィックデザイン・映像メディアデザイン・イラストレーション各々の担当教員の専門研究分野において、学生自身の自己表現の確立を目標に作品制作を行い、完成作品を展示発表する。

#### 3) 教職課程科目

本学では、教職課程を設置し中学校教諭一種免許状（美術）・高等学校教諭一種免許状（美術）の取得を可能とする。

## 6 教員組織の編成の考え方及び特色

「設置の趣旨及び必要性」において新設する学士課程における「理念」は不変であるとした。「教育研究上の目的」の方向性についても不変であるとした。また、現短期大学は、短期大学・専攻科というシステムによって、事実上、四年制大学と同等の機能を果たしてきており、大学評価・学位授与機構の審査を経て学士（芸術学）の学位取得者を輩出してきた。現短期大学・専攻科の教員組織には、このような教育実績がある。それをベースに、本大学の教員組織については、現短期大学・専攻科の教員組織を拡充し、編成する。その際、研究面のみならず、教育面での実績・業績を評価する。

ただし、同時に「教育研究上の目的」は同じ方向性において高度化する旨を述べた。また、学士課程にふさわしく、また、本大学の特色となる教養教育を行う必要

性を述べた。そのため、次のように教員を配置する。

#### (1) 共通科目における教員組織

共通科目には、①一般教養、②専門教養の二分野がある。教員組織の編成の考え方及び特色を端的に言えば、次の通りである。すなわち、専任教員が75%の科目を担当し、理念・教育内容・教育指導に一貫性・系統性を持たせる点である。以下、①一般教養、②専門教養について説明する。

##### ① 一般教養

一般教養には、a. 初年次教育、b. 人文、c. 社会・歴史、d. 体育、e. 外国語、f. 造形、g. メディア表現、h. 総合の科目群がある。それぞれの科目群(d. 体育を除く)には、当該分野の教育・研究業績を有する専任教員を一人以上配置している。

a. 初年次教育「アカデミックリテラシー」と e. 外国語「英語 I」は全て専任教員が担当する。大学を中心とする高等教育機関における豊富な教育歴を有する教員を配置する。

b. 人文では、哲学概論・教育哲学・教育学概論・文学を当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員が担当する。哲学・教育学概論・教育哲学の担当教員は教職課程関連科目の担当教員でもある。哲学概論における基本的な人間理解を芸術分野のみならず、教育学概論、教育哲学、さらに教職関連科目へとつなげることが可能となる。文学を担当する教員は e. 外国語「英語 I」を担当する教員でもある。必修科目である「英語 I」で学ぶ内容を文学の学習へとつなげることが可能となる。両者とも、対象となる学生を理解し、一貫した効果的な教育指導を実現する上で、必要な教員配置である。

c. 社会・歴史では、法学・日本国憲法・法学特論・知的財産法 A・知的財産法 B を当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員が担当する。これらの科目は、造形作家、デザイナーを目指すためにも不可欠な、法律的な知識を習得する科目である。法学における基本的な法律理解に基づき、日本国憲法・法学特論・知的財産法 A・知的財産法 B へと展開する。内容についての一貫性を保つことができる。対象となる学生を理解し、一貫した効果的な教育指導を実現する上で、必要な教員配置である。

e. 外国語「英語 I」は当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員が担当する。「英語 I」の担当教員は「文学」「身体表象論」の担当教員でもある。英語を単なるコミュニケーションのツールとしてだけでなく、文学作品や文化を理解するための基礎知識・ツールとなるような指導が可能となる。対象となる学生を理解し、一貫した効果的な教育指導を実現する上で、必要な教員配置である。

f. 造形については、そのほぼ全てを専任教員が担当する。

g. メディア表現については、情報処理概論・コンピュータリテラシー・コンピュータハードウェアを当該分野の、特に理工系の教育歴・研究業績を有する専

任教員が担当する。そのことにより、単にコンピュータの技術を習得させるのではなく、自然科学分野、理工系の理論的知識に基づいたコンピュータ理解につなげることができる。現在では、美術・デザイン分野においてコンピュータを使用する機会が多い。そのための基礎を固める上で、必要な教員配置である。

h. 原典講読及び教養演習を担当する専任教員は、共通科目における一般教養、専門教養科目を担当している教員である。また、ボランティア講座は、前述の通り、様々な文化事業に「美術・デザインの様々な表現技術を学んでいる学生が、ボランティアスタッフとして参加する。これは、美術・デザインの実践活動あるいはインターンシップの機会として提供されることになる。」そのため、絵画系教員、デザイン系教員の二人の専任教員が担当する。この科目に関しては、「ボランティア」についての専門的な研究業績というよりは、むしろ指導経験が重要となる。したがって、各々、ボランティアあるいは学外実習に関わる指導経歴を有する教員を配置した。

専門教養分野には、a. 美術理論、b. 美術史、c. 造形演習の三つの科目群がある。前述した「本学の特色となる教養教育」を担う分野である。a. 美術理論、b. 美術史の両分野を担当する専任教員は 10 名である。また、c. 造形演習については、主として専門科目を担当する教員が、全ての開講科目を担当する。

#### a. 美術理論

美術理論を担当する専任教員は、美術・デザイン制作における業績をも有している。理論と実技を遊離させないための教員配置である。常に制作を念頭において、美術理論を教授できるような教員配置である。また、身体表象論を担当する教員は、英語 I と文学を担当する専任教員である。一般教養科目と専門教養の一貫性を保った教育指導が可能となるような配置である。

#### b. 美術史

美術史には大別して二つの系統がある。西洋と日本・東洋である。両系統にそれぞれ専任教員を配置している。西洋美術史 I、西洋美術史 II、西洋美術史特論、西洋工芸史を専任教員が担当することにより、西洋美術に関する一貫した指導が可能となる。また、同じ教員は、アカデミックリテラシー、原典講読及び教養演習を担当する。学生の学習到達度を把握しながらの指導が可能となる。日本美術史 I、日本美術史 II、東洋美術史を担当する専任教員においても同様である。また、同じ教員が、博物館概論を担当する。両者とも、対象となる学生を理解し、一貫した効果的な教育指導を実現する上で、必要な教員配置である。それについて、十分な教育歴、業績を有している。

#### c. 造形演習

造形演習を担当する教員は、専門科目を担当する専任教員である。

### (2) 専門科目における教員組織

専門科目には、①基礎実技、②絵画領域、③工芸領域、④ビジュアルデザイン

領域の三分野（領域）がある。そして、全領域に共通する⑤卒業制作がある。

本大学では、これら専門科目（実技）のほとんどにおいて、オムニバス形式をとっている。これは、美術・デザイン実技の授業内容が、様々な専門的表現技法から成り立っているため、複数の教員を必要とするからである。また、成績評価においても、個性的・個別的になる作品制作に、複数の教員が関わることによって、より客観性のある評価が可能となるからである。オムニバス形式の授業の実施においては、オムニバス担当専任教員の一人がその科目におけるコーディネーターとなり、科目ごとにオムニバス科目担当者会議を実施する。コーディネーターは、授業運営の計画、立案、推進の中心的役割を担い、兼任教員を含む担当教員間における教授内容の分担、個々の履修学生における習熟過程の成果確認及び個人的ケアを行い、最終的な成績評価の責任を負う。

全学的には、領域教科会議およびコース教科会議によって連携体制をつくり、授業の実施状況や成績評価についての全般的な検討を行う。上記の取り組みによって、授業内容の質を担保する。

上記の連携体制等については、各領域における一授業科目を事例として、「オムニバス授業運営事例」を資料7として添付する。

#### ① 基礎実技領域

基礎実技領域には美術リテラシー科目群がある。リメディアル教育としての導入にはじまり彫刻・描画・工芸・デザイン・デジタル・DTP・Webを配置している。これらの科目のほとんどを専任教員が担当する。担当する専任教員は、基礎実技に関する豊富な教育歴を有しており、指導力が高い。

#### ② 絵画領域・工芸領域・ビジュアルデザイン領域

専門科目である三領域には、科目群として、絵画・クラフトデザイン・テキスタイルデザイン・グラフィックデザイン・映像メディアデザイン・イラストレーションがある。全ての科目群に、当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員を配置する。美術・デザインにおける専門科目の授業形態の中心は実技である。領域を問わず、本大学の専門科目に関わる教員は、単に実技だけではなく、美術・デザインの制作現場を十分に理解している必要がある。従って、教育・研究業績として美術・デザインの制作実務の経験が不可欠である。本大学では、この点を重視している。絵画領域の教員は、制作者としての業績を有しており、なおかつ大学における十分な教育歴を有している。工芸領域には、制作者としての業績及び大学における教育歴を有する教員を配置している。ビジュアルデザイン領域における制作は、単なる制作ではなく、常に、クライアント等との社会的関係を踏まえて行う。従って、制作実務の経験をもち、実務としての目線において指導できる教員の配置が不可欠である。とりわけ、グラ

フィックデザイン、イラストレーション科目群においては実務経験を豊富に有する教員を配置する。つまり、グラフィックデザイナー、イラストレーターとしての実務に関する業績を有する教員を配置する。

また、実技指導を適切に行うため、最大でも学生 40 名につき教員一人以上を配置する。

### ③ 美術研究

当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員を配置する。実技指導を適切に行うため、最大でも学生 40 名につき教員一人以上を配置する。

### ④ 卒業制作

当該分野の教育歴・研究業績を有する専任教員を配置する。実技指導を適切に行うため、最大でも学生 40 名につき教員一人以上を配置する。

## (3) 教職課程科目

本大学では、教職課程を設置し専任教員を置く。

本大学の学生は、美術・デザイン制作に関する実技を専門として学ぶ。実技に関する学習を十分に行うことを考慮して、教職課程には、教育学理論研究に関わる教育学理論系教員と、中・高の教育現場経験を有する教育実践理論系教員を配置する。いわば、教育に関する理論と実践の両輪をそろえるような教員配置とする。実技科目が多いという特徴を考慮し、バランスをとるために、理論はより理論的な面を強調する。同時に、教育現場に基づいた実践理論を展開する。つまり、美術・デザイン実技・教育学理論・教育実践理論のバランスである。

「教職の意義」教職入門を、実践理論系教員が担当する。「教職の基礎理論」においては教育学概論・教育哲学を教育学理論系専任教員が担当する。「教育課程・指導法」では教育方法論と道徳教育の研究を教育学理論系教員が担当し、美術教育論・美術科教育法Ⅰ・美術科教育法Ⅱ・特別活動の指導法を実践理論系教員が担当する。「生徒指導・教育相談」では生徒・進路指導の研究を実践理論系教員が担当する。教育実践演習を実践理論系教員が担当する。教育実習の研究を実践理論系教員が担当する。教育実習Ⅰと教育実習Ⅱは教職課程に関わる科目を担当する専任教員が担当する。

#### (4) 教員組織の年齢構成等

平成 25 年度 4 月時点での、教員組織の年齢構成については次表のとおりである。

専任教員の年齢構成表

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

教員数	年齢ごとの専任教員数 (助教以上)						平均年齢
	70 以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29 以下	
28	0	7	11	10	0	0	53 歳

※「就業規則」に定める教育職員の定年は満 67 歳であるが、本表で該当するものは居ない。(資料 8)

#### (5) 研究の体制

前述の通り、本大学において研究対象とする中心的学問分野は、芸術分野における美術である。美術・デザイン制作研究を中心として、それに関わる学術研究を行う。

本学は、一学部一学科であるから、この研究のための体制は、学部長を中心として、全教員の連携協力のもとに行う。具体的には、絵画・工芸・ビジュアルデザインの各領域研究室と共通科目・教職課程研究室から成り立つ。各研究室主任を中心に、研究上の連携協力をはかる。また、本学の教育上の特色となる、美術の導入教育や基礎教育について、共通科目研究室を中心とした研究体制をとる。

研究環境および支援体制については、十分な研究費、研究時間、研究設備を用意する。研究費については、個人研究費に加え、共同研究費を用意し、教員からの研究計画を審査して給付する。また、外部の研究資金獲得を奨励し、その研修会を企画している。さらに、将来的には、教員の学位取得や留学を奨励するシステムの導入を検討する。研究環境及び支援体制については、「16 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み」において詳述する。

## 7 教育方法の考え方と特色

### (1) 領域

「学士課程教育の構築に向けて (審議のまとめ)」の「(大綱化以降の教育課程の変化)」には次のような指摘がある。

「ア 教育課程全体の中で専門教育の比重が増していること (基礎教育や共通教育については、履修単位の減少、専門基礎教育の組み込みなど。専門教育との結びつきの強い学部 (例：医療、家政、芸術系など) においては、専門教育の早期化や高度化が生じている一方、高学年向けの共通教育や基礎教育はあまり普及していない。)」

繰り返し述べるように、本学が主として果たすべき機能は「⑤特定の専門的分野 (芸術、体育等) の教育研究」(「我が国の高等教育の将来像」) である。従って、この指摘を重く受け止めなければならない。この指摘に対しては、上述したよう

に、教育課程編成における工夫・特色である次の三点によって対応している。

- ① 初年次教育の充実
- ② 教養教育としての造形・情報メディア表現
- ③ 専門教養科目の充実と造形演習の設置

①②③に関わる共通科目を1～4年にバランスよく配列している。

ただし、この分野では、当然、特殊な専門技術教育を行う必要がある。また、それは、初年次より、段階的に行っていく必要がある。言い換えれば、時間をかけて身につけさせる必要がある。従って、基礎・基本的な実技教育を含めた教養教育を行いながら、同時進行的に、相互補完的に、専門実技教育を行っていく必要がある。

そのため、入学した学生は、それぞれ自らの希望する「領域」に所属する。すなわち、絵画領域・工芸領域・ビジュアルデザイン領域である。

領域の受け入れ人数は、概ね次のように想定している。

絵画領域 40 名

工芸領域 25 名

ビジュアルデザイン領域 125 名

「領域」選択の方法及び「領域」の変更の方法については(4)にて後述する。

## (2) クラス

それぞれの領域に所属した学生は、さらに15～40人弱程度のクラスに分かれる。各領域をそれぞれ、絵画2クラス・工芸2クラス・ビジュアルデザイン4クラスに分けて各種の指導にあたる。主として、必修科目の授業はクラス単位に行う。クラスには担任を配置する。担任は、クラスガイダンス、履修指導、個別面談、進路相談等を行う。期待される効果としては、教育の質の向上のみならず、例えば、学生に「居場所」ができ、中途退学等の防止につながる。個に即した履修指導によって、学習意欲が向上する。進路相談による就職率が向上する。(資料9)

## (3) コース

学生は、学科内、各領域の基礎的な学習に基づき、3・4年次において、それぞれの希望する専門科目群を履修する。この専門科目群をコースと呼ぶ。学生はこのコースに所属して、専門実技の指導を受ける。その際、学生20人に対し一人の教員を配置する。

コースの受け入れ人数は、概ね次のように想定している。

絵画コース 40 名

クラフトデザインコース 15 名

テキスタイルデザインコース 10 名

グラフィックデザインコース 55 名

映像メディアデザインコース 30 名

イラストレーションコース 40 名

(4) 「領域」選択の方法及び「領域」変更の方法

< 「領域」選択の方法 >

- ① 入学試験志願書類提出時に、所属希望領域を選ぶ。
- ② 入学式後に美術学科ガイダンスを受ける。
- ③ 領域別ガイダンスを受ける。
- ④ 領域別ガイダンス終了後、正式に所属希望領域を決定する。
- ⑤ 所属領域の指導の下、履修登録を行う。

\*所属希望領域に、受け入れ人数を大幅に上回る希望者があった場合には、第二希望領域の所属となる。入試の成績等から総合的に判断する。

< 一年後期「領域」変更の方法 >

- ① 一年前期における「美術リテラシー」を履修後、領域変更を申し出る。
- ② 所属領域主任及び所属希望領域主任の判断に基づき、教授会の議を経て可否を決定する。
- ③ 後期開始前に、領域変更ガイダンスを受ける。
- ④ 新所属領域の指導の下、履修再登録を行う。
- ⑤ 後期より新所属領域の授業を履修する。

< 三年前期「領域」変更及びコース選択の方法 >

- ① 二年後期終了後、領域変更を申し出る。
- ② 所属領域主任及び所属希望領域主任が成績等を総合的に判断し、教授会の議を経て可否を決定する。
- ③ 三年前期開始前(3月)に、領域変更ガイダンスを受け、コースを選択する。
- ④ 三年前期の履修登録時、新所属領域主任の判断により必要な追加科目を履修する。
- ⑤ 三年前期より新所属領域及びコースの授業を履修する。

\*所属希望領域あるいはコースに、受け入れ人数を大幅に上回る希望者があった場合には、一年次、二年次の成績等から総合的に判断する。

(5) 成績の評価

成績の評価は、AA、A、B、C、及びDをもって表し、C以上を合格とする。(学則第28条) 成績判定の方法は、各授業科目において試験を実施し、その結果に出席状況を加味して、総合的に判定する。

実技を中心とする授業科目においては、制作した作品について、各領域の教員(複数名)と、同授業科目を履修している学生が出席する対面式の「講評会」を行い、担当教員と各領域の複数名の教員により評価と判定をする。

特に、実技を中心とする授業科目においては、その成果が個性的・個別的になる傾向がある。そのため、評価基準が恣意的にならぬよう留意し、授業において評価基準を学生に明示するよう努める。また、その評価基準の客観化に向けての研究会等を継続的に行っていく。「16 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み」において詳述する。

## 8 卒業要件と履修（資料 10・11）

### （1）共通科目 60 単位以上（資料 12）

共通科目には、①一般教養、②専門教養の二分野がある。この二分野から、必修・選択必修・選択の科目を組み合わせ、合計 60 単位以上を履修する。必修及び選択必修科目の合計は 32 単位である。28 単位を選択科目として履修する。必修科目及び選択必修科目について、上述した「5 教育課程の編成の考え方及び特色」の「（2）教育課程編成の実際」において説明した枠組みにしたがって細目を説明する。

#### ① 一般教養 20 単位以上

一般教養科目には、a. 初年次教育、b. 人文、c. 社会・歴史、d. 体育、e. 外国語、f. 造形、g. メディア表現、h. 総合の八つの科目群がある。

a. 初年次教育「アカデミックリテラシー」（2 単位）及び e. 外国語「英語 I」（2 単位）を必修科目とし、1 年次の配当科目とする（計 4 単位）。b. 人文、c. 社会・歴史、h. 総合から、それぞれ 4 単位以上を選択必修とする。また、f. 造形、g. メディア表現から合わせて 4 単位以上を選択必修とする。必修 4 単位、選択必修 16 単位、合計 20 単位以上を履修する。

#### ② 専門教養 12 単位以上

専門教養分野には、a. 美術理論、b. 美術史、c. 造形演習の三つの科目群がある。

a. 美術理論科目群における「色彩概論」「造形美術論 I」「デザイン概論」（各 2 単位）を必修とする。合計 6 単位以上を履修する。

b. 美術史科目群における「西洋美術史 I」（2 単位）を必修とする。「日本美術史 I」（2 単位）あるいは「東洋美術史」（2 単位）のいずれかを選択必修とする。合計 4 単位以上を履修する。

c. 造形演習科目群においては、学生が所属する領域以外の科目を履修する。合計 2 単位を履修する。

### （2）専門科目 64 単位（資料 13）

#### ① 基礎実技 10 単位

基礎実技分野には美術リテラシー科目群として、導入・彫刻・描画・工芸・デザイン・デジタル・DTP・Web がある。

「美術リテラシー（導入）」を必修（2単位）とする。

「美術リテラシー（彫刻）」「美術リテラシー（描画）」「美術リテラシー（工芸）」  
「美術リテラシー（デザイン）」「美術リテラシー（デジタル）」「美術リテラシー（DTP）」  
「美術リテラシー（Web）」（各2単位）から、合計8単位以上を選択必修とする。

② 絵画領域 38単位

絵画領域には絵画科目群がある。合計38単位選択必修とする。

③ 工芸領域 38単位

工芸領域には三つの科目群がある。a. 共通、b. クラフトデザイン、c. テキスタイルデザインである。

a. 共通科目群から、合計14単位を選択必修とする。

b. クラフトデザイン科目群から、合計24単位を選択必修とする。

c. テキスタイルデザイン科目群から、合計24単位を選択必修とする。

合計38単位を選択必修とする。

④ ビジュアルデザイン領域 38単位

ビジュアルデザイン領域には、a. 共通、b. グラフィックデザイン、c. 映像メディアデザイン、d. イラストレーションの四つの科目群がある。

a. 共通科目群から、22単位を選択必修とする。

b. グラフィックデザイン科目群から、16単位を選択必修とする。

c. 映像メディアデザイン科目群から、16単位を選択必修とする。

d. イラストレーション科目群から、16単位を選択必修とする。

合計38単位を選択必修とする。

⑤ 美術研究 8単位

美術研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、計8単位を必修とする。

⑥ 卒業制作 8単位

8単位を必修とする。

(3) 履修に関する特記事項

本大学では、履修科目の年間登録上限を資料14のとおり40単位と定める(CAP制)。

本大学は首都圏西部大学単位互換協会に加盟する予定であり、同協会に加盟する他大学の科目の履修を、本学の科目履修に支障がない限り、認める。

#### (4) GPA制度の導入

本大学では、GPA制度を導入する。目的は次の通りである。

- ① 厳格な成績評価により、学習成果の質を確保する。
- ② 学士課程としての質を確保する。
- ③ 優秀な成績を修めた学生の学習意欲をさらに高める。

GPA制度の概要については別表の通りである。(資料 15)

#### (5) 教職課程科目

本大学では、教職課程を設置し中学校教諭一種免許状(美術)・高等学校教諭一種免許状(美術)の取得を可能とする。教職課程科目のうち、8単位を卒業単位として認める。(「11 取得可能な資格」を参照)

## 9 施設・設備等の整備計画

### (1) 校地、運動場の整備計画

本大学では、現短期大学の校地、運動場、校舎、研究室、教室、体育館、図書館等の施設・設備を活用する。

現短期大学は 41,390 m<sup>2</sup>の敷地に 3,800 m<sup>2</sup>の運動場（全面総天然芝）を有している。また、敷地内にはベンチを配置し、学生が休養するために十分なスペースを確保している。

校地、運動場、校舎、研究室、教室、体育館、図書館の概要は下記の表の通りである。

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	校舎敷地	37,265 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	37,265 m <sup>2</sup>
	運動場用地	3,800 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	3,800 m <sup>2</sup>
	小計	41,065 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	41,065 m <sup>2</sup>
	その他	325 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	325 m <sup>2</sup>
	合計	41,390 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	41,390 m <sup>2</sup>
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
		16,335 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	16,335 m <sup>2</sup>
教室等	講義室	演習室	実験演習室	情報処理学習施設	語学学習施設
	8室	6室	45室	6室	0室
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数	
		美術学部		26室	
図書館		面積		閲覧座席数	収納可能冊数
		715 m <sup>2</sup>		115席	80,000冊
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要	
		1,053 m <sup>2</sup>		190 m <sup>2</sup>	

### (2) 校舎等施設の整備計画

本学の教育課程は、一般教養、専門教養の二分野から編成される共通科目と、絵画領域、工芸領域、ビジュアルデザイン領域の三分野（領域）及び全領域に共通する卒業制作から編成される専門科目の二つに区分される。さらにそれら科目を授業形態において分類すると、講義を主たる形態とした授業と、実技実習を主たる形態とした授業に大別される。共通科目の一般教養、及び専門教養における a. 美術理論、b. 美術史の二つの科目群が講義を主たる形態とした授業である。ま

た、共通科目の f. 造形、g. 情報メディア科目群、専門教養における c. 専門教養演習の科目群、及び専門科目が実技実習を主たる形態とした授業である。以下にそれら授業形態の特色に照らし合わせて、教育上必要な施設・設備の概要を記す。

① 教員の研究室

専任教員には、教育研究の状況に応じて、1室又は数人で1室の研究室を付与する。

② 講義を主たる形態とした授業に対応した施設・設備

講義のための教室は、大小合わせて、8室ある。

定員 150 名程度の大教室が 3 室ある。(4-12/本-3/3-21)

定員 80 名程度の中教室が 1 室ある。(5-11)

定員 40 名程度の小教室が 4 室(本-1A/本-1B/本-2A/本-2B) がある。小教室では、主として、必修科目であるアカデミックリテラシー、英語 I や、少人数授業である原典講読、教養演習等を行う。

定員 50 名程度のコンピュータ教室が 6 室ある。

本大学には、独立した語学学習施設はない。本大学における外国語教育の主眼は、外国のカatalog(美術・デザイン)や web サイト等を読む力の育成にしているからである。ただし、必要に応じてコンピュータ教室を語学学習に使用する。

本大学のカリキュラムでは、講義・実技が、学年によって午前・午後となっている。従って、同時に講義に出席するのは、最大 400 人弱である。ただし、時間割上、最大数の学生が講義を同時には履修しない。

③ 実技を主たる形態とした授業に対応した施設・設備

共通科目における一般教養分野の造形・メディア表現の二つの科目群、専門教養における造形演習科目群及び専門科目における共通実技の美術リテラシー、絵画領域、工芸領域、ビジュアルデザイン領域の三分野(領域)及び全領域に共通する卒業制作から編成される専門科目は、1週間の内で月、火、木、金曜日の計 4 日間に開設され、さらにその中で 1 年次と 3 年次は午前時間帯の 2 時限分、2 年次と 4 年次は午後時間帯の 2 時限分に振り分けてカリキュラムが編成される。そのことによって履修学生全員が 1 年次から 4 年次まで継続的に滞ることなく円滑に修学できる実習環境を実現する。

学生が授業実施期間中に制作している作品は、各研究室や、それに付設する準備室・資料室等に保管する。なお、優秀な作品であり、教育・研究上参考となるものは、一定期間借り受け、保管する。

学生が授業時間外に、作品制作のために教室を使用する場合は、事前に所定の用紙によって届け出させ、許可を与える。

a. 造形・メディア表現科目群・美術リテラシー科目群においては、3号館校舎 3-13 教室(石膏室)、2号館校舎 2-33 教室、3号館校舎 3-35 教室、5号館校舎 5-21

教室、6号館校舎 6A-13 教室（ビジュアルデザイン領域が担当する授業）を使用する。造形科目群においては、6号館校舎 6A-13、6A-22、6A-23、6B-11、6B-12、6B-13 教室を専用実習教室として使用し、他6号館校舎 6A-21 教室をビジュアルデザイン領域専門科目と、また2号館校舎 2-13 木工実習室を工芸領域専門科目と適宜併用しながら使用する。メディア表現科目群においては、本館校舎 3F 共通コンピュータ室、4号館校舎 4-11 コンピュータ実習室を専用実習教室として使用する。

b. 絵画領域専門科目：1年次から3年次は2クラスで編成され、1年次の美術リテラシーで3号館校舎 3-13 教室(石膏室)を使用する他は、1年次から4年次まで4号館校舎と5号館校舎の実習教室を使用する。1年次絵画基礎Ⅰ及び絵画基礎Ⅱは4号館校舎 4-42 教室を使用する。2年次の絵画基礎Ⅲは同じく4号館校舎 4-31、4-32 教室、絵画基礎Ⅳは4-41 教室及び5号館校舎 5-41 教室（版画室）を使用する。絵画コース3年次絵画Ⅰは5号館校舎 5-31、5-32、5-33 教室を使用し、絵画Ⅱは4号館校舎 4-41 教室を使用する。また、絵画Ⅲは4号館 4-31 教室、4-32 教室を使用する。4年次専門制作研究は4号館校舎 4-21 教室及び4-22 教室を使用し、卒業制作は4号館校舎 4-21 教室、4-22 教室及び5号館校舎 5-31、5-32、5-33 教室を使用する。

c. 工芸領域専門科目：2クラスで編成される1・2年次は2号館校舎 2-33 教室を主に2-11、2-12、2-13、2-31 教室及び5号館校舎 5-12 教室を使用する。3年次以降は、クラフトデザイン、テキスタイルデザインの各コースごとに分かれて履修し、3・4年次はクラフトデザインコースが2号館校舎 2-11、2-12、2-13、2-24 教室を、テキスタイルデザインコースが2号館校舎 2-31 及び5号館校舎 5-12 教室を使用する。また、履修年次を問わず授業内容に応じて、2号館裏の溶接場、塗装ブースを使用し、プレゼンテーション作成などビジュアルワークにおいては、4号館校舎 4-11 コンピュータ教室、1号館校舎 1-33 コンピュータ実習室、6号館校舎 6A-12 撮影スタジオを使用する場合もある。

d. ビジュアルデザイン領域専門科目：4クラスで編成される1・2年次は7号館校舎 7-3A1、7-4A1、7-4C3 教室、5号館校舎 5-21 教室を使用する。3年次以降は、グラフィックデザイン、映像メディアデザイン、イラストレーションの各コースごとに分かれて履修し、3年次はグラフィックデザインコースが1号館校舎 1-31、1-32 教室、映像メディアデザインコースが3号館校舎 3-31 教室、イラストレーションコースが7号館校舎 7-3C2 教室を使用する。4年次及び卒業制作はグラフィックデザインコースが7号館校舎 7-2A2、7-2B3、7-2C2 教室、映像メディアデザインコースが3号館校舎 3-11、3-23 教室、イラストレーションコースが7号館校舎 7-3B4、7-4B2 教室を使用する。また、履修年次を問わず授業内容に応じて、1号館校舎 1-33 教室及び7号館 7-1C3、7-2B2、7-2C3、コンピュータ実習室、

6号館校舎 6A-12 撮影スタジオ、3号館校舎 3-11 工作スタジオを適宜使用し、実践的なデザインワークを実習する。

### (3) 図書等の資料及び図書館の整備計画

#### ① 資料収集の基本方針

本学は造形美術を専攻する学部・学科のみから成り、また定員 772 名という比較的小規模な大学であることから、あらゆる分野を網羅的に収集するのではなく、美術・芸術分野に重点を置いて専門性の高い資料を収集し、加えて関連分野の学術的・専門的資料を収集することを基本方針とする。

造形美術各分野の基本的な資料については、短大開学以来の蓄積があるため、学術的により高度な文献と四年制大学に相応しい教養書及び外国語図書の増加を軸に、22年4月までに下表のように資料を整備する計画である。その後も新しい芸術文化の動向や美術研究の最新の成果をフォロー・アップするべく、継続的に収書を行う。

所蔵資料数（見込み）

区分	22年4月
書籍	44,000冊
（和書）	（37,500冊）
（洋書）	（6,500冊）
雑誌	150誌
視聴覚資料	1,330点

和書・洋書ともに蔵書の約半数（購入額では65～70%）を美術・芸術分野とする。

雑誌は美術・芸術を中心に主要なものを網羅する。厳密な意味での学術雑誌の数は多くないが、美術・デザイン教育を基本とする本学の特性から、産業デザインや映像メディア等に関する専門的な定期刊行物も、学術雑誌に準ずる専門雑誌と位置づけて購入する。

#### \* 主な学術誌

國華／美術史／MUSEUM／佛教藝術／西洋美術研究／美學／教育研究／教育美術／博物館研究／デザイン学研究／The Art Bulletin／Art Journal／Educational Studies in Japan／The Journal of Aesthetics and Art Criticism／The Burlington Magazine

#### \* 主な専門誌

コンフォルト／タイポグラフィックス T／アサヒカメラ／イラストレーション／図案ライフ／Jewel／ディテール／日経デザイン／版画芸術／炎芸術／季刊ユニバーサルデザイン／

Art News／Crafts Arts International／Domus／L'oeil

視聴覚資料は、造形作品の理解のためだけでなく、映像作品制作の参考資料としても、多数収蔵する必要を認め、書籍とは別に予算を確保する。ただし、大学図書館の資料として永年保存されることから、個々の資料についてその教育的価値の持続性を慎重に判断し、娯楽性の高いもの、芸術性の低いものなどは収集対象外とする。

#### ② 計画内容と教育・研究との整合性

造形美術を専門に教育するため、美術・芸術関連の図書が多いことは適切であり、特に学生が個人で購入するのが困難であるような高価な専門書を重点的に収集することで、高度に専門的な教育を可能にすると考えられる。

造形文化創造の担い手を育成するうえで、美術・デザインの最新情報入手は不可欠であり、産業デザインや映像メディア等に関する専門的な情報誌も、学術誌に匹敵する重要性を持つ。購読雑誌は教育・研究に有効なものを選んでいく。

視聴覚資料は、視覚芸術作品に関して豊富な情報を与えるだけでなく、それ自体が映像作品として教材になり得る。特に映像メディア制作の教育には、参考作品として不可欠である。個々の資料についてその教育的価値を教員が判断して収集するので、いずれも教育・研究上の効果は大きい。

#### ③ デジタル・データベースについて

所蔵資料の書誌はデータベース化されており、学内LANで検索が可能である。また、NACSISへのデータ提供も行っている。電子ジャーナルについては、21年度よりJSTORとBHAの利用を始めて研究環境の向上を図る。

#### ④ 閲覧室環境

閲覧席は現状70席であるが、21年6月完成予定の新館では115席を計画しており、学生数772名に対し約15%を確保できる。図書検索用PCを複数台設置して資料へのアクセスを効率的にするほか、視聴覚資料閲覧用のAVブースを増設して、自習環境をより充実させる。造形作品の制作が学生の課題となることが多いので、美術書や映像資料の閲覧のための環境を整備することは、美的感性の涵養のために重要である。

#### ⑤ 他大学との連携・協力

他館からの紹介による学外者の閲覧を受け付けているほか、21年度には神奈川県内大学図書館相互協力協議会に入会する予定である。すでに女子美術大学図書館とは、長年の人的交流に基づく友好的関係があり、資料の貸与など相互に協力している。四年制大学になれば、横浜市内大学図書館コンソーシアムに加入できる可能性もあり、美術専門書の収蔵を強みとして他大学との連携を図る方針である。

## 10 入学者選抜の概要

### (1) アドミッションポリシー

本大学の「人間の創造活動の根源を培う美術教育こそ本来の教育の姿である。」という教育理念を踏まえ、次の事柄を身につけ、広く社会に貢献しようとする人を求める。

- ① 美術・デザインの専門的な表現技術
- ② 美術・デザインの理論的な知識
- ③ 美術・デザインに関連した教養

### (2) 入試区分

本大学では、入学者選抜の方法として次の入試を実施する。

入試区分	募集人数
推薦入試	95
一般入試	75
専門高校・総合学科卒業生入試	
帰国子女入試	
社会人入試	
アドミッション・オフィス入試	20
編入学試験	6
	※196

※編入学試験は平成22年度・23年度に限り募集人員が196人となることを示す。

### (3) 入試の方法

入試は、入試区分の通り、次の①から⑦がある。全ての入試における合否は、教授会の議を経て判定する。

#### ① 一般入試

一般入試では、学力検査・実技に関する検査・面接により選抜する。

学力検査は、本大学実施の学力検査と大学センター入学試験のいずれかを選択する。

本大学が実施する学力検査としては、国語・英語のいずれかひとつの選択制とする。

大学入試センター試験を利用する場合は、国語・外国語（英語・フランス語）の2教科3科目より、1教科1科目を選択する。なお、国語については近代以降の文章のみを評価する。また、英語におけるリスニングの成績は利用しない。

実技に関する検査では、基礎的な実技検査（デッサン等）を課す。

面接では、入学志願者の能力・適正等を多角的に判定する。

#### ② 専門高校・総合学科卒業生入試

専門高校・総合学科卒業生入試では、実技に関する検査・面接・調査書により総合的に判定する。

実技に関する検査では、基礎的な実技検査（デッサン等）を課す。

面接では、入学志願者の能力・適性等を多角的に判定する。

### ③ 推薦入試

推薦入試を a. 指定校推薦入試、b. 公募制推薦入試、c. 自己推薦入試の三つに区分する。

a. 指定校推薦入試では、本大学の指定校である出身高等学校長の推薦に基づき、調査書・自己作品を主な資料として、面接により総合判定する。

自己作品とは、3年以内に制作したB3サイズ以上のデッサン（鉛筆・木炭等）と、平面・立体・映像等、分野を問わない運搬可能な自由作品を指す。

b. 公募制推薦入試では、出身高等学校長の推薦に基づき、調査書・実技に関する検査・面接により総合判定する。

実技に関する検査では、基礎的な実技検査（デッサン等）を課す。

c. 自己推薦入試では、自己推薦書・調査書・実技に関する検査・面接により総合判定する。

実技に関する検査では、基礎的な実技検査（デッサン等）を課す。

### ④ 帰国子女入試

帰国子女入試では、調査書（資格書類）・自己作品を主な資料として、面接により総合判定する。

帰国子女とは、次のいずれかに該当する者をいう。

a. 外国において、日本の高等学校に相当する教育課程に原則として2年以上続けて在籍し、かつ、入学前年度の3月31日までに通常の12年の学校教育課程を修了見込みの者若しくは修了後1年未満の者又は外国において学校教育における12年の課程を修了した者。

b. 中学校、高等学校を通じ、数年間、外国において教育を受け、帰国後日本の高等学校に入学し、卒業した者又は入学前年度の3月に高等学校卒業見込みの者。ただし、日本の高等学校における在籍期間が原則として1年半未満の者。

c. 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は入学前年度の3月31日までに修了見込みの者。

d. 国際バカロレア資格、アビトゥア資格又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者で、入学前年度の3月31日までに18歳以上に達する者。

自己作品は、推薦入試に準ずる。

⑤ 社会人入試

社会人入試では、調査書・履歴書・資格書類（卒業証明書・高等学校卒業程度認定試験）・自己作品を主な資料とし、面接により総合判定する。

社会人とは、入学前年度3月31日現在20歳以上であり、1年以上の職務経歴を有する者であって、次のいずれかに該当する者をいう。

- a. 高等学校若しくは中等教育学校卒業生又は通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- b. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

⑥ アドミッション・オフィス入試

アドミッション・オフィス入試では、調査書・エントリーシート・面接により、美術・デザインについて、意欲・関心・適性を総合判定する。

面接は、エントリー期間に複数回実施し、入学志願者の能力、適性、意欲、関心、目的意識等を多面的、総合的に評価する。面接終了後、次回面接までの間に、入学志願者に応じて適切な課題を課す場合がある。入学手続き後、入学後の学習のための準備課題を課す。課題は、出身高校との協力において行う。

出願資格の重要な要件として、本大学のアドミッションポリシーに賛同し、本大学への入学を強く希望する者とする。

⑦ 編入学試験

編入学試験については、2の(8)で記述したとおり平成22年度開設時での3年次の同時開設を行うので、平成22年度・23年度入試に限り、3年次196名を限度とした受け入れを実施する。平成24年度入試からは6名の定員の受け入れをする。

その判定方法として、成績証明書・資格書類（卒業証明書・単位修得証明書）・自己作品を主な資料とし、面接により総合判定する。

自己作品とは卒業制作作品及びそれに準ずる作品で、平面・立体・映像等、分野を問わない運搬可能な作品を指す。運搬不可能な場合には作品を撮影した写真で可とする。出願資格は次の通りである。

- a. 短期大学を卒業した者又は平成21年度卒業見込みの者。
- b. 高等専門学校を卒業した者又は平成21年度卒業見込みの者。
- c. 大学に2年以上在籍し、62単位以上履修した者。
- d. 大学への編入学が認められた専修学校の専門課程を修了した者又は平成21年度修了見込みの者。
- e. 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は修了見込みの者。
- f. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することに

より、当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者又は修了見込みの者。

g. 本学において、短期大学卒業者と同等以上の学力があると認められた者。

\* 他大学等で習得した単位について、本学において認定される単位が不足する場合、入学後、2 か年で卒業できないことがある。

(4) 正規の学生以外の者の受け入れについて

科目等履修生については、必要に応じて受け入れる。特に、高大連携授業への受け入れについては、履修を希望する者が所属する高等学校長との協議によって受け入れを決定する。

## 11 取得可能な資格

(1) 教員免許状

教科名	免許状の種類
美術	中学校教諭一種免許状
美術	高等学校教諭一種免許状

修了要件ではない。

追加科目として教職課程科目を履修する。

(2) ウェブデザイン実務士

資格名称	資格認定協会
ウェブデザイン実務士	全国大学実務教育協会

修了要件ではない。

指定された共通科目を履修すれば、追加科目を履修する必要はない。

## 12 編入学に関する計画

### (1) 編入学の考え方

本大学では、短期大学・専修学校の卒業生に、高度な学習機会を提供するために、3年次に6名を定員とする編入学を実施する。

編入学の出願資格は、美術・デザイン系短期大学・専修学校を卒業者（見込み含む）で、既修得単位について、本大学が定める次の条件を満たした者とする。

科目区分	既修得単位	備考
共通科目	30 単位以上	本大学における必修科目を未修得あるいは単位認定できない場合は、編入学後に履修する。
専門科目（実技）	32 単位以上	本大学における必修科目を未修得あるいは単位認定できない場合は、編入学後に履修する。

### (2) 既修得単位の認定方法

編入学生の既修得単位については、本大学の教育目的を達成するために支障とならぬ範囲において、編入学生ごと個別に単位の読み替えを行い、教授会の議を経て認定する。

区分	分野	認定単位数の上限	備考
共通科目	一般教養	24 単位	
	専門教養	10 単位	
専門科目		32 単位	
教職課程科目		12 単位	すでに教員免許状を有している場合は、その限りではない。

### (3) 履修指導方法

- ① 本大学における必修科目を未修得あるいは単位認定できない場合は、編入学後に履修する。
- ② 本大学における教育目的を達成するため、編入学前の学習に関わりなく、次の科目は履修しなければならない。

区分	分野	科目群	科目名	単位数
専門科目	基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー（導入）	2単位
			美術リテラシー（彫刻）	2単位
			美術リテラシー（描画）	2単位
			美術リテラシー（工芸）	2単位
			美術リテラシー（デザイン）	2単位
			美術リテラシー（デジタル）	2単位
			美術リテラシー（DTP）	2単位
			美術リテラシー（Web）	2単位

\*平成22年度・23年度に、現短期大学からの編入学生に関しては、適用しない。

### (4) 教育上の配慮

- ① 編入学履修モデル（2年間）を作成する。
- ② 履修指導等に関して、編入学担当教職員を定め、履修相談を実施する。
- ③ 編入学生が早く環境に慣れ親しむように、アカデミックガイダンスを実施する。
- ④ 共通科目を、4年間で無理なく履修ができる配慮をする。
- ⑤ 通常の時間割の中で、必要な単位を修得困難な場合、集中授業等を開講し、無理なく修得できるような配慮をする。（資料16・17）

### (5) 現短期大学からの編入学

先に、本大学の開設に伴う、現短期大学の募集停止と現短期大学の専攻科への進学を希望する短期大学在学生の進路保障について述べた。(2-(8)) そのため、平成22年度及び23年度には、現短期大学から、編入学試験を経て、編入学生を受け入れる予定である。現短期大学からの編入学生に対しては、編入学後、それぞれの希望する専門的な学習を十分にできるよう配慮をする必要がある。特に、現短期大学は本大学と同一のキャンパス内にあり、本大学の教員配置は現短期大学をベースとしているため、事前からの教育上の配慮が可能である。その利点を十分に活かして、具体的に、現短期大学生に対して、次のような教育上の配慮を行う。

- ① 編入学前に、編入学に関わるガイダンスを複数回実施する。
- ② 編入学前に、現短期大学のコース主任を中心とする全教員による個別相談を実施し、編入学及びコース選択についての指導を行う。

③現短期大学における既修得単位及び修得見込み単位については、「履修モデル」を活用し、読み替えを行う。(資料 16)

### 13 管理運営

#### (1) 教授会の役割・構成員

本大学における重要事項決定の流れは、学長があらかじめ法人事務局を通じ、又は直接理事長と調整し、大学の運営に関する方針を協議する運営会議（学長・教授・事務局長で構成）に学長が方針を提示し、自ら議長となりこれを論議し、その結果を教授会（学長・教授・准教授・助教で構成）で審議し決定する。なお、教員の人事に関する事項を審議する教授会については、学長及び教授で構成する。

本大学における教育・研究上の事項については、原則として各委員会（後述）で協議し、その結果を教授会で審議のうえ決定するが、改革・改善など方針に係る事項については、学長が委員会に具体的に問題提起し協議させる。

#### (2) 教授会の開催頻度

教授会は、原則として月 1 回の定例会を開催する予定である。また、進級・卒業判定、入試判定その他必要に応じ、臨時会を随時開催する予定である。

#### (3) 主な審議事項

- ①学則の一部改正について
- ②授業科目の開設等について
- ③学籍異動について
- ④専任教員及び非常勤講師の人事について
- ⑤卒業判定について
- ⑥入学者の合否判定について
- ⑦その他の教育・研究に関する事項

#### (4) 教授会のもとにおかれる委員会等

教育・研究上の各種委員会等設置状況は次の通りである。

名称	規程根拠	主な所掌事項	構成メンバー	開催数
運営会議	運営会議規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則、規程等の制定及び改廃に関する事項</li> <li>・予算の基本方針に関する事項</li> <li>・教育研究組織の編成に関する事項</li> <li>・教育研究に関する重要事項</li> </ul>	学長及び学部長、教授及び事務局長	月 1 回

教務委員会	教務委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通科目、資格課程に関する事項</li> <li>・ 単位互換制度に関する事項</li> <li>・ 授業計画、時間割の編成に関する事項</li> <li>・ 試験に関する事項</li> <li>・ 高大連携授業に関する事項</li> <li>・ 科目等履修生に関する事項</li> </ul>	教員若干人、学務課長	月 1 回
学生委員会	学生委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の生活指導、相談に関する事項</li> <li>・ 学生の課外活動に関する事項</li> <li>・ 学生の健康管理に関する事項</li> <li>・ 学内外の奨学金に関する事項</li> <li>・ 就職活動の指導に関する事項</li> <li>・ 就職に係るセミナー等の開催に関する事項</li> <li>・ 企業訪問に関する事項</li> </ul>	教員若干人、学務課長	月 1 回
入試広報委員会	入試広報委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学試験の実施に関する事項</li> <li>・ 大学案内等の作成その他広報に関する事項</li> <li>・ ホームページの作成・運営に関する事項</li> <li>・ 進学相談会の企画、実施に関する事項</li> <li>・ 学校、予備校の訪問に関する事項</li> </ul>	教員若干人、総務課長	月 1 回
図書委員会	図書委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の運営に関する事項</li> <li>・ 図書資料の選定に関する事項</li> <li>・ 紀要、作品集の編集・発行に関する事項</li> <li>・ 学内広報誌の編集・発行に関する事項</li> </ul>	図書館長、 教員若干人	随時
自己点検・評価委員会	自己点検・ 評価委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己点検評価に関する事項</li> <li>・ 第三者評価に係る自己点検・評価報告書の作成に関する事項</li> </ul>	学部長、図書館長、 事務局長及び課長、教員若干人	随時
人事委員会	人事委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学長が諮問する教員の人事に関する事項</li> </ul>	学長及び本学専 任教授	随時
予算委員会	予算委員会 規程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算に関する重要事項</li> </ul>	学長、学部長 領域主任、 事務局長、	随時
情報セキュリティ委員会	情報セキュ リティーポ リシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリシーの改定に関する事項</li> <li>・ 情報セキュリティに関する事項</li> </ul>	学長、事務局長、 図書館長、領域主 任及び教職員若 干人	随時

衛生委員会	衛生委員会 規程	・教職員の健康管理に関する事項	学部長、事務局長、衛生管理者、産業医及び衛生に関し経験を有する教職員	月1回
ハラスメント委員会	ハラスメント委員会規程	・セクシャル・ハラスメント等に関する啓蒙、相談、調査、救済に関する基本的政策の企画・立案	学長、学部長、事務局長、教職員若干人	随時

## 14 自己点検・評価

### (1) 基本方針

本大学の教育研究水準の維持・向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、学則第2条に基づき、毎年度自己点検・評価を実施する。また、自己点検・評価の結果を公表し、教育研究等に係る活動状況を明らかにし、社会に対する説明責任を果たすことを目指す。

### (2) 実施体制

自己点検・評価を行う組織として、横浜美術大学自己点検・評価委員会規程に基づき、「自己点検・評価委員会」を設置する。学部長を委員長に、図書館長、領域主任、事務局長及び専任教員若干人を委員として構成し、実施計画の策定、実施、評価結果のまとめ・公表など、自己点検・評価に関する業務を実施する。

### (3) 実施の方法

自己点検・評価は、次の手順により実施する。

- ① 年度当初に、自己点検評価委員会において評価項目、項目毎の評価基準など実施計画を策定する。
- ② 実施計画に基づき、各委員会、各課及び各教員（以下「各部署」という。）において担当業務の内容を点検し、業務の成果及び改善を要する事項を、自己点検・評価委員会あて報告書を提出する。
- ③ 自己点検・評価委員会は、②の報告書を精査し、評価項目ごとに設定した評価基準を満たしているかどうか評価を行う。また、各部署においてさらに改善すべき事項があると判断したときは、FD委員会又は当該部署と調整するものとする。
- ④ 自己点検・評価委員会は、当該結果を自己点検・評価報告書としてまとめ、学長の決裁を受けるものとする。
- ⑤ 自己点検・評価報告書は、各部署に配布し、自己点検・評価の結果を大学全体で共有するよう努める。
- ⑥ 各部署では改善すべき事項に取り組み、その結果を自己点検・評価委員会に報告するものとする。

#### (4) 評価項目

- ① 大学の理念・目的
- ② 教育の内容及び方法
- ③ 教育体制及び教育活動
- ④ 教育研究組織及び研究活動
- ⑤ 学生生活及び学生への相談・支援
- ⑥ 地域貢献
- ⑦ 施設・設備
- ⑧ 管理運営
- ⑧ 財務
- ⑨ 自己点検・評価体制

### 15 情報の提供

大学が公共的な機関であること、また、前述のとおり、本大学は横浜市内唯一の美術系大学であり、地域の生涯学習の拠点としての責任を有していることから、教育研究活動状況、運営状況など本大学に関する情報の提供は、社会的な責務であると考えており、積極的に提供していくこととする。

具体的には、本大学のホームページや大学案内など各種刊行物により次に掲げる情報を提供することとする。

- ① 大学の設置の趣旨、教育の理念、教育方針、学科の特色、教員組織など。
- ② 教育課程の内容及び開設科目のシラバスなど。
- ③ 教員の教育活動及び研究活動の成果（研究紀要の発行）。
- ④ 教室、実習施設、体育スポーツ施設などの教育環境。
- ⑤ 入学試験に関し、選抜の方法、志願者数、合格者数、入学者数など。
- ⑥ 生涯学習講座、高大連携授業など。
- ⑦ 卒業生の就職・進学状況。
- ⑧ 自己点検・評価及び認証評価機関による評価結果。
- ⑨ 事業及び財務の概要。
- ⑩ 学則その他の規程。

### 16 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み

大学への進学率が高まった現在、入学してくる学生も多様化してきている。

また、地域貢献として行う各種の公開講座等についてもその充実が求められている。こうした状況に対応するために、絶えず教育の内容及び方法について創意・工夫を図り、教育力・研究力を維持向上させることが大学の責務と考える。

そのためには、教育・研究を行う教員の資質の維持と向上に努めなければならない。

本大学では、FD委員会を設置し、同委員会を中心に、学生による授業評価、教員相互による授業参観、研修会の実施などを行うこととする。

## ア 学生による授業評価

授業の内容と方法の改善に資するため、学生による授業評価に関するアンケート調査を実施する。アンケート調査の結果については、FD委員会及び総務課で集計し、これを全教員に配布し、各教員から自己の担当する授業についての評価に対する所見、授業内容・方法を改善しようとするときは、その内容を学長あて書面で提出させることとする。

## イ 教員相互の授業参観の実施

教員が自ら授業内容や方法の改善を行うことを促進するため、教員相互の授業参観を実施する。具体的には、FD委員会で公開する授業と日程等の年間計画を策定し、専任教員全員の授業について公開できるようにする。

授業終了後、FD委員会の委員、参観した教員及び授業担当教員との意見交換会を実施し、これに基づきFD委員会としての評価と改善策を担当教員に提示することとする。

## ウ 研修会・研究会の開催等

教育の内容・方法・成績評価の改善に関する取組みに全教員が共通認識を持つよう、研修会や講演会等を学内で実施するとともに、学外諸団体が主催する研修会や研究会に教員を積極的に参加させる。また、FD委員会においては、教育・研究の改善に関する研究成果や事例等の情報収集に努め、これを教員に提供し、常に各教員が自らの授業の内容・方法・成績評価の改善に積極的に取り組むようにする。

特に、成績評価について、中教審「学士課程の構築に向けて」における「教員間の共通理解の下、成績評価基準を策定し、その明示について徹底する。」との指摘がある。また、「成績評価の結果については、基準に準拠した適正な評価がなされているか等について、組織的な事後チェックを行う。また、成績評価の通用性を高める方策として、当該教員以外の第三者の参画を求める仕組みを検討する。」との指摘もある。

この指摘を重く受けとめ、成績判定基準の策定、第三者の参画による「講評会」システムの検討等について、研修や共同研究を実施する。

## エ 研究の支援

教育の内容および方法の改善の根幹は、教員の研究にある。そのため、教員の研究に対して環境を整備し支援を行う。具体的な内容は次の通りである。

### 1) 研究費

①専任教員には研究費（年間 35 万円）を支給する。

②共同研究費（年間 300 万円）を用意し、研究計画書の審査を経て「横浜美術大学特別研究」（仮称）として採用する。審査には、複数の教員があたり、学長が採用の可否を決定する。採用された研究については所定の研究期間を経た後、

公表をする。

## 2) 研究室

- ①専任教員には研究室（一人あたり平均 27.7 m<sup>2</sup>）を付与する。原則として個室とし、研究の状況に応じて、数名にて共有する。
- ②研究室には、一台から数台のパソコンを配置し、ネットワークシステムを高速化する。
- ③生活に必要な設備、例えば、空調、洗面台、冷蔵庫等は整っており、長時間にわたる研究を可能としている。

## 3) 研究時間

- ①専任教員には、通常の休日に加え、担当授業科目の状況に応じて、研究日を週一日確保している。
- ②専任教員の担当基準時間は、講義系教員が年間 360 時間（180 コマ）、実技系教員が年間 600 時間（300 コマ）である。実技系教員の平均担当時間数は 531.6 時間（265.8 コマ）である。講義系教員の平均担当時間数は 408 時間（204 コマ）である。平均では、講義系の基準である 360 時間を上回っている。同一科目の複数開講や、実技・実習（演習含む）の担当が影響し、基準を上回る場合がある。しかし、研究に支障をきたすほどに時間を要するものではない。参考までに、他の美術系大学の担当時間数を記しておく。

多摩美術大学 講義系 300 時間（150 コマ）実技系 600 時間（300 コマ）  
武蔵野美術大学 講義系 300 時間（150 コマ）実技系 600 時間（300 コマ）  
女子美術大学 講義系 300 時間（150 コマ）実技系 480 時間（240 コマ）  
（データは、各大学が HP に発表している自己点検報告書に基づく）

- ③必要であると認められた場合には、授業等を割愛し、研究時間を確保する。例えば、後述する、学位取得、在外研究、他大学等との共同研究等に関してである。
- ④本大学では、研究のための助手を 27 名配置している。助手は教員の授業及び研究の補佐をする。教員が、授業及び研究に関する事柄以外の業務を、必要以上に負担することのないようにする。

## 4) 研究設備

- ①専任教員は研究室を中心として、学内施設を使用して研究を行う。
- ②デザイン系実技を主に担当する教員には、教員研究制作に使用するコンピュータ機器を最新上位機種に更新し、ソフトウェアを拡充し、高機能化する。
- ③絵画・工芸系の実技を主に担当する教員には、教室・工房等の設備を、授業のみではなく高度な研究にまで対応できるよう整備する。

④共同研究室（7号館7-1B2室）を設置し、共同研究に対応できるよう整備する。共同研究室には、大型出力機器を基軸としたワークステーションを整備する。例えば、オンデマンドプリンタシステムを導入し、教員の作品制作、専門的な研究発表、教育研究等に活用する。教育研究としては、この設備を活用し、本大学編のテキスト、作品集等の編集、出版を行う。

⑤学内にギャラリー（3-B1；300 m<sup>2</sup>）を整備し、教員の研究成果を内外に作品発表するための機能を果たす。ギャラリーの企画・運営には専任教員複数名が当たる。

⑥講義を主に担当する教員には、図書館を通じて、研究に必要な書籍等を整備・拡充する。また、電子ジャーナルの利用が可能となっている。

⑦上記①～⑥について、研究の状況に応じて必要な場合には、さらなる整備・拡充を行う。

#### 5) その他

①科学研究費補助金をはじめとする外部研究資金の獲得を奨励する。また、獲得に向けて研修会等を開催する。

②博士号等の学位取得を奨励し、将来的には、海外留学を含む在外研究制度の導入を検討する。

③『横浜美術大学教育・研究紀要』（仮称）を発行する。『紀要』は、本大学に関わる教員の学術研究・教育研究の成果を発表する場として、本大学教員の研究成果を広く公にし、その質の向上を図る目的をもつ。「学術研究・教育研究の成果」には「作品」を含む。

<添付資料>

- 資料 1 専攻科進学率及び同修了者の学位取得率（過去 5 カ年）
- 資料 2 現短期大学の入学者に占める近隣都県の高等学校出身者比率
- 資料 3 首都圏における私立美術系大学の志願状況
- 資料 4 横浜美術短期大学の指定校に対する四年制大学設置に関するアンケート調査結果
- 資料 5 地域での主な学生の活動及びボランティアなど（平成 18 年度～平成 20 年度）
- 資料 6 専攻科修了者の大学院入学実績（平成 9 年度～平成 20 年度）
- 資料 7 オムニバス授業運営事例
- 資料 8 横浜美術大学就業規則（案・抜粋）
- 資料 9 クラス編成表
- 資料 10 履修モデル（美術学部美術学科入学）
- 資料 11 卒業に必要な単位数
- 資料 12 時間割表（共通科目）
- 資料 13 時間割表（専門科目）
- 資料 14 履修単位の上限設定
- 資料 15 グレード・ポイント・アベレージ（G P A）制度の概要
- 資料 16 履修モデル（横浜美術短期大学からの編入学）
- 資料 17 履修モデル（その他短期大学からの編入学）

# 資料1

本文2ページ

## 専攻科進学率及び同修了者の学位取得率（過去5カ年）

年度	対象年度 本科卒業生数	入学者数	専攻科進学率	専攻科修了者数	学位取得者数	学位取得率
平成15年度	304	94	31%	51	40	78%
平成16年度	324	89	27%	86	79	92%
平成17年度	273	90	33%	77	72	94%
平成18年度	289	93	32%	87	80	92%
平成19年度	250	86	34%	86	77	90%
平成20年度	285	102	36%	83	78	94%

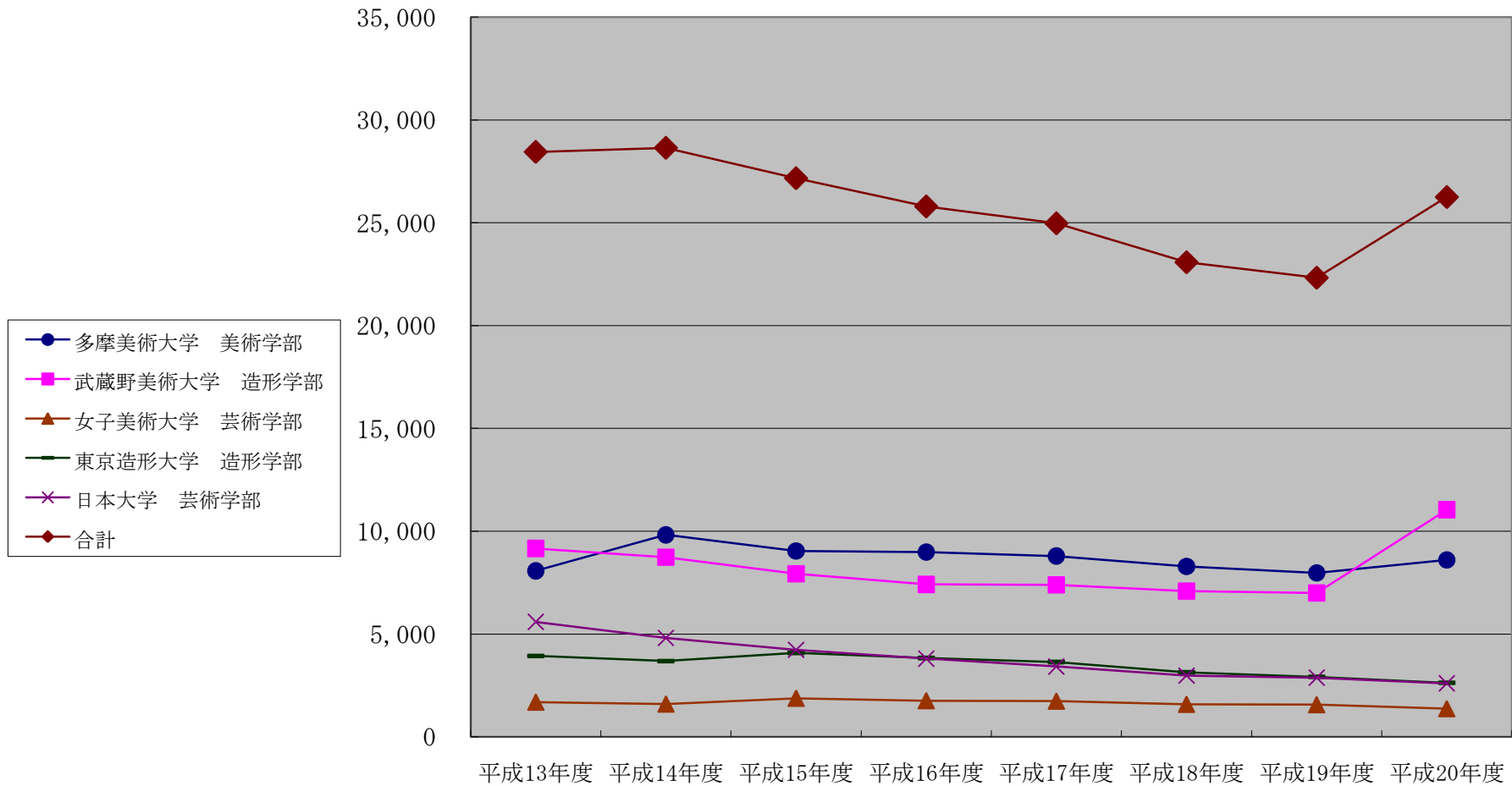
## 資料 2

本文2ページ

現短期大学の入学者に占める近隣都県の高等学校出身者比率

都道府県名	2008年度		2007年度		2006年度	
	入学者数	比率	入学者数	比率	入学者数	比率
東京	59	23.1%	80	27.0%	75	24.4%
神奈川	120	47.1%	108	36.5%	143	46.4%
千葉	5	2.0%	8	2.7%	7	2.3%
埼玉	4	1.6%	7	2.4%	10	3.2%
静岡	7	2.7%	16	5.4%	11	3.6%
計	195	76.5%	219	74.0%	246	79.9%
その他	60	23.5%	77	26.0%	62	20.1%
合計	255	100.0%	296	100.0%	308	100.0%

首都圏における私立美術系大学の志願状況



大学名	学部名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
多摩美術大学	美術学部	8,070	9,824	9,039	8,989	8,792	8,288	7,969	8,602
武蔵野美術大学	造形学部	9,162	8,732	7,935	7,412	7,389	7,091	6,996	11,047
女子美術大学	芸術学部	1,687	1,594	1,876	1,757	1,736	1,581	1,564	1,370
東京造形大学	造形学部	3,935	3,684	4,088	3,834	3,635	3,138	2,918	2,628
日本大学	芸術学部	5,593	4,810	4,229	3,803	3,421	2,981	2,879	2,603
合計		28,447	28,644	27,167	25,795	24,973	23,079	22,326	26,250

(参考：広告社 資料)

## 横浜美術短期大学の指定校に対する四年制大学設置に関するアンケート調査結果

## I 全指定校 (対象校 568校 回答 211校 回収率 37.1%)

質問内容	回答項目	回答比率 (50%)	
1 本学の四年制大学への改組転換についてどのように思われますか	① 是非実現を望む ② 出来れば実現してほしい ③ 短期大学のままでよい ④ 特になし	25% 48% 4% 23%	48%
2 四年制大学になった場合、引き続き指定校を希望されますか	① 是非指定校にしてほしい ② 出来れば指定校にしてほしい ③ どちらともいえない ④ 特になし	43% 39% 13% 5%	43%
3 四年制大学になった場合、指定校の推薦枠の増加を希望されますか	① 是非推薦枠を増やしてほしい ② 出来れば推薦枠を増やしてほしい ③ 現状のままでよい ④ 特になし	16% 22% 53% 9%	53%
4 四年制大学になった場合、本学への貴校生徒の入学希望の見込みをどう予測されますか	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし	3% 44% 44% 9%	44%
5 最近における貴校生徒の美術系大学（短大を除く）への進学希望者の状況について	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし	7% 24% 57% 12%	57%

II 関東地区の指定校

(対象校 297校 回答 133校 回収率 44.8%)

質問内容	回答項目	回答比率 (50%)	
1 本学の四年制大学への改組転換についてどのように思われますか	① 是非実現を望む ② 出来れば実現してほしい ③ 短期大学のままでよい ④ 特になし		47%
2 四年制大学になった場合、引き続き指定校を希望されますか	① 是非指定校にしてほしい ② 出来れば指定校にしてほしい ③ どちらともいえない ④ 特になし		50%
3 四年制大学になった場合、指定校の推薦枠の増加を希望されますか	① 是非推薦枠を増やしてほしい ② 出来れば実現してほしい ③ 現状のままでよい ④ 特になし		44%
4 四年制大学になった場合、本学への貴校生徒の入学希望の見込みをどう予測されますか	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		56%
5 最近における貴校生徒の美術系大学（短大を除く）への進学希望者の状況について	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		54%

Ⅲ 神奈川県内の指定校

(対象校 156校

回答 74

回収率 47.4%)

質問内容	回答項目	回答比率 (50%)	
1 本学の四年制大学への改組転換についてどのように思われますか	① 是非実現を望む ② 出来れば実現してほしい ③ 短期大学のままでよい ④ 特になし		35% 46% 0% 19%
2 四年制大学になった場合、引き続き指定校を希望されますか	① 是非指定校にしてほしい ② 出来れば指定校にしてほしい ③ どちらともいえない ④ 特になし		57% 35% 5% 3%
3 四年制大学になった場合、指定校の推薦枠の増加を希望されますか	① 是非推薦枠を増やしてほしい ② 出来れば実現してほしい ③ 現状のままでよい ④ 特になし		24% 32% 39% 5%
4 四年制大学になった場合、本学への貴校生徒の入学希望の見込みをどう予測されますか	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		4% 57% 31% 8%
5 最近における貴校生徒の美術系大学（短大を除く）への進学希望者の状況について	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		3% 28% 62% 7%

IV 東京都内の指定校

(対象校 82校 回答 35校 回収率42.7%)

質問内容	回答項目	回答比率 (50%)	
1 本学の四年制大学への改組転換についてどのように思われますか	① 是非実現を望む ② 出来れば実現してほしい ③ 短期大学のままでよい ④ 特になし		34% 51% 6% 9%
2 四年制大学になった場合、引き続き指定校を希望されますか	① 是非指定校にしてほしい ② 出来れば指定校にしてほしい ③ どちらともいえない ④ 特になし		57% 34% 0% 9%
3 四年制大学になった場合、指定校の推薦枠の増加を希望されますか	① 是非推薦枠を増やしてほしい ② 出来れば実現してほしい ③ 現状のままでよい ④ 特になし		23% 29% 39% 9%
4 四年制大学になった場合、本学への貴校生徒の入学希望の見込みをどう予測されますか	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		9% 62% 23% 6%
5 最近における貴校生徒の美術系大学（短大を除く）への進学希望者の状況について	① 希望する生徒はかなり増加すると思う ② 希望する生徒はある程度増加すると思う ③ 希望する生徒は従来と変わらないと思う ④ 特になし		17% 38% 34% 11%

## 地域での主な学生の活動及びボランティアなど(平成18年度～平成20年度)

実施年度	名称	場所	内容
18年度	横浜北部美術公募展2006		青葉区役所及び横浜市芸術文化振興財団との共催 出品及び審査
	卒業・修了制作展選抜展	みなとみらいギャラリー	卒業・修了制作作品の中から選抜した約40点を展示
	卒業・修了制作展選抜展	鴨居駅前ショッピングモール	卒業・修了制作作品の中から選抜した約20点を展示
	子どもアトリエ村ボランティア	本学グランド	小学生向け講座のデモンストレーションボランティア
	特別養護老人ホーム企画ボランティア	特別養護老人ホーム「清風園」	企画ボランティア(似顔絵制作、園内作品ディスプレイ、クリスマスイルミネーションデザイン、学生作品展示)
	出版物の挿絵		川柳集の新書出版に伴う挿絵の制作
	青葉区中里北部地区第10回福祉祭りボランティア		似顔絵コーナー ボランティア
	青葉区ふるさと協議会手ぬぐいデザイン制作		青葉区自治会・町内会・商店街夏祭りで配布する手ぬぐいのデザイン制作
	森林伐採、剪定等森林整備ボランティア	山梨県北社市	剪定された余剰材でオブジェを制作し、山梨県石和町の老人ホームに寄付
19年度	専攻科クラフトクラス作品展	東急スクエアー	専攻科クラフトクラス12名による作品展及び小学生対象のワークショップ「ウインドベルトを作ろう」
	ライブペインティング	横浜臨港パーク	第26回横浜開港際での壁画の制作
	特別養護老人ホーム企画ボランティア	特別養護老人ホーム「清風園」	企画ボランティア(似顔絵制作、学生作品展示)
	卒業・修了制作展選抜展	みなとみらいギャラリー	卒業・修了制作作品の中から選抜した約40点を展示
	卒業・修了制作展選抜展	鴨居駅前ショッピングモール	卒業・修了制作作品の中から選抜した約20点を展示
	デザイン画制作	富士見市勝瀬原記念公園	トイレ外壁のデザイン画を制作
	青葉区中里北部地区第11回福祉祭りボランティア		似顔絵コーナー ボランティア
	横浜FUNNEプロジェクト参加		横浜開講150周年記念行事に伴う ボランティア参加
	子どもアトリエ村ボランティア	本学グランド	小学生向け講座のデモンストレーションボランティア
20年度	専攻科クラフトクラス作品展	東急スクエアー	専攻科クラフトクラス12名による作品展及び小学生対象のワークショップ「コルクボードを作ろう」
	横浜市教育委員会 リーフレット制作		不登校生徒をなくすためのリーフレット制作
	青葉アートイト		青葉区地元商店街の店舗ディスプレイ
	PRフラッグデザイン	アートフォーラムあざみ野	横浜フランス月間PRフラッグのデザイン
	特別養護老人ホーム企画ボランティア	特別養護老人ホーム「清風園」	企画ボランティア(似顔絵制作、学生作品展示)
	青葉区中里北部地区第12回福祉祭りボランティア		似顔絵コーナー ボランティア
	青葉コラボレーションホールラム	青葉区役所	青葉コラボモニュメントの制作
	卒業・修了制作展選抜展	みなとみらいギャラリー	卒業・修了制作作品の中から選抜した約40点を展示
	子どもアトリエ村ボランティア	本学グランド	小学生向け講座のデモンストレーションボランティア
	横浜北部美術公募展2006		青葉区役所及び横浜市芸術文化振興財団との共催 出品及び審査
	横浜市芸術文化振興財団、社会福祉法人グリーンコラボレーション事業		販促グッズ(ロゴ、シールのデザイン、バナーフラッグ、木製料金箱、テラコッタ植木鉢)の製作

専攻科修了者の大学院入学実績（平成9年度～平成20年度）

	平成9年度			平成10年度			平成11年度		
修了者数	70			47			77		
申請者数	48			32			74		
学位取得者数	47			25			72		
大学院進学者数	3			2			2		
大学院進学者の内訳	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名
	絵画	9	女子美術大学大学院	絵画	10	上越教育大学大学院 学校教育研究科芸術系コース	絵画	11	多摩美術大学大学院
	彫刻	9	岐阜大学大学院	彫刻	9	鳴門教育大学大学院	彫刻	11	大阪芸術大学大学院
	彫刻	9	島根大学大学院						

	平成12年度			平成13年度			平成14年度		
修了者数	56			52			63		
申請者数	37			43			58		
学位取得者数	32			40			55		
大学院進学者数	7			0			7		
大学院進学者の内訳	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名
	絵画	12	多摩美術大学大学院 美術研究科絵画専攻油画				絵画	14	多摩美術大学大学院
	絵画	12	多摩美術大学大学院 美術研究科絵画専攻日本画				絵画	14	多摩美術大学大学院
	絵画	12	多摩美術大学大学院 美術研究科絵画専攻油画				絵画	14	福島大学大学院教育学研究科教育専攻美術教育専修
	彫刻	12	多摩美術大学大学院 美術研究科彫刻専攻				絵画	14	日本大学芸術学部大学院
	美学美術史	12	女子美術大学大学院美術研究科美術専攻				絵画	14	上越教育大学大学院教科教育領域専攻芸術コース
	彫刻	12	宮城教育大学大学院 教科教育研究科美術教育彫刻専攻				彫刻	12	宇都宮大学大学院
彫刻	12	日本大学芸術学部大学院				彫刻	13	東京芸術大学大学院	

	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
修了者数	51			86			77		
申請者数	39			82			74		
学位取得者数	39			73			72		
大学院進学者数	4			1			4		
大学院進学者の内訳	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名
	絵画	15	女子美術大学大学院	絵画	16	多摩美術大学大学院絵画専攻日本画	絵画	17	多摩美術大学大学院美術専攻
	絵画	15	多摩美術大学大学院				絵画	17	多摩美術大学大学院美術専攻
	デザインA	15	多摩美術大学大学院 (グラフィックデザイン)				クラフト	17	高知大学大学院教育学研究科
	彫刻	15	多摩美術大学大学院 彫刻教室塑像				彫刻	17	宮城教育大学大学院 教科教育専攻美術教育専修

	平成18年度			平成19年度			平成20年度		
修了者数	87			86			83		
申請者数	84			81			81		
学位取得者数	78			78			78		
大学院進学者数	6			5			1		
大学院進学者の内訳	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名	修了クラス	修了年度	大学名
	彫刻	18	女子美術大学大学院	彫刻	18	多摩美術大学大学院	彫刻	19	筑波大学大学院博士前期課程人間総合科学研究科芸術専攻彫塑
	彫刻	18	女子美術大学大学院	彫刻	18	鳴門教育大学大学院教科領域教育専攻			
	アートプランニング	18	女子美術大学大学院	絵画	18	日本大学芸術学部			
	彫刻	17	横浜国大大学院	彫刻	18	東北芸術工科大学大学院			
	彫刻	17	京都市立芸術大学大学院	彫刻	19	鳴門教育大学大学院教科領域教育専攻			
クラフト	17	多摩美術大学大学院							

〈オムニバス授業運営事例〉

■科目区分 専門科目／絵画領域／絵画

「絵画基礎II」／開講1年・後期（1・2限）

		絵画基礎II / 1年・後期 (1・2限)																								
		第1週			第2週			第3週			第4週			第5週			第6週			第7週			第8週			
		火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	
クラス1		北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	
	課題説明	課題①「油絵静物」												講評	課題説明	課題②「油彩人体・立ちポーズ」										
クラス2		与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	与那覇大智	北澤茂夫◎	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	
	課題説明	課題①「油絵静物」												講評	課題説明	課題②「油彩人体・立ちポーズ」										
		第9週			第10週			第11週			第12週			第13週			第14週			第15週						
		火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	火	木	金	
クラス1		北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	北澤茂夫◎	与那覇大智	秋本貴透	
	講評	課題③「油彩人体・座りポーズ」												講評												
クラス2		大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	大石洋次郎	横湯久美	仲田智	
	講評	課題③「油彩人体・座りポーズ」												講評												

北澤茂夫◎ / 専任教員コーディネーター

横湯久美 / 専任教員

与那覇大智・秋本貴透・仲田智・大石洋次郎 / 兼任講師

※オムニバス科目担当者会議は、授業開始の前週に行う。

〈オムニバス授業運営事例〉

■科目区分 専門科目／工芸領域／共通(工芸)

「素材表現基礎」／開講1年・前期前半(1・2限)

		素材表現基礎／1年・前期前半(1・2限)															
		第1週		第2週		第3週		第4週		第5週		第6週		第7週		第8週	
		月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火
クラス1	1限	安岡和彦◎	安岡和彦◎	高岡和彦◎	本間純	本間純	松村真	松村真	松村真	林宏	林宏	生越麻紀子	生越麻紀子	生越麻紀子	加藤良次◎	加藤良次◎	加藤良次◎
	2限			本間純										林宏			
クラス2	1限	加藤良次◎	加藤良次◎	加藤良次◎	生越麻紀子	生越麻紀子	安岡和彦◎	本間純	安岡和彦◎	本間純	安岡和彦◎	松村真	松村真	松村真	林宏	林宏	林宏
	2限			生越麻紀子										本間純			
		合同 課題 説明	課題／金属・木・布														合同 講評

安岡和彦◎・加藤良次◎／専任教員コーディネーター

本間純・生越麻紀子・松村真・林宏／兼任講師

※オムニバス科目担当者会議は、授業開始の前週に行う。

〈オムニバス授業運営事例〉

■科目区分 専門科目/ビジュアルデザイン領域/共通(ビジュアル)  
 「ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)」/開講1年・前期後半(1・2限)

ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題) / 1年・前期後半(1・2限)																		
		第8週		第9週		第10週		第11週		第12週		第13週		第14週		第15週		
		木	金	木	金	木	金	木	金	木	金	木	金	木	金	木	金	
クラス1	美術リテラシーデザイン	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	後藤薫	城井光広◎	
		課題説明	課題A「色と形」制作						講評	課題説明	課題B「レタリング」制作						講評	
クラス2		城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎	田崎冬樹	城井光広◎
		課題説明	課題A「色と形」制作						講評	課題説明	課題B「レタリング」制作						講評	
		月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	月	火	
クラス3	美術リテラシーデザイン	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	鈴木安一郎	城井光広◎	
		課題説明	課題A「色と形」制作						講評	課題説明	課題B「レタリング」制作						講評	
クラス4		田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	田崎冬樹	近野和彦	
		課題説明	課題A「色と形」制作						講評	課題説明	課題B「レタリング」制作						講評	

城井光広◎/専任教員コーディネーター

田崎冬樹/専任教員

後藤薫・鈴木安一郎・近野和彦/兼任講師

※オムニバス科目担当者会議は、授業開始の前週に行う。

## 横浜美術大学就業規則（案・抜粋）

### （退職基準）

第 22 条 教職員が次の各号の一に該当するときは、当該各号に掲げる日をもって退職とする。

- |   |                  |
|---|------------------|
| （１） 退職を願い出て承認されたとき                        | 承認された日           |
| （２） 死亡したとき                                | 死亡した日            |
| （３） 定年に達したとき                              | 定年に達した日の属する年度の末日 |
| （４） 休職期間が満了しても休職事由が消滅しないとき（業務上の傷病の場合を除く。） | 休職期間が満了した日       |

### （定年）

第 24 条 第 22 条第 3 号の教職員の定年は、次のとおりとする。

- |                |        |
|----------------|--------|
| （１） 教育職員       | 満 67 歳 |
| （２） 事務職員及び用務職員 | 満 65 歳 |

2 教職員が前項の年齢に達する場合でも、前項の規定にかかわらず、理事会の議を経て当該教職員の定年を延長することができる。ただし、延長後の給与等については、別に定める。

3 前項の適用がない教職員については、任期の定めのある教職員又は非常勤教職員として採用することができる。

### 附 則

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

■クラス編制表

	絵画領域 (40名)		工芸領域 (25名)		ビジュアルデザイン領域 (125名)			
1年	クラス1 担任:北澤	クラス2 担任:中野	クラス1 担任:安岡	クラス2 担任:加藤良	クラス1 担任:徳永	クラス2 担任:辻	クラス3 担任:城井	クラス4 担任:浅川
2年	クラス1 担任:横湯	クラス2 担任:山田	クラス1 担任:本郷	クラス2 担任:高瀬	クラス1 担任:久保	クラス2 担任:三橋	クラス3 担任:押元	クラス4 担任:田崎

※クラス担任は、学生の年次進級に対応して2年間担当する。(表中の2年次担任は2011年度1年生から担当する)

	絵画コース (40名)		クラフト デザイン コース(15名)	テキスタイル デザイン コース(10名)	グラフィック デザイン コース(55名)	映像メディア デザイン コース(30名)	イラストレーション コース(40名)
3年	グループA	グループB	(コース内統合)	(コース内統合)	グループA グループB	(コース内統合)	(コース内統合)
4年	(3名の専任教員 によるゼミ制)		(コース内統合)	(コース内統合)	(3名の専任教員 によるゼミ制)	(コース内統合)	(コース内統合)

## 履修モデル 美術学部美術学科

## 絵画領域

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位		
共通科目	初年次	アカデミックリテラシー(2)				2	2単位必修		
	人文	教育学概論(2)	哲学概論(2)		教育心理学(2) 教育哲学(2)	8	4単位以上選択必修		
	社会・歴史		法学(2)	知的財産法A(2)	法学特論(2)	6	4単位以上選択必修		
	体育	体育(2)				2			
	外国語	英語 I (2)				2	2単位必修	2単位以上選択必修	
			フランス語 I (2)	フランス語 II (2)		4			
	造形	造形表現(彫刻A)(2)	造形表現(工芸A)(2)			4	4単位以上選択必修		
	メディア表現	情報処理概論(2) ウェブデザイン I (2)		コンピュータハードウェア(2)		6			
	総合			教養演習(2) ボランティア講座(2)	原典講読(2) キャリアデザイン講座(2)	8	4単位以上選択必修		
	小計	14	8	10	10	42			
専門教養	美術理論	色彩概論(2)				2	2単位必修	6単位以上選択必修	
			造形美術論 I (2)			2	2単位必修		
			デザイン概論(2)			2	2単位必修		
			色彩特論(2)		2				
	美術史	西洋美術史 I (2)				2	2単位必修	4単位以上選択必修	
		日本美術史 I (2)				2	2単位選択必修		
演習形		西洋美術史 II (2)		西洋美術史特論(2)	4				
小計	6	6	4	2	18				
共通科目の計	20	14	14	12	60	60単位以上			
専門科目	基礎実技	美術リテラシー(導入)(2)				2	2単位必修	10単位以上選択必修	
		美術リテラシー(彫刻)(2)	美術リテラシー(描画)(2) 美術リテラシー(工芸)(2) 美術リテラシー(Web)(2)			8			
	小計	4	6			10			
	絵画領域	絵画	絵画基礎 I (2) 絵画基礎 II (6)	絵画基礎 III (6) 絵画基礎 IV (8)	絵画 I (8) 絵画 II (8)	美術研究 I (絵画)(2) 美術研究 II (絵画)(2) 美術研究 III (絵画)(2) 美術研究 IV (絵画)(2)	46	46単位必修	
			小計	8	14	16	8	46	
	制卒業				卒業制作(8)	8	8単位必修		
小計				8	8				
専門科目の計	12	20	16	16	64	64単位以上			
合計	32	34	30	28	124				

注) ( )内数字は単位を示す。

履修モデル 美術学部美術学科  
工芸領域(クラフトデザイン)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位	
共通科目	初年次 アカデミックリテラシー(2)				2	2単位必修	
	人文 文学(2)	哲学概論(2)	教育哲学(2)	教育心理学(2)	8	4単位以上選択必修	
	社会・歴史 法学(2)	歴史学概論(2)	日本国憲法(2)	法学特論(2)	8	4単位以上選択必修	
	体育 体育(2)				2		
	外国語 英語Ⅰ(2)		英語Ⅱ(2)		2	2単位必修	
	造形 造形表現(描画A)(2)	造形表現(描画B)(2)			4	4単位以上選択必修	
	メディア表現 ウェブデザインⅠ(2)	情報処理概論(2) 3D表現(2)	コンピュータハードウェア(2)		8		
	総合 環境科学(2)		キャリアデザイン講座(2)	原典講読(2) 教養演習(2)	8	4単位以上選択必修	
	小計	16	10	10	8	44	
	小計	6	4	4	2	16	
専門教養	美術理論 色彩概論(2)				2	2単位必修	
		造形美術論Ⅰ(2)			2	2単位必修	
		デザイン概論(2)			2	2単位必修	
				デザイン特論(2)	2		
	美術史 西洋美術史Ⅰ(2) 日本美術史Ⅰ(2)				2 2	2単位必修 2単位選択必修	
演習形 西洋工芸史(2)		西洋工芸史(2)		2	2単位以上選択必修		
演習形 絵画(2)		絵画(2)		2	2単位以上選択必修		
小計	6	4	4	2	16		
共通科目の小計	22	14	14	10	60	60単位以上	
専門科目	基礎実技 美術リテラシー(導入)(2)				2	2単位必修	
		美術リテラシー(彫刻)(2)			8		
		美術リテラシー(描画)(2)					
		美術リテラシー(DTP)(2)					
		美術リテラシー(Web)(2)					
	小計	6	4			10	10単位以上選択必修
	共通(工芸)	素材表現基礎(2) 平面表現基礎(2) 立体造形基礎(2)	メタルクラフト基礎(2) テキスタイル基礎(2) クラフト(形体)(2) クラフト(空間)(2)			14	14単位必修
	クラフトデザイン		メタルクラフトⅠ (彫金技法によるデザイン)(2) メタルクラフトⅡ (鍛造技法の応用)(2) エクステリアエレメント(2) 工芸計画(クラフト)(2)	クラフトデザインⅠ (接合技法とメタルクラフト)(2) インテリアエレメントA (木と金属の家具デザイン)(3) クラフトデザインⅡ (器のデザイン)(3) クラフトデザインⅢ (機能と道具のデザイン)(4) テーマ制作(4)		32	32単位必修
	小計	6	16	16	8	46	
	卒業制作				卒業制作(8)	8	8単位必修
小計				8	8		
専門科目の小計	12	20	16	16	64	64単位以上	
合計	34	34	30	26	124		

注) ( )内数字は単位を示す。

履修モデル 美術学部美術学科  
 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位	
共通科目	初年次教育	アカデミックリテラシー(2)			2	2単位必修	
	人文	文学(2)	哲学概論(2)		8	4単位以上選択必修	
	社会・歴史	法学(2)	歴史学概論(2)	日本国憲法(2)	8	4単位以上選択必修	
	体育	体育(2)			2		
	外国語	英語Ⅰ(2)		英語Ⅱ(2)	2	2単位必修	
	造形	造形表現(描画A)(2)	造形表現(描画B)(2)		4	4単位以上選択必修	
	メディア表現		3D表現(2)	コンピュータハードウェア(2) コンピュータネットワーク(2)	6		
	総合	環境科学(2)		キャリアデザイン講座(2) ボランティア講座(2)	10	4単位以上選択必修	
	小計	14	8	12	10	44	
	専門教養	美術理論	色彩概論(2) 造形美術論Ⅰ(2)	デザイン概論(2)		2 2 2	2単位必修 2単位必修 2単位必修
美術史		西洋美術史Ⅰ(2) 日本美術史Ⅰ(2)		西洋工芸史(2)	2 2 2	2単位必修 2単位選択必修	
演習				絵画(2)	2	2単位以上選択必修	
小計		8	2	4	2	16	
共通科目の計		22	10	16	12	60	60単位以上
基礎実技		美術リテラシー	美術リテラシー(導入)(2) 美術リテラシー(描画)(2)	美術リテラシー(彫刻)(2) 美術リテラシー(DTP)(2) 美術リテラシー(Web)(2)		2 8	2単位必修
		小計	4	6		10	
専門科目	共通(工芸)	素材表現基礎(2) 平面表現基礎(2) 立体造形基礎(2)	メタルクラフト基礎(2) テキスタイル基礎(2) クラフト(形体)(2) クラフト(空間)(2)			14	14単位必修
	テキスタイルデザイン		テキスタイルⅠA (織りの基本技法と知識)(2) テキスタイルⅠB (プリントデザイン)(2) テキスタイルⅡA (ウェアラブルデザイン)(2) 工芸計画(テキスタイル)(2)	テキスタイルⅡB (プリントとデザイン展開)(2) テキスタイルⅢ (ファブリックアート)(3) インテリアエレメントB (家具とカバリングデザイン)(3) テキスタイル総合表現(8)		32	32単位必修
	小計	6	16	16	8	46	
	制卒業業				卒業制作(8)	8	8単位必修
	小計				8	8	
専門科目の計	10	22	16	16	64	64単位以上	
合計	32	32	32	28	124		

注) ( )内数字は単位を示す。

履修モデル 美術学部美術学科  
ビジュアルデザイン領域 (グラフィックデザイン)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位		
共通科目	初年次	アカデミックリテラシー(2)			2	2単位必修		
	人文	教育学概論(2)	文学(2)	教育哲学(2)	8	4単位以上選択必修		
	社会・歴史	法学(2) 歴史学概論(2)		日本国憲法(2)	8	4単位以上選択必修		
	体育	体育(2)			2			
	外国語	英語 I (2)		英語 II (2)	2	2単位必修	2単位以上選択必修	
	造形					4単位以上選択必修		
	メディア表現	ウェブデザイン I (2) ウェブデザイン II (2)	ウェブデザイン演習(2) ウェブプログラミング演習(2)	コンピュータハードウェア(2) コンピュータネットワーク(2)	12			
	総合		環境科学(2)		8	4単位以上選択必修		
				ボランティア講座(2)		キャリアデザイン講座(2)		
	小計	16	8	12	8	44		
	専門教養	美術理論	色彩概論(2)			2	2単位必修	6単位以上選択必修
			造形美術論 I (2)			2	2単位必修	
				デザイン概論(2)		2	2単位必修	
美術史		西洋美術史 I (2)			2	2単位必修	4単位以上選択必修	
			西洋美術史 II (2)		2	2単位必修		
演習形				絵画(2)	2	2単位以上選択必修		
小計	8	4	2	2	16			
共通科目の計	24	12	14	10	60	60単位以上		
専門科目	基礎実技	美術リテラシー(導入)(2)			2	2単位必修	10単位以上選択必修	
		美術リテラシー(描画)(2)			8			
		美術リテラシー(工芸)(2)						
		美術リテラシー(DTP)(2) 美術リテラシー(Web)(2)						
	小計	4	6		10			
	ビジュアルデザイン領域	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎 I (共通課題)(2)	ビジュアルデザイン基礎 II (共通課題)(3)		5	5単位必修	22単位選択必修
			ビジュアルデザイン基礎 A (グラフィックデザイン)(3)	ビジュアルデザイン基礎 B (映像メディアデザイン)(3) ビジュアルデザイン基礎 C (イラストレーション)(3)		9	9単位必修	
				ビジュアルデザイン実践 A (グラフィックデザイン)(4) ビジュアルデザイン実践 B (映像メディアデザイン)(4)		8	8単位選択必修	
		グラフィックデザイン		グラフィックデザイン I (共通課題)(4) グラフィックデザイン II A (タイポグラフィ・エディトリアル)(4) グラフィックデザイン II B (ビジュアルコミュニケーション)(4) グラフィックデザイン II C (デジタルクリエーション)(4)	美術研究 I (グラフィックデザイン)(2) 美術研究 II (グラフィックデザイン)(2) 美術研究 III (グラフィックデザイン)(2) 美術研究 IV (グラフィックデザイン)(2)	24	24単位必修	
		小計	5	17	16	8	46	
制卒業業				卒業制作(8)	8	8単位必修		
小計				8	8			
専門科目の計	9	23	16	16	64	64単位以上		
合計	33	35	30	26	124			

注) ( )内数字は単位を示す。

履修モデル 美術学部美術学科  
ビジュアルデザイン領域 (映像メディアデザイン)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位	
共通科目	初年次 教育	アカデミックリテラシー(2)			2	2単位必修	
	人文	教育学概論(2)	文学(2)	教育哲学(2)	8	4単位以上選択必修	
	社会・歴史	法学(2) 歴史学概論(2)		日本国憲法(2)	8	4単位以上選択必修	
	体育	体育(2)			2		
	外国語	英語Ⅰ(2)		英語Ⅱ(2)	2 2	2単位必修 2単位以上選択必修	
	造形					4単位以上選択必修	
	メディア表現	ウェブデザインⅠ(2) ウェブデザインⅡ(2)	ウェブデザイン演習(2) ウェブプログラミング演習(2)	コンピュータハードウェア(2) コンピュータネットワーク(2)	12		
	総合		環境科学(2)	ボランティア講座(2)	8	4単位以上選択必修	
	小計	16	8	12	8	44	
	専門教養	美術理論	色彩概論(2) 造形美術論Ⅰ(2)	デザイン概論(2)	現代美術論(2)	2 2 2 2	6単位以上選択必修
		美術史	西洋美術史Ⅰ(2) 日本美術史Ⅰ(2)	西洋美術史Ⅱ(2)		2 2 2	4単位以上選択必修
		演習			絵画(2)	2	2単位以上選択必修
		小計	8	4	2	2	16
共通科目の小計		24	12	14	10	60	60単位以上
基礎実技		美術リテラシー(導入)(2) 美術リテラシー(描画)(2)	美術リテラシー(工芸)(2) 美術リテラシー(DTP)(2) 美術リテラシー(Web)(2)			2 8	2単位必修 10単位以上選択必修
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)(2)	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)(3)		5	5単位必修	
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)(3)	ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)(3) ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)(3)		9	9単位必修	
			ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)(4) ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)(4)		8	8単位選択必修	
	映像メディアデザイン			映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)(4) 映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)(4)		8	8単位必修
				映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)(8)		8	8単位選択必修
				美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)(2) 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)(2) 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)(2) 美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)(2)		8	8単位必修
	小計	5	17	16	8	46	24単位必修
	制卒業				卒業制作(8)	8	8単位必修
	小計				8	8	
	専門科目の小計	9	23	16	16	64	64単位以上
合計	33	35	30	26	124		

注) ( )内数字は単位を示す。

履修モデル 美術学部美術学科

ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修単位数	卒業要件単位	
一般教養	初年次 アカデミックリテラシー(2)				2	2単位必修	
	人文 教育学概論(2)	文学(2)	教育哲学(2)	教育心理学(2)	8	4単位以上選択必修	
	社会・歴史 法学(2) 歴史学概論(2)		日本国憲法(2)	法学特論(2)	8	4単位以上選択必修	
	体育 体育(2)				2		
	外国語 英語Ⅰ(2)		英語Ⅱ(2)		2 2	2単位以上選択必修	
	造形					4単位以上選択必修	
	メディア表現 ウェブデザインⅠ(2) ウェブデザインⅡ(2)	ウェブデザイン演習(2) ウェブプログラミング演習(2)	コンピュータハードウェア(2) コンピュータネットワーク(2)		12		
	総合	環境科学(2)		教養演習(2) キャリアデザイン講座(2)	8	4単位以上選択必修	
	小計	16	8	12	8	44	
	専門教養	美術理論 色彩概論(2) 造形美術論Ⅰ(2)	デザイン概論(2)		現代美術論(2)	2 2 2	2単位必修 2単位必修 2単位必修 6単位以上選択必修
美術史 西洋美術史Ⅰ(2) 日本美術史Ⅰ(2)					2 2	2単位必修 2単位選択必修 4単位以上選択必修	
演習形			絵画(2)	西洋美術史特論(2)	4	2単位以上選択必修	
小計		8	2	2	4	16	
共通科目の計		24	10	14	12	60	60単位以上
専門科目		基礎実技 美術リテラシー 美術リテラシー(導入)(2) 美術リテラシー(描画)(2)	美術リテラシー(工芸)(2) 美術リテラシー(DTP)(2) 美術リテラシー(Web)(2)			2 8	2単位必修 10単位以上選択必修
	小計	4	6		10		
	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)(2) ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)(3)	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)(3) ビジュアルデザイン基礎Ⅲ(共通課題)(3)			5 9	5単位必修 9単位必修 22単位選択必修
	ビジュアルデザイン領域	ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)(3) ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)(3) ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)(3)	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)(4) ビジュアルデザイン実践B(グラフィックデザイン)(4) ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)(4)	イラストレーションⅠ(発想と描写①)(4) イラストレーションⅡ(発想と描写②)(4) イラストレーションⅢ(エディトリアル)(4) イラストレーションⅣ(絵本)(4)	美術研究Ⅰ(イラストレーション)(2) 美術研究Ⅱ(イラストレーション)(2) 美術研究Ⅲ(イラストレーション)(2) 美術研究Ⅳ(イラストレーション)(2)	24	24単位必修
	小計	5	17	16	8	46	
	卒業制作 小計				8	8	8単位必修
専門科目の計	9	23	16	16	64	64単位以上	
合計	33	33	30	28	124		

注) ( )内数字は単位を示す。

卒業に必要な単位数一覧

学科	領域	コース	専門科目単位数					共通科目単位数			卒業単位数計	
			学科内共通	領域内共通	コース専門	卒業制作	計	一般教養	専門教養	計		
美術	絵画	絵画	美術リテラシー 10以上 美術研究 8 (計 18以上)	38	-	8	64 以上	初年次教育2以上 人文 4以上 社会・歴史4以上 外国語 2以上 造形 メディア表現 } 4以上 総合4以上  (計20以上)	美術理論6以上  美術史4以上  専門教養演習2以上  (計12以上)	60 以上	124 以上	
	工芸	テキスタイルデザイン		14	24							
		クラフトデザイン		14	24							
	ビジュアルデザイン	グラフィックデザイン		16	22							16
		映像メディアデザイン		16								
		イラストレーション		16								

(注)実技・演習科目は68単位以上となる。

時間割(共通科目)

	月曜(前期)				月曜(後期)				火曜(前期)				火曜(後期)				水曜(前期)				水曜(後期)			
	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室
1限	色彩特論	本-2B	造形表現(工芸B)	6B-12	心理学	4-12	造形表現(彫刻B)	6B-13	造形図法	本-2B	造形表現(描画A)	6A-22	パフォーマンス・アーツ論	4-12	造形表現(デザインA)	6A-11	アカデミックリテラシー(2クラス)	本-2A 5-11	絵画	6A-23	教養演習(2クラス)	本-2A 本-1A	絵画	6A-23
			造形表現(彫刻A)	6B-13	西洋美術史Ⅱ	本-3			原典講読	本-1B			コンピュータ編集	4-11			英語Ⅰ*	本-1B	工芸	6A-13	英語Ⅰ*	本-1B	工芸	6A-13
					美術教育論	本-1B											コンピュータリテラシー	4-11	ビジュアルデザイン	6A-14 1-31	情報処理概論	4-11	ビジュアルデザイン	6A-14 1-31
																		造形表現(描画B)	6A-11				造形表現(描画B)	6A-11
2限	芸術企画論	本-2A	造形表現(工芸B)	6B-12	西洋美術史特論	本-2A	造形表現(彫刻B)	6B-13	西洋工芸史	本-2A	造形表現(描画A)	6A-22	東洋美術史	4-12	造形表現(デザインA)	6A-11	アカデミックリテラシー(3クラス)	本-2A 5-11 3-21	絵画	6A-23	教養演習(2クラス)	本-2A 本-1A	絵画	6A-23
	色彩概論	本-3	造形表現(彫刻A)	6B-13	英語Ⅱ	本-1A			原典講読	本-1B			造形美術論Ⅰ	4-12			英語Ⅰ*	本-1B	工芸	6A-13	英語Ⅰ*	本-1B	工芸	6A-13
	博物館概論	本-1A			日本美術史Ⅱ	本-3			環境デザイン論	3-21			構図論	本-3			情報処理概論	4-11	ビジュアルデザイン	6A-14 1-31	コンピュータリテラシー	4-11	ビジュアルデザイン	6A-14 1-31
																		造形表現(描画B)	6A-11				造形表現(描画B)	6A-11
3限	西洋美術史Ⅰ	4-12			日本美術史Ⅱ	本-3	造形表現(彫刻A)	6B-13	英語Ⅰ*	本-2B	ウェブデザインⅠ	7-2B2	英語Ⅰ*	本-2B	ウェブデザインⅡ	7-2B2	フランス語Ⅰ	本-2A	マルチメディア演習	3-35	フランス語Ⅰ	本-2A		
	日本美術史Ⅰ	本-3					造形表現(工芸A)	6B-12	東洋美術史	4-12					造形表現(描画A)	6A-23	英語Ⅱ	本-1A			英語Ⅱ	本-1A		
	心理学	本-2A			色彩概論	3-21			体育*	本-2A			体育*	5-11			体育*	5-11			体育*	5-11		
	色彩概論	3-21							造形美術論Ⅰ	3-21			造形美術論Ⅰ	3-21			美学概論	4-12			美学概論	4-12		
	英語Ⅱ	本-1A							構図論	本-3			環境デザイン論	本-3										
4限	西洋美術史Ⅰ	4-12			西洋美術史Ⅱ	4-12	造形表現(彫刻A)	6B-13	英語Ⅰ*	本-1A	ウェブデザインⅠ	7-2B2	英語Ⅰ*	本-1A	ウェブデザインⅡ	7-2B2	フランス語Ⅱ	本-1B	マルチメディア演習	3-35	フランス語Ⅱ	本-1B		
	日本美術史Ⅰ	本-3			博物館概論	本-1A	造形表現(工芸A)	6B-12	体育*	本-2B			体育*	本-2B	造形表現(描画A)	6A-23	体育*	本-2A			体育*	本-2A		
	美術教育論	本-1B			芸術企画論	本-2A			西洋美術史Ⅰ	本-3			西洋工芸史	本-3			キャリアデザイン講座	本-3			キャリアデザイン講座	本-3		
					色彩特論	本-2B			日本美術史Ⅰ	4-12			造形図法	4-12										
5限	映像論	3-21			映像論	3-21			美術表現論	3-21			美術表現論	3-21			ボランティア講座*	5-11			ボランティア講座*	5-11		
	西洋美術史特論	本-2A																						
	美術科教育法Ⅰ	本-2A			美術科教育法Ⅱ	本-2A			歴史学概論	4-12			歴史学概論	4-12			教育実習Ⅰ*	本-2B			教育実習Ⅰ*	本-2B		
	教育心理学	本-1A			教育相談	本-1A			教育実習の研究	本-1B			生徒・進路指導の研究	本-1B			教育実習Ⅱ*	本-1B			教育実習Ⅱ*	本-1B		
工芸論	4-12			工芸論	4-12												教育実践演習*	3-21			教育実践演習*	3-21		

本-3	150	名
本-2A	40	名
本-2B	40	名
本-1A	40	名
本-1B	40	名
4-12	150	名
3-21	150	名
5-11	80	名

時間割(共通科目)

木曜(前期)				木曜(後期)				金曜(前期)				金曜(後期)			
科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室	科目	講義室	実技	実技室
環境科学	4-12	ウェブデザイン演習	7-2B2	身体表象論	3-21	ウェブプログラミング演習	7-2B2	教育哲学	本-3	造形表現(工芸A)	6A-13	デザイン特論	本-3	造形表現(デザインB)	6A-11
現代美術論	本-3							フランス語 II	本-2A	3D表現	7-2B2	経済学	4-12	3D表現	7-2B2
												美術解剖学	本-1B		
法学特論	本-1A	ウェブデザイン演習	7-2B2	法学	本-3	ウェブプログラミング演習	7-2B2	デザイン概論	4-12	造形表現(工芸A)	6A-13	教育学概論	本-3	造形表現(デザインB)	6A-11
文学	本-3			哲学概論	3-21			知的財産法B	本-1A	3D表現	7-2B2	知的財産法A	4-12	3D表現	7-2B2
				造形美術論 II	4-12			コンピュータネットワーク	本-2A			コンピュータハードウェア	本-2A		
								フランス語 I	5-11						
法学	本-3	造形表現(彫刻B)	6B-11	法学特論	本-1A	造形表現(工芸B)	6A-13	教育学概論	本-3	造形表現(デザインB)	6A-23	教育哲学	本-3		
英語 I *	本-2B	造形表現(デザインA)	6A-23	英語 I *	本-2B			知的財産法A	本-2A			知的財産法B	本-1A		
アカデミックレクレーション(1クラス)	本-1A			環境科学	4-12			デザイン概論	3-21			デザイン概論	3-21		
コンピュータ編集	4-11			文学	本-3			経済学	4-12			フランス語 I	本-2A		
				コンピュータグラフィックス	4-11										
哲学概論	4-12	造形表現(彫刻B)	6B-11	英語 I *	本-2A	造形表現(工芸B)	6A-13	美術解剖学	本-1B	造形表現(デザインB)	6A-23	コンピュータリテラシー	4-11		
英語 I *	本-2A	造形表現(デザインA)	6A-23	現代美術論	本-3			原典講読	本-2B			フランス語 II	本-2A		
								コンピュータリテラシー	4-11						
造形美術論 II	5-11							デザイン特論	本-3						
日本国憲法	本-1B														
漫画論	4-12			日本国憲法	本-3			絵本論	本-3			絵本論	本-3		
身体表象論	3-21			文学	5-11										
教職入門	本-1A			漫画論	4-12							教育制度論	本-1A		
道德教育の研究	本-2B			特別活動の指導法	本-1A										
				教育方法論	本-2B										

## 時間割表〈専門科目〉1年

【1年】 午前/1・2限

		前期/前半	前期/後半	後期/前半	後期/後半
絵画領域 (40)	月	美術リテラシー (彫刻) 6A-13		美術リテラシー (工芸) 6A-23	
	火	美術リテラシー (デザイン) 6A-11		絵画基礎 II 4-42	
	木	美術リテラシー (導入) 4-42	絵画基礎 I 4-42		
	金				
工芸領域 (25) クラフトデザイン	月	美術リテラシー (導入) 5-12・2-11・13・33	素材表現基礎 5-12・2-11・13・33	立体造形基礎 2-33	平面表現基礎 5-12・2-33
	火	美術リテラシー (彫刻) 6A-13		本-PC 美術リテラシー (DTP) α 美術リテラシー (WEB) 4-11	
	木	美術リテラシー (デザイン) 6A-11		美術リテラシー (描画) 6A-23	
	金				
テキスタイルデザイン	月	美術リテラシー (導入) 5-12・2-11・13・33	素材表現基礎 5-12・2-11・13・33	平面表現基礎 5-12・2-33	立体造形基礎 2-33
	火	美術リテラシー (彫刻) 6A-13		本-PC 美術リテラシー (DTP) α 美術リテラシー (WEB) 4-11	
	木	美術リテラシー (デザイン) 6A-11		美術リテラシー (描画) 6A-23	
	金				
ビジュアルデザイン領域 クラス1 (32) クラス担任: 徳永	月	美術リテラシー (デジタル) 本-PC		美術リテラシー (DTP) 本-PC	
	火	美術リテラシー (描画) 6A-23		VD 基礎 A <u>グラフィックデザイン</u> 7-4C3	VD 基礎 B <u>映像メディアデザイン</u> 3-31/35
	木	美術リテラシー (導入) 7-4C3	ビジュアルデザイン基礎 共通課題 I 7-4C3		
	金				
ビジュアルデザイン領域 クラス2 (31) クラス担任: 中野	月	美術リテラシー (描画) 6A-23		VD 基礎 B <u>映像メディアデザイン</u> 3-31/35	VD 基礎 C <u>イラストレーション</u> 7-3A1
	火	美術リテラシー (デジタル) 本-PC		美術リテラシー (DTP) 本-PC	
	木	美術リテラシー (導入) 3-31/35	ビジュアルデザイン基礎 共通課題 I 3-31/35	VD 基礎 B <u>映像メディアデザイン</u> 3-31/35	VD 基礎 C <u>イラストレーション</u> 7-3A1
	金				
ビジュアルデザイン領域 クラス3 (31) クラス担任: 城井	月	美術リテラシー (導入) 7-3A1	ビジュアルデザイン基礎 共通課題 I 7-3A1	VD 基礎 C <u>イラストレーション</u> 7-3A1	VD 基礎 共通課題 II 6A-14
	火	美術リテラシー (デジタル) 本-PC		美術リテラシー (DTP) 本-PC	
	木	美術リテラシー (描画) 6A-23		VD 基礎 C <u>イラストレーション</u>	VD 基礎 共通課題 II 6A-14
	金				
ビジュアルデザイン領域 クラス4 (31) クラス担任: 浅川	月	美術リテラシー (導入) 6A-14	ビジュアルデザイン基礎 共通課題 I 6A-14	VD 基礎 共通課題 II 6A-14	VD 基礎 A <u>グラフィックデザイン</u> 7-4C3
	火	美術リテラシー (導入) 6A-14	ビジュアルデザイン基礎 共通課題 I 6A-14		
	木			美術リテラシー (描画) 6A-23	
	金	美術リテラシー (デジタル) 本-PC		美術リテラシー (DTP) 本-PC	

# 時間割表〈専門科目〉2年

【2年】 午後／3・4限

		前期／前半	前期／後半	後期／前半	後期／後半	
絵画領域 (40)	月	本-PC 美術リテラシー(DTP) or 美術リテラシー(WEB) 4-11		絵画基礎Ⅳ (銅版画/リトグラフ/木版画：版画室/テンペラ画・アクリル画 4-41)		
	火	絵画基礎Ⅲ (油彩風景 4-42・32 / ドローイング 4-32 / 人体Ⅲ 4-31)				
	木					
	金					
工芸領域 (25) クラフトデザイン	月	メタルクラフト基礎 2-11	クラフト(形体) 2-11・13	メタルクラフトⅠ 2-11	メタルクラフトⅡ 2-11・13	
	火	工芸計画 (クラフトデザイン) 2-33 エクステリアエレメント 2-33				
	木					
	金					
テキスタイルデザイン	月	テクスタイル基礎 5-12・2-31	クラフト(空間) 5-12・2-24・31	テクスタイルⅠA 2-31	テクスタイルⅡA 5-12・2-31・33	
	火	工芸計画 (テキスタイルデザイン) 2-33 テキスタイルⅠB 5-12				
	木					
	金					
ビジュアルデザイン領域 クラス1 (32) クラス担任：徳永	月	美術リテラシー(WEB) 本-PC		VD 実践	VD 実践	
	火	VD 基礎 Cイラストレーション 7-3A1		A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択	A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択 ※連続して同分野選択は不可	
	木					
	金					
ビジュアルデザイン領域 クラス2 (31) クラス担任：中野	月	VD 基礎 共通課題Ⅱ 6A-14	VD 基礎 Aグラフィックデザイン 7-4C3	VD 実践	VD 実践	
	火	VD 基礎 共通課題Ⅱ 6A-14		A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択	A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択 ※連続して同分野選択は不可	
	木					
	金					
ビジュアルデザイン領域 クラス3 (31) クラス担任：城井	月	VD 基礎 Aグラフィックデザイン 7-4C3	VD 基礎 B映像メディアデザイン 3-31/35	VD 実践	VD 実践	
	火	美術リテラシー(WEB) 本-PC 3-31/35		A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択	A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択 ※連続して同分野選択は不可	
	木					
	金					
ビジュアルデザイン領域 クラス4 (31) クラス担任：浅川	月	VD 基礎 B映像メディアデザイン 3-31/35		VD 実践	VD 実践	
	火			VD 基礎 Cイラストレーション 7-3A1	A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択	A グラフィックデザイン 7-4C3 B 映像メディアデザイン 3-31/35 C イラストレーション 7-3A1 ※1分野を選択 ※連続して同分野選択は不可
	木					
	金	美術リテラシー(WEB) 本-PC				

# 時間割表〈専門科目〉3年

【3年】 午前/1・2限

		前期/前半	前期/後半	後期/前半	後期/後半
絵画コース (40)	月	絵画Ⅰ 5-31・32・33		絵画Ⅱ 5-33	
	火				
	木				
クラフトデザインコース (15)	月	インテリアエレメント A 2-11・13・24	クラフトデザインⅡ 2-11・13・24	クラフトデザインⅢ 2-11・13・24	テーマ制作 2-11・13・24
	火				
	木	クラフトデザインⅠ 2-11			
テキスタイルデザインコース (10)	月	テキスタイルⅢ 5-12・2-31・33	インテリアエレメント B 5-12・2-33	テキスタイル総合表現 5-12・2-31・33	
	火				
	木	テキスタイルⅡB 5-12・2-33			
グラフィックデザインコース 1 (28)	月	グラフィックデザインⅠ 共通課題 1-31/32	グラフィックデザインⅡA (タイポグラフィ・エディトリアル分野)寺田 1-31	グラフィックデザインⅡB (ビジュアルコミュニケーション分野)久保 1-31	グラフィックデザインⅡC (デジタルクリエーション分野)浅川 1-31
	火		1-32	1-32	1-32
グラフィックデザインコース 2 (27)	月	グラフィックデザインⅠ 共通課題 1-31/32	グラフィックデザインⅡB (ビジュアルコミュニケーション分野)久保	グラフィックデザインⅡC (デジタルクリエーション分野)浅川	グラフィックデザインⅡA (タイポグラフィ・エディトリアル分野)寺田
	火				
映像メディアデザインコース (30)	月	映像メディアデザインⅠ A 写真・映像 B メディア・インスタレーション ※1分野を選択 3-31/35	映像メディアデザインⅠ A 写真・映像 3-31/35 B メディア・インスタレーション ※1分野を選択 ※連続して同分野選択は不可	映像メディアデザインⅡA 写真・映像 3-31/35 映像メディアデザインⅡB メディア・インスタレーション 3-11 ※1分野を選択	
	火				
	木				
イラストレーションコース (40)	月	イラストレーションⅠ 発想と描写 1 7-3C2	イラストレーションⅡ 発想と描写 2 7-3C2	イラストレーションⅢ エディトリアルデザイン 1 7-3C2	イラストレーションⅣ エディトリアルデザイン 2 7-3C2
	火				
	木				

## 時間割表〈専門科目〉4年

【4年】 午後/3・4限

		前期/前半	前期/後半	後期/前半	後期/後半
絵画コース (40)	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(絵画)、美術研究Ⅱ(絵画) 美術研究Ⅲ(絵画)、美術研究Ⅳ(絵画) ※ゼミ演習(週1)含む 4-21・22		卒業制作 4-21・22、5-31・32・33	
クラフトデザインコース (15)	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)、美術研究Ⅱ(クラフトデザイン) 美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)、美術研究Ⅳ(クラフトデザイン) ※ゼミ演習(週1)含む 2-11・13・24		卒業制作 2-11・13・24	
テキスタイルデザインコース (10)	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)、美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン) 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)、美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン) ※ゼミ演習(週1)含む 5-12・2-31・33		卒業制作 5-12・2-31・33	
グラフィックデザインコース (55) ゼミ定員(各15~20) 寺田/久保/浅川	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)、美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン) 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)、美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン) ※ゼミ演習(週1)含む 〈タイポグラフィ・エディトリアル分野〉寺田 7-2A2/2B2/2C2 〈ビジュアルコミュニケーション分野〉久保 〈デジタルクリエイション分野〉浅川 ※1分野を選択		卒業制作 7-2A2/2B2/2C2	
映像メディアデザインコース (30)	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)、美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン) 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)、美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン) ※ゼミ演習(週1)含む 3-11/23		卒業制作 3-11/23	
イラストレーションコース (40)	月 火 木 金	美術研究Ⅰ(イラストレーション)、美術研究Ⅱ(イラストレーション) 美術研究Ⅲ(イラストレーション)、美術研究Ⅳ(イラストレーション) ※ゼミ演習(週1)含む 7-3B4/4B2		卒業制作 7-3B4/4B2	

## 履修登録単位の上限設定について

履修する授業科目の登録単位数は1年間につき40単位を上限とする。

(理由)

時間割上、実技授業科目を1日2限(4時間)月曜日から金曜日まで(水曜日を除く。)学修し、講義系授業科目を1日2限(4時間)から3限(6時間)月曜から金曜まで学修する履修形態が、上限となると考える。この場合で、1日あたり1限(2時間)から2限(4時間)の空き時間が課外活動等にあてることとなる(下表)。すなわち、1年間で40単位となり、これをもって上限とする。

(履修単位が上限となるモデル)

時間帯	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	計
1(2時間)	2時間	2時間		2時間	2時間	8時間
2(2時間)	2時間	2時間		2時間	2時間	8時間
3(2時間)	2時間	2時間	2時間		2時間	8時間
4(2時間)	2時間		2時間	2時間		6時間
5(2時間)		2時間	2時間	2時間	2時間	8時間
合計	8時間	8時間	6時間	8時間	8時間	38時間

## G P A (グレード・ポイント・アベレージ) 制度の概要

### 1 実施方法

#### (1) 対象科目

本学及び他大学等で卒業の要件として履修する授業科目とする。

#### (2) 成績評価とグレードポイント付与

グレードポイントは成績評価がA Aは4点、Aは3点、Bは2点、Cは1点及びDは0点とする。

#### (3) グレード・ポイント・アベレージ

対象科目の総単位数にグレードポイントを掛けた点の総点を当該対象科目の総単位数で除し、その平均点を算出する。

### 2 制度の運用

#### (1) 特別指導

G P A 2.0 未満の学生に対して学科長及び領域主任が特別指導をする。

#### (2) 履修登録単位の特例

2 期連続してG P A 3.7 以上の者に対しては、学力に余裕がある者として、1 年間に登録できる制限単位数を超えて履修登録を認めるものとする。

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
初年次 教育 人文 社会・歴史 体育 外国語 造形 メディア表現 共通科目 一般教養	アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2					2
	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修							4
	文学	1・2前後		2									
	心理学	1・2前後		2			心理学	2					
	教育学概論	1・2前後		2									
	教育心理学	3・4前		2						教育心理学	2		
	教育哲学	3・4前後		2									
	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学 I	2					8
	日本国憲法	2・3前後		2							法学特論	2	
	法学特論	3・4前後		2									
	知的財産法A	2・3前後		2					知的財産法A	2			
	知的財産法B	2・3前後		2					知的財産法B	2			
	歴史学概論	1・2前後		2									
	経済学	1・2前後		2									
	体育	1・2通		2			体育	2					2
	英語 I	1通		2		2単位以上 選択必修	英語 I	2					4
	英語 II	2・3前後		2					英語 II	2			
	フランス語 I	1・2前後		2									
	フランス語 II	2・3前後		2									
	造形表現（彫刻 A）	1・2前後		2		4単位以上選択必修	彫刻 I	2					4
	造形表現（彫刻 B）	1・2前後		2									
	造形表現（描画 A）	1・2前後		2									
	造形表現（描画 B）	1・2前後		2									
	造形表現（工芸 A）	1・2前後		2									
	造形表現（工芸 B）	1・2前後		2									
	造形表現（デザイン A）	1・2前後		2						造形表現（デザイン A）	2		
	造形表現（デザイン B）	1・2前後		2									
	情報処理概論	1・2前後		2			情報処理	2					4
コンピュータリテラシー	1・2前後		2										
コンピュータ編集	2・3前後		2										
コンピュータハードウェア	2・3後		2					コンピュータハードウェア	2				
コンピュータネットワーク	2・3前		2										
コンピュータグラフィックス	2・3後		2										
ウェブデザイン I	1前		2										
ウェブデザイン II	1後		2										
ウェブデザイン演習	2前		2										
ウェブプログラミング演習	2後		2										
マルチメディア演習	2前		2										
3D表現	2前後		2										

横浜美術短期大学からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
一般教養	総合	原典講読	3・4前		2	4単位以上選択必修					原典講読	2	6
		教養演習	3・4後		2				教養演習	2			
		環境科学	1・2前後		2								
		キャリアデザイン講座	3・4前後		2						キャリアデザイン講座	2	
		ボランティア講座	2・3通		2								
小計							14		12		8	34	
共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後		2	6単位以上選択必修							14
		色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩論	2				
		色彩特論	3・4前後		2						色彩特論	2	
		造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修	造形論	2				
		造形美術論Ⅱ	1・2前後		2								
		造形図法	1・2前後		2								
		構図論	1・2前後		2								
		美術解剖学	1・2前後		2								
		美術表現論	2・3前後		2								
		現代美術論	3・4前後		2								
		デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修	デザイン概論	2				
		デザイン特論	3・4前後		2						デザイン特論	2	
		映像論	3・4前後		2								
		絵本論	3・4前後		2								
		漫画論	3・4前後		2					漫画論	2		
		身体表象論	3・4前後		2								
	工芸論	3・4前後		2									
	環境デザイン論	3・4前後		2									
	パフォーマンス・アーツ論	3・4前後		2									
	美術教育論	3・4前後		2									
	芸術企画論	3・4前後		2						芸術企画論	2		
	博物館概論	1・2前後		2									
	美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				10
		西洋美術史Ⅱ	1・2後		2								
		西洋美術史特論	3・4前後		2						西洋美術史特論	2	
		西洋工芸史	3・4前後		2					西洋工芸史	2		
日本美術史Ⅰ		1前		2	※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修	日本美術史概説		2					
日本美術史Ⅱ		1・2後		2									
東洋美術史		1・2前後		2				東洋美術史概説	2				
造形演習	絵画	3前後		2	2単位以上選択必修							2	
	工芸	3前後		2									
	ビジュアルデザイン	3前後		2				ビジュアルデザイン	2				
小計							12		6		8	26	
共通科目の計					60単位以上		26		18		16	60	

横浜美術短期大学からの編入学 絵画領域（絵画）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単 位数		
			必 修	選 択	自 由		科目名	単 位	科目名	単 位	科目名	単 位			
基礎 実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	基礎デッサン	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2			彫刻	2						
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2			卒業制作	2						
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2			工芸A	2						
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2			卒業制作	2						
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2										
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2										
		美術リテラシー(W e b)	1・2前後		2										
小計							10		0		0	10			
専門科目	絵画領域 絵画	絵画基礎Ⅰ	1前	2		4 6 単位必修	油画Ⅰ	2					46		
		絵画基礎Ⅱ	1後	6			油画Ⅱ	2							
		絵画基礎Ⅲ	2前	6				油画Ⅲ	2						
								絵画表現Ⅰ	2						
								構成Ⅰ	2						
		絵画基礎Ⅳ	2後	8				ドローイング	2						
								構成Ⅱ	2						
		絵画Ⅰ	3前	8				版画Ⅰ	2						
								版画Ⅱ	2						
								技法研究	2						
								絵画表現Ⅱ	2						
												絵画Ⅰ		8	
		絵画Ⅱ	3後	8											
							絵画Ⅱ	8							
美術研究Ⅰ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅰ(絵画)	2				
美術研究Ⅱ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅱ(絵画)	2				
美術研究Ⅲ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅲ(絵画)	2				
美術研究Ⅳ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅳ(絵画)	2				
小計							22		16		8	46			
制卒業	卒業制作	4後	8		8単位必修						卒業制作	8	8		
小計											8	8			
専門科目の計					6 4 単位以上		32		16		16	64			
合計							58		34		32	124			

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2				2	
	人文	哲学概論	1・2前後	2		4単位以上選択必修	哲学	2				6	
		文学	1・2前後	2									
		心理学	1・2前後	2									
		教育学概論	1・2前後	2									
		教育心理学	3・4前	2				教育心理学	2				
	教育哲学	3・4前後	2						教育哲学	2			
	社会・歴史	法学	1・2前後	2		4単位以上選択必修	法学 I	2				6	
		日本国憲法	2・3前後	2					日本国憲法	2			
		法学特論	3・4前後	2							法学特論		2
		知的財産法A	2・3前後	2									
		知的財産法B	2・3前後	2									
		歴史学概論	1・2前後	2									
	経済学	1・2前後	2										
	体育	体育	1・2通	2			体育	2				2	
	外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	英語 I	2					4
		英語 II	2・3前後	2									
		フランス語 I	1・2前後	2									
		フランス語 II	2・3前後	2									
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後	2		4単位以上選択必修							4
		造形表現（彫刻B）	1・2前後	2									
		造形表現（描画A）	1・2前後	2									
		造形表現（描画B）	1・2前後	2									
		造形表現（工芸A）	1・2前後	2				工芸A	2				
		造形表現（工芸B）	1・2前後	2									
		造形表現（デザインA）	1・2前後	2									
		造形表現（デザインB）	1・2前後	2							造形表現（デザインB）	2	
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			情報処理	2					6
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2									
		コンピュータ編集	2・3前後	2					コンピュータ編集	2			
コンピュータハードウェア		2・3後	2					コンピュータハードウェア	2				
コンピュータネットワーク		2・3前	2										
コンピュータグラフィックス		2・3後	2										
ウェブデザイン I		1前	2										
ウェブデザイン II		1後	2										
ウェブデザイン演習		2前	2										
ウェブプログラミング演習		2後	2										
マルチメディア演習		2前	2										
3D表現	2前後	2											

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修					原典講読	2	6	
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2		
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2						キャリアデザイン講座	2			
		ボランティア講座	2・3通	2										
小計							14		14		8	36		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修						16	
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩論	2				
			色彩特論	3・4前後	2							色彩特論		2
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修	造形論	2				
			造形美術論Ⅱ	1・2前後	2									
			造形図法	1・2前後	2									
			構図論	1・2前後	2									
			美術解剖学	1・2前後	2									
			美術表現論	2・3前後	2						美術表現論	2		
			現代美術論	3・4前後	2									
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン概論	2			
			デザイン特論	3・4前後	2							デザイン特論		2
			映像論	3・4前後	2									
			絵本論	3・4前後	2									
			漫画論	3・4前後	2									
			身体表象論	3・4前後	2									
			工芸論	3・4前後	2									
			環境デザイン論	3・4前後	2									
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2									
			美術教育論	3・4前後	2									美術教育論
芸術企画論	3・4前後	2							芸術企画論	2				
博物館概論	1・2前後	2												
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				6		
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2											
	西洋美術史特論	3・4前後	2											
	西洋工芸史	3・4前後	2											
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修		日本美術史概説	2						
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2											
	東洋美術史	1・2前後	2				東洋美術史概説	2						
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2		
	工芸	3前後	2											
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							12		4		8	24		
共通科目の計					60単位以上		26		18		16	60		

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	素材表現 I	2				10	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2					総合クラフトデザイン実習	2					
	美術リテラシー(描画)	1・2前後	2					クラフトデザイン実習	2					
	美術リテラシー(工芸)	1・2前	2											
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2					デザイン基礎	2					
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2					コンピュータ表現	2					
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2											
	美術リテラシー(Web)	1・2前後	2											
小計							10		0		0	10		
専門科目	共通(工芸)	素材表現基礎	1前	2		14単位必修	素材表現	2					14	
		平面表現基礎	1後	2				総合クラフトデザイン実習 I	2					
		立体造形基礎	1後	2				立体造形基礎	2					
		メタルクラフト基礎	2前	2				メタルクラフトデザイン実習	2					
		テキスタイル基礎	2前	2				テキスタイルデザイン実習	2					
		クラフト(形体)	2前	2				ウッドクラフトデザイン実習	2					
		クラフト(空間)	2前	2				クラフトデザイン実習	2					
	工芸領域	クラフトデザイン	メタルクラフト I (彫金技法によるデザイン)	2後	2		32単位必修	卒業制作	2					32
			メタルクラフト II (鍛造技法の応用)	2後	2			卒業制作	2					
			エクステリアエレメント	2後	2			卒業制作	2					
			工芸計画(クラフト)	2後	2			総合クラフトデザイン実習 II	2					
			クラフトデザイン I (接合技法とメタルクラフト)	3前	2				クラフトデザイン I (接合技法とメタルクラフト)	2				
			インテリアエレメント A (木と金属の家具デザイン)	3前	3				インテリアエレメント A (木と金属の家具デザイン)	3				
			クラフトデザイン II (器のデザイン)	3前	3				クラフトデザイン II (器のデザイン)	3				
クラフトデザイン III (機能と道具のデザイン)	3後	4			クラフトデザイン III (機能と道具のデザイン)	4								
テーマ制作	3後	4			テーマ制作	4								
	美術研究 I (クラフトデザイン)	4前	2							美術研究 I (クラフトデザイン)	2			
	美術研究 II (クラフトデザイン)	4前	2							美術研究 II (クラフトデザイン)	2			
	美術研究 III (クラフトデザイン)	4前	2							美術研究 III (クラフトデザイン)	2			
	美術研究 IV (クラフトデザイン)	4前	2							美術研究 IV (クラフトデザイン)	2			
小計							22		16		8	46		
制卒業作業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8		
小計											8	8		
専門科目の計					64単位以上		32		16		16	64		
合計							58		34		32	124		

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2					2		
	人文	哲学概論	1・2前後	2			4単位以上選択必修	哲学	2					6	
		文学	1・2前後	2											
		心理学	1・2前後	2											
		教育学概論	1・2前後	2											
		教育心理学	3・4前	2						教育心理学	2				
	教育哲学	3・4前後	2							教育哲学	2				
	社会・歴史	法学	1・2前後	2			4単位以上選択必修	法学 I	2					6	
		日本国憲法	2・3前後	2						日本国憲法	2				
		法学特論	3・4前後	2								法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後	2											
		知的財産法B	2・3前後	2											
		歴史学概論	1・2前後	2											
	経済学	1・2前後	2												
	体育	体育	1・2通	2			体育	2					2		
	外国語	英語 I	1通	2			2単位必修	英語 I	2					4	
		英語 II	2・3前後	2				2単位以上選択必修			英語 II	2			
		フランス語 I	1・2前後	2											
		フランス語 II	2・3前後	2											
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後	2			4単位以上選択必修							4	
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後	2											
		造形表現 (描画A)	1・2前後	2											
		造形表現 (描画B)	1・2前後	2											
		造形表現 (工芸A)	1・2前後	2					工芸A	2					
		造形表現 (工芸B)	1・2前後	2											
		造形表現 (デザインA)	1・2前後	2											
		造形表現 (デザインB)	1・2前後	2							造形表現デザインB	2			
メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2				情報処理	2					6		
	コンピュータリテラシー	1・2前後	2												
	コンピュータ編集	2・3前後	2						コンピュータ編集	2					
	コンピュータハードウェア	2・3後	2						コンピュータハードウェア	2					
	コンピュータネットワーク	2・3前	2												
	コンピュータグラフィックス	2・3後	2												
	ウェブデザイン I	1前	2												
	ウェブデザイン II	1後	2												
	ウェブデザイン演習	2前	2												
	ウェブプログラミング演習	2後	2												
	マルチメディア演習	2前	2												
3D表現	2前後	2													

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修					原典講読	2	6	
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2		
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2					キャリアデザイン講座	2				
		ボランティア講座	2・3通	2										
小計							14		14		8	36		
共通科目	美術理論 専門教養	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修							16	
		色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩論	2					
		色彩特論	3・4前後	2								色彩特論		2
		造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修	造形論	2					
		造形美術論Ⅱ	1・2前後	2										
		造形図法	1・2前後	2										
		構図論	1・2前後	2										
		美術解剖学	1・2前後	2										
		美術表現論	2・3前後	2						美術表現論	2			
		現代美術論	3・4前後	2										
		デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン概論	2				
		デザイン特論	3・4前後	2								デザイン特論		2
		映像論	3・4前後	2										
		絵本論	3・4前後	2										
		漫画論	3・4前後	2										
		身体表象論	3・4前後	2										
		工芸論	3・4前後	2										
		環境デザイン論	3・4前後	2										
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
		美術教育論	3・4前後	2								美術教育論		2
芸術企画論	3・4前後	2							芸術企画論	2				
博物館概論	1・2前後	2												
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				6		
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2											
	西洋美術史特論	3・4前後	2											
	西洋工芸史	3・4前後	2											
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修		日本美術史概説	2						
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2											
	東洋美術史	1・2前後	2				東洋美術史概説	2						
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2		
	工芸	3前後	2											
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							12		4		8	24		
共通科目の計					60単位以上		26		18		16	60		

横浜美術短期大学からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数			
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位				
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	素材表現	2				10			
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2				総合クラフトデザイン実習 I	2							
		美術リテラシー(描画)	1・2前後	2				クラフトデザイン実習	2							
		美術リテラシー(工芸)	1・2前	2												
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2				デザイン基礎	2							
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2				コンピュータ表現	2							
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2												
		美術リテラシー(Web)	1・2前後	2												
小計							10					10				
専門科目	共通(工芸)	素材表現基礎	1前	2		14単位必修	素材表現	2				14				
		平面表現基礎	1後	2			総合クラフトデザイン実習 I	2								
		立体造形基礎	1後	2			立体造形基礎	2								
		メタルクラフト基礎	2前	2			メタルクラフトデザイン実習	2								
		テキスタイル基礎	2前	2			テキスタイルデザイン実習	2								
		クラフト(形体)	2前	2			ウッドクラフトデザイン実習	2								
		クラフト(空間)	2前	2			クラフトデザイン実習	2								
	テキスタイルデザイン	テキスタイル I A (織りの基本技法と知識)	2後	2		32単位必修	卒業制作	2				32				
		テキスタイル I B (プリントデザイン)	2後	2			卒業制作	2								
		テキスタイル II A (ウェアラブルデザイン)	2後	2			卒業制作	2								
		工芸計画(テキスタイル)	2後	2			総合クラフトデザイン実習 II	2								
		テキスタイル II B (プリントとデザイン展開)	3前	2				テキスタイル II B (プリントとデザイン展開)	2							
		テキスタイル III (ファブリックアート)	3前	3				テキスタイル III (ファブリックアート)	3							
		インテリアエレメント B (家具とカバリングデザイン)	3前	3				インテリアエレメント B (家具とカバリングデザイン)	3							
		テキスタイル総合表現	3後	8				テキスタイル総合表現	8							
		美術研究 I (テキスタイルデザイン)	4前	2							美術研究 I (テキスタイルデザイン)		2			
		美術研究 II (テキスタイルデザイン)	4前	2							美術研究 II (テキスタイルデザイン)		2			
		美術研究 III (テキスタイルデザイン)	4前	2							美術研究 III (テキスタイルデザイン)		2			
		美術研究 IV (テキスタイルデザイン)	4前	2							美術研究 IV (テキスタイルデザイン)		2			
		小計								22			16		8	46
		制卒業	卒業制作	4後	8			8単位必修						卒業制作	8	8
		小計													8	8
専門科目の小計					64単位以上		32		16		16	64				
合計							58		34		40	180				

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (グラフィックデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 教育 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2					2
	人文	哲学概論	1・2前後	2		4単位以上選択必修	哲学	2					8
		文学	1・2前後	2									
		心理学	1・2前後	2			心理学	2					
		教育学概論	1・2前後	2									
		教育心理学	3・4前	2							教育心理学	2	
	社会・歴史	法学	1・2前後	2		4単位以上選択必修	法学 I	2					6
		日本国憲法	2・3前後	2						日本国憲法	2		
		法学特論	3・4前後	2							法学特論	2	
		知的財産法A	2・3前後	2									
		知的財産法B	2・3前後	2									
		歴史学概論	1・2前後	2									
	体育	体育	1・2通	2			体育	2					2
		外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	英語 I	2				4
	英語 II		2・3前後	2						英語 II	2		
	フランス語 I		1・2前後	2		2単位以上選択必修							
	フランス語 II		2・3前後	2									
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後	2		4単位以上選択必修			造形表現 (彫刻A)	2			4
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後	2									
		造形表現 (描画A)	1・2前後	2									
		造形表現 (描画B)	1・2前後	2									
		造形表現 (工芸A)	1・2前後	2									
		造形表現 (工芸B)	1・2前後	2									
		造形表現 (デザインA)	1・2前後	2									
		造形表現 (デザインB)	1・2前後	2									
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			情報処理	2					8
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2									
		コンピュータ編集	2・3前後	2					コンピュータ編集	2			
		コンピュータハードウェア	2・3後	2					コンピュータハードウェア	2			
		コンピュータネットワーク	2・3前	2					コンピュータネットワーク	2			
コンピュータグラフィックス		2・3後	2										
ウェブデザイン I		1前	2										
ウェブデザイン II		1後	2										
ウェブデザイン演習		2前	2										
ウェブプログラミング演習		2後	2										
マルチメディア演習		2前	2										
3D表現		2前後	2										

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域（グラフィックデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2	4単位以上選択必修					原典講読	2	6
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2	
		環境科学	1・2前後	2								
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2						キャリアデザイン講座	2	
		ボランティア講座	2・3通	2								
小計							16		14		10	40
共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後	2	6単位以上選択必修							12
		色彩概論	1・2前後	2		2単位必修	色彩論	2				
		色彩特論	3・4前後	2						色彩特論	2	
		造形美術論Ⅰ	1・2前後	2		2単位必修	造形論	2				
		造形美術論Ⅱ	1・2前後	2								
		造形図法	1・2前後	2								
		構図論	1・2前後	2								
		美術解剖学	1・2前後	2								
		美術表現論	2・3前後	2								
		現代美術論	3・4前後	2						現代美術論	2	
		デザイン概論	1・2前後	2		2単位必修	デザイン概論	2				
		デザイン特論	3・4前後	2								
		映像論	3・4前後	2								
	絵本論	3・4前後	2									
	漫画論	3・4前後	2									
	身体表象論	3・4前後	2									
	工芸論	3・4前後	2									
	環境デザイン論	3・4前後	2									
	パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2									
	美術教育論	3・4前後	2					美術教育論	2			
	芸術企画論	3・4前後	2									
	博物館概論	1・2前後	2									
	美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2	2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				6
西洋美術史Ⅱ		1・2後	2									
西洋美術史特論		3・4前後	2					西洋美術史特論	2			
西洋工芸史		3・4前後	2									
日本美術史Ⅰ		1前	2	※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修	日本美術史概説		2					
日本美術史Ⅱ		1・2後	2									
東洋美術史	1・2前後	2										
造形演習	絵画	3前後	2	2単位以上選択必修			絵画	2			2	
	工芸	3前後	2									
	ビジュアルデザイン	3前後	2									
小計							10		4		6	20
共通科目の計					60単位以上		26		18		16	60

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域（グラフィックデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	平面表現技法	2				10	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2											
	美術リテラシー(描画)	1・2前後	2						絵画表現	2				
	美術リテラシー(工芸)	1・2前	2											
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2						ポスターデザイン	2				
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2						写真表現	2				
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2						コンピュータ表現	2				
	美術リテラシー(Web)	1・2前後	2											
小計							10		0			10		
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	22単位必修	デザイン実習Ⅰ	4				5	
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3				展示計画実習Ⅰ	1					
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修		デザイン実習Ⅱ	4				9	
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3				ビジュアルコミュニケーションⅠ	4					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3				展示計画実習Ⅱ	1					
		ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後	4		8単位選択必修			ビジュアルコミュニケーションⅡ				8	
		ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後	4				卒業制作	8					
		ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後	4										
		グラフィックデザインⅠ(共通課題)	3前	4		24単位必修				グラフィックデザインⅠ(共通課題)	4			24
		グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	3前後	4						グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	4			
		グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	3前後	4						グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	4			
		グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	3後	4						グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	4			
		美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	4前	2								美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	2	
		美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	4前	2								美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	2	
美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	2				
美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	2				
小計							22		16		8	46		
制卒業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8		
小計											8	8		
専門科目計					64単位以上		32		16		16	64		
合計							58		34		40	180		

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (映像メディアデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由	科目名		単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後	2		4単位以上選択必修	哲学	2					8	
	文学	1・2前後	2											
	心理学	1・2前後	2				心理学	2						
	教育学概論	1・2前後	2											
	教育心理学	3・4前	2								教育心理学	2		
	教育哲学	3・4前後	2							教育哲学	2			
	社会・歴史	法学	1・2前後	2		4単位以上選択必修	法学 I	2					6	
	日本国憲法	2・3前後	2						日本国憲法	2				
	法学特論	3・4前後	2								法学特論	2		
	知的財産法A	2・3前後	2											
	知的財産法B	2・3前後	2											
	歴史学概論	1・2前後	2											
	経済学	1・2前後	2											
	体育	体育	1・2通	2			体育	2					2	
	外国語	英語 I	1通	2		2単位以上選択必修	英語 I	2					6	
	英語 II	2・3前後	2						英語 II	2				
	フランス語 I	1・2前後	2						フランス語 I	2				
	フランス語 II	2・3前後	2											
	造形	造形表現(彫刻A)	1・2前後	2		4単位以上選択必修							2	
	造形表現(彫刻B)	1・2前後	2											
	造形表現(描画A)	1・2前後	2											
	造形表現(描画B)	1・2前後	2											
	造形表現(工芸A)	1・2前後	2											
	造形表現(工芸B)	1・2前後	2											
	造形表現(デザインA)	1・2前後	2											
	造形表現(デザインB)	1・2前後	2											
メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			情報処理	2					10		
コンピュータリテラシー	1・2前後	2												
コンピュータ編集	2・3前後	2					コンピュータ編集	2						
コンピュータハードウェア	2・3後	2					コンピュータハードウェア	2						
コンピュータネットワーク	2・3前	2					コンピュータネットワーク	2						
コンピュータグラフィックス	2・3後	2												
ウェブデザイン I	1前	2												
ウェブデザイン II	1後	2												
ウェブデザイン演習	2前	2				ウェブデザイン演習	2							
ウェブプログラミング演習	2後	2												
マルチメディア演習	2前	2												
3D表現	2前後	2												

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2		
		環境科学	1・2前後	2									
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2							キャリアデザイン講座	2	
		ボランティア講座	2・3通	2									
小計							18		12		10	40	
共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修							12
		色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩論	2				
		色彩特論	3・4前後	2							色彩特論	2	
		造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修	造形論	2				
		造形美術論Ⅱ	1・2前後	2									
		造形図法	1・2前後	2									
		構図論	1・2前後	2									
		美術解剖学	1・2前後	2									
		美術表現論	2・3前後	2									
		現代美術論	3・4前後	2								現代美術論	
	デザイン概論	1・2前後	2		2単位必修	デザイン概論	2						
	デザイン特論	3・4前後	2										
	映像論	3・4前後	2										
	絵本論	3・4前後	2										
	漫画論	3・4前後	2										
	身体表象論	3・4前後	2										
	工芸論	3・4前後	2										
	環境デザイン論	3・4前後	2										
	パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
	美術教育論	3・4前後	2										
芸術企画論	3・4前後	2							芸術企画論	2			
博物館概論	1・2前後	2											
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				6	
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2										
	西洋美術史特論	3・4前後	2						西洋美術史特論	2			
	西洋工芸史	3・4前後	2										
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修		日本美術史概説	2					
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2										
	東洋美術史	1・2前後	2										
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2	
	工芸	3前後	2										
	ビジュアルデザイン	3前後	2										
小計							10		4		6	20	
共通科目の計					60単位以上		28		16		16	60	

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	映像基礎	2				10	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2										
	美術リテラシー(描画)	1・2前後		2										
	美術リテラシー(工芸)	1・2前		2						美術リテラシー(デザイン)	2			
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2						ウェブデザインⅠ	2			
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						ウェブデザインⅡ	2			
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2										
	美術リテラシー(Web)	1・2前後		2						ウェブプログラミング演習	2			
小計								8		2		10		
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	22単位必修	ビジュアルデザイン	1				5	
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3					3Dグラフィックス基礎	1				
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修		アニメーションⅡ	2				9	
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3				展示計画実習Ⅰ	1					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3				マルチメディア演習	2					
		ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4	8単位選択必修		メディアアート	2				8	
		ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4			アニメーションⅢ	2					
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4	コンピュータグラフィックス		2							
	映像メディア	映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	3前	4		8単位必修	24単位必修			映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	4		24	
		映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	3前	4					映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	4				
		映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	3後		8	8単位選択必修		映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	8					
		映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)	3後		8									
		美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)	4前	2				8単位必修				美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)		2
		美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)	4前	2								美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)		2
美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)		4前	2								美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)	2		
美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	4前	2							美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	2				
小計								22		16		8	46	
制卒業業	卒業制作	4後	8		8単位必修						卒業制作	8	8	
小計												8	8	
専門科目の計					64単位以上			30		18		16	64	
合計								58		34		32	124	

履修モデル 美術学部美術学科

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	教養基礎講座	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	哲学	2					8
		文学	1・2前後		2									
		心理学	1・2前後		2			心理学	2					
		教育学概論	1・2前後		2									
		教育心理学	3・4前		2							教育心理学	2	
		教育哲学	3・4前後		2						教育哲学	2		
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学 I	2					6
		日本国憲法	2・3前後		2					日本国憲法	2			
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2	
		知的財産法A	2・3前後		2									
		知的財産法B	2・3前後		2									
		歴史学概論	1・2前後		2									
	経済学	1・2前後		2										
	体育	体育	1・2通		2			体育	2					2
	外国語	英語 I	1通	2			2単位必修	英語 I	2					4
		英語 II	2・3前後		2		2単位以上選択必修			英語 II	2			
		フランス語 I	1・2前後		2									
		フランス語 II	2・3前後		2									
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後		2			4単位以上選択必修			造形表現 (彫刻A)	2		
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画A)	1・2前後		2		美術表現基礎 I		2					
		造形表現 (描画B)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸A)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸B)	1・2前後		2									
		造形表現 (デザインA)	1・2前後		2									
		造形表現 (デザインB)	1・2前後		2									
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2			情報処理	2					8
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2									
		コンピュータ編集	2・3前後		2				コンピュータ編集	2				
コンピュータハードウェア		2・3後		2				コンピュータハードウェア	2					
コンピュータネットワーク		2・3前		2				コンピュータネットワーク	2					
コンピュータグラフィックス		2・3後		2										
ウェブデザイン I		1前		2										
ウェブデザイン II		1後		2										
ウェブデザイン演習		2前		2										
ウェブプログラミング演習		2後		2										
マルチメディア演習		2前		2										
3D表現		2前後		2										

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							6	
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2							キャリアデザイン講座	2		
		ボランティア講座	2・3通	2						ボランティア講座	2			
小計							16		16		8	40		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修						12	
			色彩概論	1・2前後	2	2単位必修		色彩論	2					
			色彩特論	3・4前後	2							色彩特論		2
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2	2単位必修		造形論	2					
			造形美術論Ⅱ	1・2前後	2									
			造形図法	1・2前後	2									
			構図論	1・2前後	2									
			美術解剖学	1・2前後	2									
			美術表現論	2・3前後	2									
			現代美術論	3・4前後	2							現代美術論		2
			デザイン概論	1・2前後	2	2単位必修		デザイン概論	2					
			デザイン特論	3・4前後	2									
			映像論	3・4前後	2									
			絵本論	3・4前後	2									
			漫画論	3・4前後	2									
			身体表象論	3・4前後	2									
			工芸論	3・4前後	2									
			環境デザイン論	3・4前後	2									
			パフォーマンス・アーツ論	3・4前後	2									
			美術教育論	3・4前後	2									
芸術企画論	3・4前後	2							芸術企画論	2				
博物館概論	1・2前後	2												
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2	2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史概説	2				6			
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2											
	西洋美術史特論	3・4前後	2											
	西洋工芸史	3・4前後	2							西洋工芸史		2		
	日本美術史Ⅰ	1前	2	※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修		日本美術史概説	2							
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2											
	東洋美術史	1・2前後	2											
造形演習	絵画	3前後	2	2単位以上選択必修			絵画	2		2				
	工芸	3前後	2											
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							10		2		8	20		
共通科目の小計					60単位以上		26		18		16	60		

横浜美術短期大学からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	平面表現技法	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2											
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2											
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2											
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2						イラストレーション	2				
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						写真表現	2				
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2						コンピュータ表現	2				
		美術リテラシー(W e b)	1・2前後		2											
小計								10		0			10			
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2			5単位必修	2・2単位必修	デザイン実習Ⅰ	4				5		
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3						展示計画実習Ⅰ	1					
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3			9単位必修			デザイン実習Ⅱ	4				9	
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3						ビジュアルコミュニケーションⅠ	4					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3						展示計画実習Ⅱ	1					
	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4		8単位選択必修			絵本卒業制作	8					8	
	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4												
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4												
	イラストレーション領域	イラストレーション	イラストレーションⅠ(発想と描写①)	3前	4				2・4単位必修			イラストレーションⅠ(発想と描写①)	4			24
			イラストレーションⅡ(発想と描写②)	3前	4								イラストレーションⅡ(発想と描写②)	4		
イラストレーションⅢ(エディトリアル)			3後	4							イラストレーションⅢ(エディトリアル)	4				
イラストレーションⅣ(絵本)			3後	4							イラストレーションⅣ(絵本)	4				
美術研究Ⅰ(イラストレーション)			4前	2									美術研究Ⅰ(イラストレーション)	2		
美術研究Ⅱ(イラストレーション)			4前	2									美術研究Ⅱ(イラストレーション)	2		
美術研究Ⅲ(イラストレーション)			4前	2									美術研究Ⅲ(イラストレーション)	2		
美術研究Ⅳ(イラストレーション)	4前	2								美術研究Ⅳ(イラストレーション)	2					
小計								22		16		8	46			
制卒業	卒業制作	4後	8			8単位必修						卒業制作	8	8		
小計													8	8		
専門科目の小計						6・4単位以上			32		16		16	64		
合計									58		34		32	124		

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術短期大学部からの編入学 絵画領域 (絵画)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論A	2					2
	人文	哲学概論	1・2前後		2	4単位以上選択必修	哲学	2					10
		文学	1・2前後		2		日本文学	2					
		心理学	1・2前後		2		心理学	2					
		教育学概論	1・2前後		2								
		教育心理学	3・4前		2		教育心理学	2					
		教育哲学	3・4前後		2					教育哲学	2		
	社会・歴史	法学	1・2前後		2	4単位以上選択必修							6
		日本国憲法	2・3前後		2		日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後		2					法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後		2								
		知的財産法B	2・3前後		2								
		歴史学概論	1・2前後		2								
	体育	経済学	1・2前後		2		経済学	2					2
		体育	1・2通		2		体育講義 体育実技	1 1					
	外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	英語 I A	2					2
		英語 II	2・3前後		2				2単位以上選択必修				
		フランス語 I	1・2前後		2								
		フランス語 II	2・3前後		2								
	造形	造形表現 (彫刻 A)	1・2前後		2	4単位以上選択必修							2
		造形表現 (彫刻 B)	1・2前後		2								
		造形表現 (描画 A)	1・2前後		2								
		造形表現 (描画 B)	1・2前後		2								
		造形表現 (工芸 A)	1・2前後		2				造形表現 (工芸 A)	2			
		造形表現 (工芸 B)	1・2前後		2								
		造形表現 (デザイン A)	1・2前後		2								
		造形表現 (デザイン B)	1・2前後		2								
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2		コンピュータ概論	2					6
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2								
		コンピュータ編集	2・3前後		2								
		コンピュータハードウェア	2・3後		2								
		コンピュータネットワーク	2・3前		2			コンピュータネットワーク	2				
コンピュータグラフィックス		2・3後		2									
ウェブデザイン I		1前		2									
ウェブデザイン II		1後		2									
ウェブデザイン演習		2前		2									
ウェブプログラミング演習		2後		2									
マルチメディア演習		2前		2									
3D表現		2前後		2			3D表現		2				

女子美術短期大学部からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前		2	4単位以上選択必修							6	
		教養演習	3・4後		2						教養演習	2		
		環境科学	1・2前後		2									
		キャリアデザイン講座	3・4前後		2							キャリアデザイン講座		2
		ボランティア講座	2・3通		2					ボランティア講座	2			
小計							20		8		8	36		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後		2	6単位以上選択必修						14	
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2				
			色彩特論	3・4前後		2						色彩特論		2
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論Ⅰ	2		
			造形美術論Ⅱ	1・2前後		2								
			造形図法	1・2前後		2								
			構図論	1・2前後		2								
			美術解剖学	1・2前後		2				美術解剖学A	2			
			美術表現論	2・3前後		2								
			現代美術論	3・4前後		2				現代美術論	2			
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修			デザイン概論	2		
			デザイン特論	3・4前後		2								
			映像論	3・4前後		2								
			絵本論	3・4前後		2								
			漫画論	3・4前後		2								
			身体表象論	3・4前後		2								
			工芸論	3・4前後		2								
			環境デザイン論	3・4前後		2								
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後		2								
			美術教育論	3・4前後		2								
芸術企画論	3・4前後		2						芸術企画論	2				
博物館概論	1・2前後		2											
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史A	2				6		
	西洋美術史Ⅱ	1・2後		2			西洋美術史B	2						
	西洋美術史特論	3・4前後		2										
	西洋工芸史	3・4前後		2										
	日本美術史Ⅰ	1前		2	※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修				日本美術史Ⅰ	2				
	日本美術史Ⅱ	1・2後		2										
	東洋美術史	1・2前後		2										
造形演習	絵画	3前後		2	2単位以上選択必修	彫塑彩色演習	2				4			
	工芸	3前後		2				工芸	2					
	ビジュアルデザイン	3前後		2										
小計							12		8		4	24		
共通科目の計					60単位以上		32		16		12	60		

女子美術短期大学部からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	基礎造形	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2					美術リテラシー(彫刻)	2					
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2											
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2											
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2						美術リテラシー(デザイン)	2				
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						美術リテラシー(デジタル)	2				
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2											
		美術リテラシー(W e b)	1・2前後		2						美術リテラシー(W e b)	2				
小計								2		8		0	10			
専門科目	絵画領域	絵画	絵画基礎Ⅰ	1前	2		2 2単位必修	基礎造形 美術 絵画表現Ⅰ 絵画Ⅰ 絵画Ⅱ 絵画表現Ⅱ 卒業制作	基礎造形	2				46		
			絵画基礎Ⅱ	1後	6					美術	2					
			絵画基礎Ⅲ	2前	6					絵画表現Ⅰ	1					
			絵画基礎Ⅳ	2後	8					絵画Ⅰ	3					
			絵画Ⅰ	3前	8					絵画Ⅱ	4					
			絵画Ⅱ	3後	8					絵画表現Ⅱ	2					
			美術研究Ⅰ(絵画)	4前	2					卒業制作	8					
			美術研究Ⅱ(絵画)	4前	2							絵画Ⅰ	8			
			美術研究Ⅲ(絵画)	4前	2							絵画Ⅱ	8			
			美術研究Ⅳ(絵画)	4前	2										美術研究Ⅰ(絵画)	2
																美術研究Ⅱ(絵画)
小計								22		16		8	46			
制卒業	卒業制作	4後	8			8単位必修					卒業制作	8	8			
小計												8	8			
専門科目の計						6 4単位以上		24		24		16	64			
合計								56		40		28	124			

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論B	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後	2		4単位以上選択必修	哲学	2					8	
		文学	1・2前後	2			日本文学	2						
		心理学	1・2前後	2			心理学	2						
		教育学概論	1・2前後	2										
		教育心理学	3・4前	2			教育心理学	2						
		教育哲学	3・4前後	2										
	社会・歴史	法学	1・2前後	2		4単位以上選択必修							8	
		日本国憲法	2・3前後	2			日本国憲法	2						
		法学特論	3・4前後	2						法学特論	2			
		知的財産法A	2・3前後	2					知的財産法A	2				
		知的財産法B	2・3前後	2										
		歴史学概論	1・2前後	2										
	経済学	1・2前後	2			経済学	2							
	体育	体育	1・2通	2			体育講義	1					2	
	外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	2単位以上選択必修	英語 I A	2					2
		英語 II	2・3前後	2										
		フランス語 I	1・2前後	2										
		フランス語 II	2・3前後	2										
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後	2		4単位以上選択必修							2	
		造形表現（彫刻B）	1・2前後	2										
		造形表現（描画A）	1・2前後	2										
		造形表現（描画B）	1・2前後	2										
		造形表現（工芸A）	1・2前後	2										
		造形表現（工芸B）	1・2前後	2										
		造形表現（デザインA）	1・2前後	2						造形表現（デザインA）	2			
		造形表現（デザインB）	1・2前後	2										
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			コンピュータ概論	2					8	
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2										
		コンピュータ編集	2・3前後	2					コンピュータ編集	2				
		コンピュータハードウェア	2・3後	2					コンピュータハードウェア	2				
		コンピュータネットワーク	2・3前	2										
コンピュータグラフィックス		2・3後	2											
ウェブデザイン I		1前	2											
ウェブデザイン II		1後	2											
ウェブデザイン演習		2前	2											
ウェブプログラミング演習		2後	2											
マルチメディア演習		2前	2											
3D表現		2前後	2							3D表現	2			

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単 位数	
				必 修	選 択	自 由		科目名	単 位	科目名	単 位	科目名	単 位		
一般 教養	総合	原典講読	3・4前	2			4 単位以上選択必修							4	
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2											
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座	2		
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計								20		8		8	36		
共通科目	専門 教養	美術 理論	美学概論	1・2前後	2			6単位以上 選択必修						12	
			色彩概論	1・2前後	2		2 単位必修		色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2										
			造形美術論 I	1・2前後	2		2 単位必修				造形美術論 I	2			
			造形美術論 II	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2										現代美術論
		デザイン概論	1・2前後	2		2 単位必修				デザイン概論	2				
		デザイン特論	3・4前後	2					装飾デザイン概論	2					
		映像論	3・4前後	2											
		絵本論	3・4前後	2											
		漫画論	3・4前後	2											
		身体表象論	3・4前後	2											
		工芸論	3・4前後	2											
		環境デザイン論	3・4前後	2											
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2											
		美術教育論	3・4前後	2											
芸術企画論	3・4前後	2								芸術企画論	2				
博物館概論	1・2前後	2													
美術 史	西洋美術史 I	1前	2			2 単位必修	4 単位以上 選択必修	西洋美術史	4				8		
	西洋美術史 II	1・2後	2												
	西洋美術史特論	3・4前後	2												
	西洋工芸史	3・4前後	2							西洋工芸史	2				
	日本美術史 I	1前	2			※日本美術史 I、東 洋美術史のどちらか 選択必修				日本美術史 I	2				
	日本美術史 II	1・2後	2												
	東洋美術史	1・2前後	2												
造 形 演 習	絵画	3前後	2			2 単位以上選択必修				絵画教養演習	2		2		
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計								8		10		4	22		
共通科目の計						60 単位以上		28		18		12	58		

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	立体デザイン実習	2				13		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2				陶芸・メタル実習	3						
		美術リテラシー(描画)	1・2前後	2				基礎造形	2						
		美術リテラシー(工芸)	1・2前	2				陶芸・メタル基礎	4						
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2											
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2											
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2				基礎造形	2						
		美術リテラシー(Web)	1・2前後	2											
小計							13					13			
共通(工芸)		素材表現基礎	1前	2		14単位必修		材料学	2				14		
		平面表現基礎	1後	2				陶芸・メタルデザイン	4						
		立体造形基礎	1後	2											
		メタルクラフト基礎	2前	2				卒業制作	8						
		テキスタイル基礎	2前	2											
		クラフト(形体)	2前	2											
		クラフト(空間)	2前	2											
		小計													
工芸領域	クラフトデザイン	メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)	2後	2		32単位必修				メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)	2		32		
		メタルクラフトⅡ(鍛造技法の応用)	2後	2						メタルクラフトⅡ(鍛造技法の応用)	2				
		エクステリアエレメント	2後	2						エクステリアエレメント	2				
		工芸計画(クラフト)	2後	2						工芸計画(クラフト)	2				
		クラフトデザインⅠ(接合技法とメタルクラフト)	3前	2						クラフトデザインⅠ(接合技法とメタルクラフト)	2				
		インテリアエレメントA(木と金属の家具デザイン)	3前	3						インテリアエレメントA(木と金属の家具デザイン)	3				
		クラフトデザインⅡ(器のデザイン)	3前	3						クラフトデザインⅡ(器のデザイン)	3				
		クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)	3後	4						クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)	4				
		テーマ制作	3後	4						テーマ制作	4				
		美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)	4前	2								美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)		2	
		美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)	4前	2								美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)		2	
		美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)	4前	2								美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)		2	
		美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)	4前	2								美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)		2	
		小計									14	24			8
制卒業作業	卒業制作	4後	8		8単位必修				卒業制作	8		8			
小計											8	8			
専門科目の計					64単位以上		27	24		16	67				
合計							55	42		28	125				

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論B	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後		2	4単位以上選択必修	哲学	2					8	
		文学	1・2前後		2		日本文学	2						
		心理学	1・2前後		2		心理学	2						
		教育学概論	1・2前後		2									
		教育心理学	3・4前		2		教育心理学	2						
		教育哲学	3・4前後		2									
	社会・歴史	法学	1・2前後		2	4単位以上選択必修							8	
		日本国憲法	2・3前後		2		日本国憲法	2	日本国憲法	2				
		法学特論	3・4前後		2						法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後		2									
		知的財産法B	2・3前後		2									
		歴史学概論	1・2前後		2									
	体育	経済学	1・2前後		2		経済学	2					2	
		体育	1・2通		2		体育講義	1						
	外国語	英語 I	1通	2		2単位以上選択必修	英語 I A	2					2	
		英語 II	2・3前後		2									
		フランス語 I	1・2前後		2									
		フランス語 II	2・3前後		2									
	造形	造形表現 (彫刻 A)	1・2前後		2	4単位以上選択必修							2	
		造形表現 (彫刻 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画 A)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸 A)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (デザイン A)	1・2前後		2					造形表現 (デザイン A)	2			
		造形表現 (デザイン B)	1・2前後		2									
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2		コンピュータ概論	2					8	
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2									
		コンピュータ編集	2・3前後		2				コンピュータ編集	2				
		コンピュータハードウェア	2・3後		2				コンピュータハードウェア	2				
		コンピュータネットワーク	2・3前		2									
コンピュータグラフィックス		2・3後		2										
ウェブデザイン I		1前		2										
ウェブデザイン II		1後		2										
ウェブデザイン演習		2前		2										
ウェブプログラミング演習		2後		2										
マルチメディア演習		2前		2										
3D表現		2前後		2						3D表現	2			

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4	
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2						キャリアデザイン講座	2			
		ボランティア講座	2・3通	2										
小計							20		10		6	36		
共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修							12	
		色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
		色彩特論	3・4前後	2							色彩特論	2		
		造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論Ⅰ	2			
		造形美術論Ⅱ	1・2前後	2										
		造形図法	1・2前後	2										
		構図論	1・2前後	2										
		美術解剖学	1・2前後	2										
		美術表現論	2・3前後	2										
		現代美術論	3・4前後	2								現代美術論		2
		デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修			デザイン概論	2			
		デザイン特論	3・4前後	2										
		映像論	3・4前後	2										
		絵本論	3・4前後	2										
		漫画論	3・4前後	2										
		身体表象論	3・4前後	2										
		工芸論	3・4前後	2										
		環境デザイン論	3・4前後	2										
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
		美術教育論	3・4前後	2										
芸術企画論	3・4前後	2												
博物館概論	1・2前後	2												
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史	4				6		
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2											
	西洋美術史特論	3・4前後	2											
	西洋工芸史	3・4前後	2											
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修					日本美術史Ⅰ	2			
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2											
東洋美術史	1・2前後	2												
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画教養演習	2			2		
	工芸	3前後	2											
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							8		6		6	20		
共通科目の計						60単位以上	28		16		12	56		

女子美術大学短期大学部からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	立体デザイン実習	2				15	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2				染織実習	3					
	美術リテラシー(描画)	1・2前後		2				基礎造形	2					
	美術リテラシー(工芸)	1・2前		2				染織基礎	4					
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2						2				
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2				基礎造形	2					
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2										
	美術リテラシー(Web)	1・2前後		2										
小計							13		2			15		
専門科目	共通(工芸)	素材表現基礎	1前	2		14単位必修	10単位以上選択必修	材料学	2				14	
		平面表現基礎	1後	2				テキスタイルデザイン	4					
		立体造形基礎	1後	2				卒業制作	8					
		メタルクラフト基礎	2前	2										
		テキスタイル基礎	2前	2										
		クラフト(形体)	2前	2										
	クラフト(空間)	2前	2											
	テキスタイルデザイン	テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)	2後	2		32単位必修	10単位以上選択必修			テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)	2		32	
		テキスタイルⅠB(プリントデザイン)	2後	2						テキスタイルⅠB(プリントデザイン)	2			
		テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)	2後	2						テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)	2			
		工芸計画(テキスタイル)	2後	2						工芸計画(テキスタイル)	2			
		テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)	3前	2						テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)	2			
		テキスタイルⅢ(ファブリックアート)	3前	3						テキスタイルⅢ(ファブリックアート)	3			
		インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)	3前	3						インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)	3			
テキスタイル総合表現		3後	8						テキスタイル総合表現	8				
美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)	2					
美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)	2					
美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)	2					
美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)	2					
小計							14		24		8	46		
制卒業作業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8		
小計											8	8		
専門科目の計					64単位以上		27		26		16	69		
合計							55		42		28	125		

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (グラフィックデザイン)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単 位数	
			必 修	選 択	自 由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論B	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後	2			4単位以上選択必修	哲学	2					8
		文学	1・2前後	2				日本文学	2					
		心理学	1・2前後	2				心理学	2					
		教育学概論	1・2前後	2										
		教育心理学	3・4前	2				教育心理学	2					
		教育哲学	3・4前後	2										
	社会・ 歴史	法学	1・2前後	2			4単位以上選択必修							10
		日本国憲法	2・3前後	2				日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後	2				情報法令論	2					
		知的財産法A	2・3前後	2					知的財産法A	2				
		知的財産法B	2・3前後	2					知的財産法B	2				
		歴史学概論	1・2前後	2										
	体育	経済学	1・2前後	2			経済学	2						
		体育	1・2通	2				体育講義	1					2
	外国語	英語 I	1通	2			2単位必修	英語 I A	2					4
		英語 II	2・3前後	2			2単位以上 選択必修			英語 II	2			
		フランス語 I	1・2前後	2										
		フランス語 II	2・3前後	2										
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後	2			4単位以上選択必修			造形表現 (彫刻A)	2			2
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後	2										
		造形表現 (描画A)	1・2前後	2										
		造形表現 (描画B)	1・2前後	2										
		造形表現 (工芸A)	1・2前後	2										
		造形表現 (工芸B)	1・2前後	2										
		造形表現 (デザインA)	1・2前後	2										
		造形表現 (デザインB)	1・2前後	2										
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2				コンピュータ概論	2					8
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2				コンピュータ入門	2					
		コンピュータ編集	2・3前後	2										
コンピュータハードウェア		2・3後	2											
コンピュータネットワーク		2・3前	2					コンピュータネットワーク	2					
コンピュータグラフィックス		2・3後	2											
ウェブデザイン I		1前	2											
ウェブデザイン II		1後	2											
ウェブデザイン演習		2前	2											
ウェブプログラミング演習		2後	2											
マルチメディア演習		2前	2											
3D表現		2前後	2							3D表現	2			

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (グラフィックデザイン)

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
				必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前		2		4単位以上選択必修							6	
		教養演習	3・4後		2						教養演習		2		
		環境科学	1・2前後		2				環境概論	2					
		キャリアデザイン講座	3・4前後		2							キャリアデザイン講座			2
		ボランティア講座	2・3通		2										
小計								26		10		6	42		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後		2		6単位以上選択必修							10
			色彩概論	1・2前後	2		2単位必修		色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後		2									
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2		2単位必修				造形美術論Ⅰ		2		
			造形美術論Ⅱ	1・2前後		2									
			造形図法	1・2前後		2									
			構図論	1・2前後		2									
			美術解剖学	1・2前後		2									
			美術表現論	2・3前後		2									
			現代美術論	3・4前後		2							現代美術論		
		デザイン概論	1・2前後	2		2単位必修					デザイン概論		2		
		デザイン特論	3・4前後		2				プロダクトデザイン論	2					
		映像論	3・4前後		2										
		絵本論	3・4前後		2										
		漫画論	3・4前後		2										
		身体表象論	3・4前後		2										
		工芸論	3・4前後		2										
		環境デザイン論	3・4前後		2										
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後		2										
		美術教育論	3・4前後		2										
芸術企画論	3・4前後		2												
博物館概論	1・2前後		2												
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史	4					6		
	西洋美術史Ⅱ	1・2後		2											
	西洋美術史特論	3・4前後		2											
	西洋工芸史	3・4前後		2											
	日本美術史Ⅰ	1前		2	※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修				日本美術史Ⅰ		2				
	日本美術史Ⅱ	1・2後		2											
東洋美術史	1・2前後		2												
造形演習	絵画	3前後		2	2単位以上選択必修				絵画		2		2		
	工芸	3前後		2											
	ビジュアルデザイン	3前後		2											
小計								8		6		4	18		
共通科目の計						60単位以上		34		16		10	60		

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（グラフィックデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	基礎造形	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2										
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2										
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2										
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2						美術リテラシー(デザイン)	2			
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						コンピュータ実習	2			
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2						コンピュータ演習	2			
		美術リテラシー(We b)	1・2前後		2						美術リテラシー(We b)	2			
小計								6		4		0	10		
共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	22単位必修	基礎造形	2				5		
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3						ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	3				
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修			映像実習	2				9	
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3					ディスプレイデザイン基礎	1					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3					編集デザイン基礎	1					
		ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4			8単位選択必修		パッケージデザイン	1				
		ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4				グラフィックデザイン	1					
		ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4				メディアデザイン	3					
							卒業制作	8				8			
グラフィックデザイン	グラフィックデザイン	グラフィックデザインⅠ(共通課題)	3前	4		24単位必修			グラフィックデザインⅠ(共通課題)	4			24		
		グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	3前後	4					グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	4					
		グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	3前後	4					グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	4					
		グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	3後	4					グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	4					
		美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	2			
		美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	2			
		美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	2			
		美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	4前	2							美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	2			
小計								19		19		8	46		
制卒業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作		8	8		
小計												8	8		
専門科目の計					64単位以上			25		23		16	64		
合計								59		39		26	124		

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (映像メディアデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論B	2					2	
	人文	哲学概論	1・2前後		2	4単位以上選択必修	哲学	2					8	
	文学	1・2前後		2			日本文学	2						
	心理学	1・2前後		2			心理学	2						
	教育学概論	1・2前後		2										
	教育心理学	3・4前		2			教育心理学	2						
	教育哲学	3・4前後		2										
	社会・歴史	法学	1・2前後		2	4単位以上選択必修								12
		日本国憲法	2・3前後		2		日本国憲法	2						
		法学特論	3・4前後		2		情報法令論	2			法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後		2				知的財産法A	2				
		知的財産法B	2・3前後		2				知的財産法B	2				
		歴史学概論	1・2前後		2									
	経済学	1・2前後		2		経済学	2							
	体育	体育	1・2通		2		体育講義	1					2	
		体育					体育実技	1						
	外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	2単位以上選択必修	英語 I A	2					2
		英語 II	2・3前後		2									
		フランス語 I	1・2前後		2									
		フランス語 II	2・3前後		2									
	造形	造形表現 (彫刻 A)	1・2前後		2	4単位以上選択必修				造形表現 (彫刻 A)	2			2
		造形表現 (彫刻 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画 A)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸 A)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸 B)	1・2前後		2									
		造形表現 (デザイン A)	1・2前後		2									
造形表現 (デザイン B)		1・2前後		2										
メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2			コンピュータ概論	2					8	
	コンピュータリテラシー	1・2前後		2			コンピュータ入門	2						
	コンピュータ編集	2・3前後		2										
	コンピュータハードウェア	2・3後		2										
	コンピュータネットワーク	2・3前		2				コンピュータネットワーク	2					
	コンピュータグラフィックス	2・3後		2										
	ウェブデザイン I	1前		2										
	ウェブデザイン II	1後		2										
	ウェブデザイン演習	2前		2										
	ウェブプログラミング演習	2後		2										
	マルチメディア演習	2前		2										
	3D表現	2前後		2						3D表現	2			

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							6		
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2				
		環境科学	1・2前後	2				環境概論	2						
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2							キャリアデザイン講座	2			
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		8		8	42			
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修						10		
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2										
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論Ⅰ	2			
			造形美術論Ⅱ	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2									現代美術論	2
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修			デザイン概論	2			
			デザイン特論	3・4前後	2					プロダクトデザイン論	2				
			映像論	3・4前後	2										
			絵本論	3・4前後	2										
			漫画論	3・4前後	2										
			身体表象論	3・4前後	2										
			工芸論	3・4前後	2										
			環境デザイン論	3・4前後	2										
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
			美術教育論	3・4前後	2										
			芸術企画論	3・4前後	2										
博物館概論	1・2前後	2													
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史	4				6			
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2												
	西洋美術史特論	3・4前後	2												
	西洋工芸史	3・4前後	2												
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修				日本美術史Ⅰ	2					
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2												
	東洋美術史	1・2前後	2												
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							8		8		2	18			
共通科目の計					60単位以上		34		16		10	60			

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	基礎造形	2				10	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2									
	美術リテラシー(描画)	1・2前後		2									
	美術リテラシー(工芸)	1・2前		2									
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2					美術リテラシー(デザイン)	2			
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2				コンピュータ実習	2				
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2				コンピュータ演習	2				
	美術リテラシー(Web)	1・2前後		2					美術リテラシー(Web)	2			
小計							6		4		0	10	
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	基礎造形	2				5	
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3					ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	3			
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修	映像実習	2				9	
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3			ディスプレイデザイン基礎	1					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3			編集デザイン基礎	1					
					パッケージデザイン		1						
	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4	8単位選択必修	グラフィックデザイン	1				8		
	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4			メディアデザイン	3					
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4			卒業制作	8					
	映像メディア	映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	3前	4		8単位必修			映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	4		24	
映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)		3前	4					映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	4				
映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)		3後		8	8単位選択必修			映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	8				
映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)		3後		8									
美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)		4前	2			8単位必修				美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)	2		
美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)		4前	2							美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)	2		
美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)		4前	2						美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)	2			
美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)		4前	2						美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	2			
小計							19		19		8	46	
制卒業	卒業制作	4後	8		8単位必修				卒業制作		8	8	
小計											8	8	
専門科目の計					64単位以上		25		23		16	64	
合計							59		39		26	124	

履修モデル 美術学部美術学科

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	造形概論B	2					2
	人文	哲学概論	1・2前後	2		4単位以上選択必修	哲学	2					10
		文学	1・2前後	2			日本文学	2					
		心理学	1・2前後	2			心理学	2					
		教育学概論	1・2前後	2									
		教育心理学	3・4前	2			教育心理学	2					
		教育哲学	3・4前後	2							教育哲学	2	
	社会・歴史	法学	1・2前後	2		4単位以上選択必修							6
		日本国憲法	2・3前後	2			日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後	2			情報法令論	2					
		知的財産法A	2・3前後	2									
		知的財産法B	2・3前後	2									
		歴史学概論	1・2前後	2									
	体育	経済学	1・2前後	2			経済学	2					2
		体育	1・2通	2			体育講義	1					
	外国語	英語 I	1通	2		2単位必修	2単位以上選択必修	英語 I A	2				2
		英語 II	2・3前後	2									
		フランス語 I	1・2前後	2									
		フランス語 II	2・3前後	2									
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後	2		4単位以上選択必修				造形表現 (彫刻A)	2		2
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後	2									
		造形表現 (描画A)	1・2前後	2									
		造形表現 (描画B)	1・2前後	2									
		造形表現 (工芸A)	1・2前後	2									
		造形表現 (工芸B)	1・2前後	2									
		造形表現 (デザインA)	1・2前後	2									
		造形表現 (デザインB)	1・2前後	2									
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			コンピュータ概論	2					8
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2			コンピュータ入門	2					
		コンピュータ編集	2・3前後	2									
		コンピュータハードウェア	2・3後	2									
		コンピュータネットワーク	2・3前	2					コンピュータネットワーク	2			
コンピュータグラフィックス		2・3後	2										
ウェブデザイン I		1前	2										
ウェブデザイン II		1後	2										
ウェブデザイン演習		2前	2										
ウェブプログラミング演習		2後	2										
マルチメディア演習		2前	2										
3D表現	2前後	2						3D表現	2				

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							6		
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2				
		環境科学	1・2前後	2						環境概論	2				
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座		2	
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		6		6	38			
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修						14		
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2							色彩特論		2	
			造形美術論Ⅰ	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論Ⅰ	2			
			造形美術論Ⅱ	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2									現代美術論	2
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修			デザイン概論	2			
			デザイン特論	3・4前後	2						プロダクトデザイン論	2			
			映像論	3・4前後	2										
			絵本論	3・4前後	2										
			漫画論	3・4前後	2										
			身体表象論	3・4前後	2										
			工芸論	3・4前後	2										
			環境デザイン論	3・4前後	2										
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
			美術教育論	3・4前後	2										
芸術企画論	3・4前後	2							芸術企画論	2					
博物館概論	1・2前後	2													
美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	西洋美術史	4				6			
	西洋美術史Ⅱ	1・2後	2												
	西洋美術史特論	3・4前後	2												
	西洋工芸史	3・4前後	2												
	日本美術史Ⅰ	1前	2		※日本美術史Ⅰ、東洋美術史のどちらか選択必修				日本美術史Ⅰ	2					
	日本美術史Ⅱ	1・2後	2												
東洋美術史	1・2前後	2													
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							8		8		6	22			
共通科目の計					60単位以上		34		14		12	60			

女子美術短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	基礎造形	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2										
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2										
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2										
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2					美術リテラシー(デザイン)	2				
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2										
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2					コンピュータ実習	2				
		美術リテラシー(W e b)	1・2前後		2					コンピュータ演習	2				
小計								6		4		10			
専攻科目	ビジュアルデザイン領域	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	22単位必修	基礎造形	2			5		
			ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3					ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	3				
			ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修			映像実習	2				9
			ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3					ディスプレイデザイン基礎	1				
			ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3					編集デザイン基礎	1				
		ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4	8単位選択必修			パッケージデザイン	1					
		ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4				グラフィックデザイン	1			8		
		ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4				メディアデザイン	3					
		卒業制作							卒業制作	8					
		イラストレーション	イラストレーションⅠ(発想と描写①)	3前	4		24単位必修				イラストレーションⅠ(発想と描写①)	4			24
イラストレーションⅡ(発想と描写②)	3前		4					イラストレーションⅡ(発想と描写②)	4						
イラストレーションⅢ(エディトリアル)	3後		4					イラストレーションⅢ(エディトリアル)	4						
イラストレーションⅣ(絵本)	3後		4					イラストレーションⅣ(絵本)	4						
美術研究Ⅰ(イラストレーション)	4前		2							美術研究Ⅰ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅱ(イラストレーション)	4前		2							美術研究Ⅱ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅲ(イラストレーション)	4前		2							美術研究Ⅲ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅳ(イラストレーション)	4前		2							美術研究Ⅳ(イラストレーション)	2				
小計								19		19	8	46			
卒業制作	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8			
小計											8	8			
専攻科目の小計					64単位以上			25		23	16	64			
合計								59		37	28	124			

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導Ⅰ	1					2	
	研究指導Ⅱ						研究指導Ⅱ	1						
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	哲学	2					8
		文学	1・2前後		2			文学	2					
		心理学	1・2前後		2									
		教育学概論	1・2前後		2									
		教育心理学	3・4前		2							教育心理学	2	
	教育哲学	3・4前後		2						教育哲学	2			
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学	2					10
		日本国憲法	2・3前後		2			日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2	
		知的財産法A	2・3前後		2			メディアと著作権	2					
		知的財産法B	2・3前後		2									
		歴史学概論	1・2前後		2									
	体育	経済学	1・2前後		2			経済学	2					2
		体育	1・2通		2			体育講義	1					
	外国語	英語Ⅰ	1通	2			2単位以上選択必修	英語Ⅰ	2					2
		英語Ⅱ	2・3前後		2									
		フランス語Ⅰ	1・2前後		2									
		フランス語Ⅱ	2・3前後		2									
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後		2		4単位以上選択必修							6
		造形表現（彫刻B）	1・2前後		2									
		造形表現（描画A）	1・2前後		2									
		造形表現（描画B）	1・2前後		2									
		造形表現（工芸A）	1・2前後		2									
		造形表現（工芸B）	1・2前後		2				基礎実習Ⅵ（工芸）	2				
		造形表現（デザインA）	1・2前後		2				デッサンⅡ	2				
造形表現（デザインB）		1・2前後		2				表現研究Ⅳ（イラストレーション）	2					
メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2									8	
	コンピュータリテラシー	1・2前後		2										
	コンピュータ編集	2・3前後		2										
	コンピュータハードウェア	2・3後		2					コンピュータハードウェア	2				
	コンピュータネットワーク	2・3前		2					コンピュータネットワーク	2				
	コンピュータグラフィックス	2・3後		2										
	ウェブデザインⅠ	1前		2										
	ウェブデザインⅡ	1後		2										
	ウェブデザイン演習	2前		2					CG制作演習	2				
	ウェブプログラミング演習	2後		2										
	マルチメディア演習	2前		2										
3D表現	2前後		2					3D表現	2					

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4	
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2							キャリアデザイン講座	2		
		ボランティア講座	2・3通	2										
小計							26		6		10	42		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2				12	
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2				
			色彩特論	3・4前後	2							色彩特論		2
			造形美術論 I	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論 I	2		
			造形美術論 II	1・2前後	2									
			造形図法	1・2前後	2									
			構図論	1・2前後	2									
			美術解剖学	1・2前後	2									
			美術表現論	2・3前後	2									
			現代美術論	3・4前後	2									
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン史 I	2			
			デザイン特論	3・4前後	2									
			映像論	3・4前後	2									
			絵本論	3・4前後	2									
			漫画論	3・4前後	2									
			身体表象論	3・4前後	2									
			工芸論	3・4前後	2					工芸論	2			
			環境デザイン論	3・4前後	2									
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2									
			美術教育論	3・4前後	2									
			芸術企画論	3・4前後	2									
			博物館概論	1・2前後	2									
			美術史	西洋美術史 I	1前	2			2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2		
西洋美術史 II	1・2後	2												
西洋美術史特論	3・4前後	2												
西洋工芸史	3・4前後	2												
日本美術史 I	1前	2			※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修									
日本美術史 II	1・2後	2												
東洋美術史	1・2前後	2				美術史 II	2							
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修					2				
	工芸	3前後	2				工芸	2						
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							12		4		2	18		
共通科目の計					60単位以上		38		10		12	60		

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 絵画領域（絵画）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数			
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位				
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	基礎実習Ⅱ(スペースデザイン)	2				10			
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2												
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2					デッサンⅠ	2						
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2												
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2												
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2							美術リテラシー(デジタル)	2				
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2							コンピュータ基礎	2				
		美術リテラシー(Web)	1・2前後		2							美術リテラシー(Web)	2				
小計								6		4			10				
専門科目	絵画領域	絵画	絵画基礎Ⅰ	1前	2		46単位必修	10単位以上選択必修						46			
			絵画基礎Ⅱ	1後	6					専攻実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	2						
			絵画基礎Ⅲ	2前	6					専攻実習Ⅱ(ビジュアルデザイン)	2						
										専攻実習Ⅲ(ビジュアルデザイン)	2						
										専攻実習Ⅳ(ビジュアルデザイン)	2						
										卒業制作	4						
			絵画基礎Ⅳ	2後	8					基礎実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	2				版画Ⅰ	2	
															版画Ⅱ	2	
															技法研究	2	
															絵画表現Ⅱ	2	
			絵画Ⅰ	3前	8										絵画Ⅰ	8	
			絵画Ⅱ	3後	8										絵画Ⅱ	8	
			美術研究Ⅰ(絵画)	4前	2											美術研究Ⅰ(絵画)	2
			美術研究Ⅱ(絵画)	4前	2											美術研究Ⅱ(絵画)	2
美術研究Ⅲ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅲ(絵画)	2						
美術研究Ⅳ(絵画)	4前	2								美術研究Ⅳ(絵画)	2						
小計								14		24		8	46				
制卒業作業	卒業制作	4後	8			8単位必修					卒業制作	8	8				
小計												8	8				
専門科目の計						64単位以上		20		28		16	64				
合計								58		38		28	124				

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導Ⅰ	1					2	
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	研究指導Ⅱ	1					8
		文学	1・2前後		2			哲学	2					
		心理学	1・2前後		2			文学	2					
		教育学概論	1・2前後		2									
		教育心理学	3・4前		2							教育心理学	2	
		教育哲学	3・4前後		2					教育哲学	2			
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学	2					10
		日本国憲法	2・3前後		2			日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2	
		知的財産法A	2・3前後		2			メディアと著作権	2					
		知的財産法B	2・3前後		2									
		歴史学概論	1・2前後		2									
	体育	経済学	1・2前後		2			経済学	2					2
		体育	1・2通		2			体育講義	1					
	外国語	英語Ⅰ	1通	2			2単位以上選択必修	英語Ⅰ	2					2
		英語Ⅱ	2・3前後		2									
		フランス語Ⅰ	1・2前後		2									
		フランス語Ⅱ	2・3前後		2									
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後		2		4単位以上選択必修							6
		造形表現（彫刻B）	1・2前後		2									
		造形表現（描画A）	1・2前後		2									
		造形表現（描画B）	1・2前後		2									
		造形表現（工芸A）	1・2前後		2									
		造形表現（工芸B）	1・2前後		2				基礎実習Ⅵ（工芸）	2				
		造形表現（デザインA）	1・2前後		2				デッサンⅡ	2				
		造形表現（デザインB）	1・2前後		2				表現研究Ⅳ（イラストレーション）	2				
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2									6
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2									
		コンピュータ編集	2・3前後		2									
コンピュータハードウェア		2・3後		2					コンピュータハードウェア	2				
コンピュータネットワーク		2・3前		2					コンピュータネットワーク	2				
コンピュータグラフィックス		2・3後		2										
ウェブデザインⅠ		1前		2					CG制作演習	2				
ウェブデザインⅡ		1後		2										
ウェブデザイン演習		2前		2										
ウェブプログラミング演習		2後		2										
マルチメディア演習		2前		2										
3D表現		2前後		2										

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4		
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2											
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座		2	
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		6		8	40			
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2				14		
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2									色彩特論	2
			造形美術論 I	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論 I	2			
			造形美術論 II	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2										
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン史 I	2				
			デザイン特論	3・4前後	2									デザイン特論	2
			映像論	3・4前後	2										
			絵本論	3・4前後	2										
			漫画論	3・4前後	2										
			身体表象論	3・4前後	2										
			工芸論	3・4前後	2					工芸論	2				
			環境デザイン論	3・4前後	2										
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
			美術教育論	3・4前後	2										
芸術企画論	3・4前後	2													
博物館概論	1・2前後	2													
美術史	西洋美術史 I	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2				4			
	西洋美術史 II	1・2後	2												
	西洋美術史特論	3・4前後	2												
	西洋工芸史	3・4前後	2												
	日本美術史 I	1前	2		※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修										
	日本美術史 II	1・2後	2												
	東洋美術史	1・2前後	2					美術史 II	2						
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							12		4		4	20			
共通科目の小計							38		10		12	60			

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（クラフトデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
基礎 表技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上 選択必修	基礎実習Ⅱ（スペースデザイン）	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2										
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2				デッサンⅠ	2					
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2										
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2										
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						美術リテラシー(デジタル)	2			
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2					コンピュータ基礎	2				
		美術リテラシー(Web)	1・2前後		2						美術リテラシー(Web)	2			
小計							6		4			10			
専門科目	共通 (工芸)	素材表現基礎	1前	2		14単位必修	10単位以上 選択必修	専攻実習Ⅰ（立体造形）	2				14		
		平面表現基礎	1後	2				専攻実習Ⅱ（立体造形）	2						
		立体造形基礎	1後	2				専攻実習Ⅲ（立体造形）	2						
		メタルクラフト基礎	2前	2				専攻実習Ⅳ（立体造形）	2						
		テキスタイル基礎	2前	2				卒業制作	4						
		クラフト（形体）	2前	2				基礎実習Ⅱ（スペースデザイン）	2						
		クラフト（空間）	2前	2											
	工芸 領域	クラフト デザイン	メタルクラフトⅠ (彫金技法によるデザイン)	2後	2		32単位必修	10単位以上 選択必修			メタルクラフトⅠ (彫金技法によるデザイン)	2		32	
			メタルクラフトⅡ (鍛造技法の応用)	2後	2						メタルクラフトⅡ (鍛造技法の応用)	2			
			エクステリアエレメント	2後	2						エクステリアエレメント	2			
			工芸計画（クラフト）	2後	2						工芸計画（クラフト）	2			
			クラフトデザインⅠ (接合技法とメタルクラフト)	3前	2						クラフトデザインⅠ (接合技法とメタルクラフト)	2			
			インテリアエレメントA (木と金属の家具デザイン)	3前	3						インテリアエレメントA (木と金属の家具デザイン)	3			
			クラフトデザインⅡ (器のデザイン)	3前	3						クラフトデザインⅡ (器のデザイン)	3			
クラフトデザインⅢ (機能と道具のデザイン)	3後	4				クラフトデザインⅢ (機能と道具のデザイン)	4								
テーマ制作	3後	4				テーマ制作	4								
	美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)	4前	2						美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)	2					
	美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)	4前	2						美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)	2					
	美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)	4前	2						美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)	2					
	美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)	4前	2						美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)	2					
小計							14		24		8	46			
制卒業 作業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8			
小計											8	8			
専門科目の計					64単位以上		20		28		16	64			
合計							58		38		28	124			

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導 I	1					2	
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	研究指導 II	1					8
		文学	1・2前後		2			哲学	2					
		心理学	1・2前後		2			文学	2					
		教育学概論	1・2前後		2									
		教育心理学	3・4前		2							教育心理学	2	
	教育哲学	3・4前後		2					教育哲学	2				
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学	2					10
		日本国憲法	2・3前後		2			日本国憲法	2					
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2	
		知的財産法A	2・3前後		2									
		知的財産法B	2・3前後		2									
		歴史学概論	1・2前後		2									
	体育	経済学	1・2前後		2			経済学	2					
		体育	1・2通		2			体育講義	1				2	
	外国語	英語 I	1通	2			2単位必修	2単位以上選択必修	英語 I	2				2
		英語 II	2・3前後		2									
		フランス語 I	1・2前後		2									
		フランス語 II	2・3前後		2									
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後		2		4単位以上選択必修							6
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画A)	1・2前後		2									
		造形表現 (描画B)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸A)	1・2前後		2									
		造形表現 (工芸B)	1・2前後		2							基礎実習VI (工芸)	2	
		造形表現 (デザインA)	1・2前後		2							デッサンII	2	
		造形表現 (デザインB)	1・2前後		2							表現研究IV (イラストレーション)	2	
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2									6
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2									
		コンピュータ編集	2・3前後		2									
コンピュータハードウェア		2・3後		2						コンピュータハードウェア	2			
コンピュータネットワーク		2・3前		2						コンピュータネットワーク	2			
コンピュータグラフィックス		2・3後		2										
ウェブデザイン I		1前		2						CG制作演習	2			
ウェブデザイン II		1後		2										
ウェブデザイン演習		2前		2										
ウェブプログラミング演習		2後		2										
マルチメディア演習		2前		2										
3D表現		2前後		2										

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域（テキスタイルデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4		
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2											
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座		2	
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		6		8	40			
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2				14		
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2									色彩特論	2
			造形美術論 I	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論 I	2			
			造形美術論 II	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2										
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン史 I	2				
			デザイン特論	3・4前後	2									デザイン特論	2
			映像論	3・4前後	2										
			絵本論	3・4前後	2										
			漫画論	3・4前後	2										
		身体表象論	3・4前後	2											
		工芸論	3・4前後	2				工芸論	2						
		環境デザイン論	3・4前後	2											
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2											
		美術教育論	3・4前後	2											
		芸術企画論	3・4前後	2											
		博物館概論	1・2前後	2											
		美術史	西洋美術史 I	1前	2		2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2				4	
			西洋美術史 II	1・2後	2										
			西洋美術史特論	3・4前後	2										
			西洋工芸史	3・4前後	2										
			日本美術史 I	1前	2		※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修								
日本美術史 II	1・2後		2												
東洋美術史	1・2前後	2				美術史 II	2								
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							12		4		4	20			
共通科目の計					60単位以上		38		10		12	60			

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 工芸領域 (テキスタイルデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2		2単位必修	10単位以上選択必修	基礎実習Ⅱ(スペースデザイン)	2				10	
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2										
		美術リテラシー(描画)	1・2前後	2										
		美術リテラシー(工芸)	1・2前	2										
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2										
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2						美術リテラシー(デジタル)	2			
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2										
		美術リテラシー(Web)	1・2前後	2						美術リテラシー(Web)	2			
小計							6		4			10		
専門科目	共通(工芸)	素材表現基礎	1前	2		14単位必修	10単位以上選択必修	専攻実習Ⅰ(立体造形)	2				14	
		平面表現基礎	1後	2				専攻実習Ⅱ(立体造形)	2					
		立体造形基礎	1後	2				専攻実習Ⅲ(立体造形)	2					
		メタルクラフト基礎	2前	2				専攻実習Ⅳ(立体造形)	2					
		テキスタイル基礎	2前	2				卒業制作	4					
		クラフト(形体)	2前	2				基礎実習Ⅱ(スペースデザイン)	2					
		クラフト(空間)	2前	2										
	テキスタイルデザイン	テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)	2後	2		32単位必修	10単位以上選択必修			テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)	2			32
		テキスタイルⅠB(プリントデザイン)	2後	2						テキスタイルⅠB(プリントデザイン)	2			
		テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)	2後	2						テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)	2			
		工芸計画(テキスタイル)	2後	2						工芸計画(テキスタイル)	2			
		テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)	3前	2						テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)	2			
		テキスタイルⅢ(ファブリックアート)	3前	3						テキスタイルⅢ(ファブリックアート)	3			
		インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)	3前	3						インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)	3			
テキスタイル総合表現	3後	8				テキスタイル総合表現	8							
	美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)	2				
	美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)	2				
	美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)	2				
	美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)	4前	2						美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)	2				
小計							14		24		8	46		
制卒業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8	8		
小計											8	8		
専門科目の計					64単位以上		20		28		16	64		
合計							58		38		28	124		

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（グラフィックデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導Ⅰ	1					2		
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	研究指導Ⅱ	1					8	
		文学	1・2前後		2			哲学	2						
		心理学	1・2前後		2			文学	2						
		教育学概論	1・2前後		2										
		教育心理学	3・4前		2						教育心理学	2			
	教育哲学	3・4前後		2							教育哲学	2			
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学	2					10	
		日本国憲法	2・3前後		2			日本国憲法	2						
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後		2			メディアと著作権	2						
		知的財産法B	2・3前後		2										
		歴史学概論	1・2前後		2										
	体育	経済学	1・2前後		2			経済学	2					2	
		体育	1・2通		2			体育講義	1						
	外国語	英語Ⅰ	1通	2			2単位以上選択必修	英語Ⅰ	2					2	
		英語Ⅱ	2・3前後		2										
		フランス語Ⅰ	1・2前後		2										
		フランス語Ⅱ	2・3前後		2										
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後		2		4単位以上選択必修							6	
		造形表現（彫刻B）	1・2前後		2										
		造形表現（描画A）	1・2前後		2										
		造形表現（描画B）	1・2前後		2										
		造形表現（工芸A）	1・2前後		2										
		造形表現（工芸B）	1・2前後		2				基礎実習Ⅵ（工芸）	2					
		造形表現（デザインA）	1・2前後		2				デッサンⅡ	2					
		造形表現（デザインB）	1・2前後		2				表現研究Ⅳ（イラストレーション）	2					
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2									6	
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2										
		コンピュータ編集	2・3前後		2										
コンピュータハードウェア		2・3後		2					コンピュータハードウェア	2					
コンピュータネットワーク		2・3前		2					コンピュータネットワーク	2					
コンピュータグラフィックス		2・3後		2											
ウェブデザインⅠ		1前		2											
ウェブデザインⅡ		1後		2											
ウェブデザイン演習		2前		2					CG制作演習	2					
ウェブプログラミング演習		2後		2											
マルチメディア演習		2前		2											
3D表現	2前後		2												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4		
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2											
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座		2	
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		6		8	40			
共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2					14		
		色彩概論	1・2前後	2	2単位必修		色彩学	2							
		色彩特論	3・4前後	2							色彩特論	2			
		造形美術論 I	1・2前後	2	2単位必修					造形美術論 I	2				
		造形美術論 II	1・2前後	2											
		造形図法	1・2前後	2											
		構図論	1・2前後	2											
		美術解剖学	1・2前後	2											
		美術表現論	2・3前後	2											
		現代美術論	3・4前後	2											
	デザイン概論	1・2前後	2	2単位必修		デザイン史 I	2								
	デザイン特論	3・4前後	2							デザイン特論	2				
	映像論	3・4前後	2												
	絵本論	3・4前後	2												
	漫画論	3・4前後	2												
	身体表象論	3・4前後	2												
	工芸論	3・4前後	2			工芸論	2								
	環境デザイン論	3・4前後	2												
	パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2												
	美術教育論	3・4前後	2												
芸術企画論	3・4前後	2													
博物館概論	1・2前後	2													
美術史	西洋美術史 I	1前	2	2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2					4			
	西洋美術史 II	1・2後	2												
	西洋美術史特論	3・4前後	2												
	西洋工芸史	3・4前後	2												
	日本美術史 I	1前	2	※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修											
	日本美術史 II	1・2後	2												
東洋美術史	1・2前後	2			美術史 II	2									
造形演習	絵画	3前後	2	2単位以上選択必修				絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							12		4		4	20			
共通科目の小計					60単位以上		38		10		12	60			

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（グラフィックデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由	科目名		単位	科目名	単位	科目名	単位				
基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	基礎実習Ⅱ(スペースデザイン)	2				10		
		美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2											
		美術リテラシー(描画)	1・2前後		2						デッサンⅠ	2				
		美術リテラシー(工芸)	1・2前		2											
		美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2											
		美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2							美術リテラシー(デジタル)	2			
		美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2						コンピュータ基礎	2				
		美術リテラシー(Web)	1・2前後		2							美術リテラシー(Web)	2			
小計								6		4			10			
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2			5単位必修	22単位必修	専攻実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	2				5		
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3												
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3			9単位必修			専攻実習Ⅱ(ビジュアルデザイン)	2					
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3						専攻実習Ⅲ(ビジュアルデザイン)	2					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3						専攻実習Ⅳ(ビジュアルデザイン)	2					
		卒業制作			4					卒業制作	4					
		基礎実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)			2						2					
		基礎実習Ⅱ(ビジュアルデザイン)			2						2					
	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4		8単位選択必修				ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	4					
	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4												
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4							ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	4				
	グラフィックデザイン	グラフィックデザインⅠ(共通課題)	3前	4			24単位必修				グラフィックデザインⅠ(共通課題)	4			24	
		グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	3前後	4								グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	4			
		グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	3前後	4								グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	4			
グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)		3後	4								グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	4				
美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)		4前	2									美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	2			
美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)		4前	2									美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	2			
美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)		4前	2									美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	2			
美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	4前	2								美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	2					
小計								14		24		8	46			
制卒業作業	卒業制作	4後	8			8単位必修					卒業制作	8	8			
小計												8	8			
専門科目の小計						64単位以上		20		28		16	64			
合計								58		38		28	124			

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学

ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導Ⅰ	1					2		
	人文	哲学概論	1・2前後		2		4単位以上選択必修	研究指導Ⅱ	1					8	
		文学	1・2前後		2			哲学	2						
		心理学	1・2前後		2			文学	2						
		教育学概論	1・2前後		2										
		教育心理学	3・4前		2								教育心理学		2
	教育哲学	3・4前後		2					教育哲学	2					
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		4単位以上選択必修	法学	2					10	
		日本国憲法	2・3前後		2			日本国憲法	2						
		法学特論	3・4前後		2							法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後		2				メディアと著作権	2					
		知的財産法B	2・3前後		2										
		歴史学概論	1・2前後		2										
	体育	経済学	1・2前後		2			経済学	2					2	
		体育	1・2通		2			体育講義	1						
	外国語	英語Ⅰ	1通	2			2単位必修	英語Ⅰ	2					2	
		英語Ⅱ	2・3前後		2			2単位以上選択必修							
		フランス語Ⅰ	1・2前後		2										
		フランス語Ⅱ	2・3前後		2										
	造形	造形表現（彫刻A）	1・2前後		2		4単位以上選択必修							6	
		造形表現（彫刻B）	1・2前後		2										
		造形表現（描画A）	1・2前後		2										
		造形表現（描画B）	1・2前後		2										
		造形表現（工芸A）	1・2前後		2										
		造形表現（工芸B）	1・2前後		2				基礎実習Ⅵ（工芸）	2					
		造形表現（デザインA）	1・2前後		2				デッサンⅡ	2					
		造形表現（デザインB）	1・2前後		2				表現研究Ⅳ（イラストレーション）	2					
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2									6	
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2										
		コンピュータ編集	2・3前後		2										
コンピュータハードウェア		2・3後		2					コンピュータハードウェア	2					
コンピュータネットワーク		2・3前		2					コンピュータネットワーク	2					
コンピュータグラフィックス		2・3後		2											
ウェブデザインⅠ		1前		2											
ウェブデザインⅡ		1後		2											
ウェブデザイン演習		2前		2											
ウェブプログラミング演習		2後		2											
マルチメディア演習		2前		2											
3D表現		2前後		2											

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域（映像メディアデザイン）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4	
		教養演習	3・4後	2						教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2										
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2							キャリアデザイン講座	2		
		ボランティア講座	2・3通	2										
小計							26		6		8	40		
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2				14	
			色彩概論	1・2前後	2	2単位必修		色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2						色彩特論	2		
			造形美術論 I	1・2前後	2	2単位必修				造形美術論 I	2			
			造形美術論 II	1・2前後	2									
			造形図法	1・2前後	2									
			構図論	1・2前後	2									
			美術解剖学	1・2前後	2									
			美術表現論	2・3前後	2									
			現代美術論	3・4前後	2									
			デザイン概論	1・2前後	2	2単位必修			デザイン史 I	2				
			デザイン特論	3・4前後	2							デザイン特論		2
			映像論	3・4前後	2									
			絵本論	3・4前後	2									
			漫画論	3・4前後	2									
		身体表象論	3・4前後	2										
		工芸論	3・4前後	2			工芸論	2						
		環境デザイン論	3・4前後	2										
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
		美術教育論	3・4前後	2										
		芸術企画論	3・4前後	2										
		博物館概論	1・2前後	2										
		美術史	西洋美術史 I	1前	2	2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2				4	
			西洋美術史 II	1・2後	2									
			西洋美術史特論	3・4前後	2									
			西洋工芸史	3・4前後	2									
			日本美術史 I	1前	2	※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修								
日本美術史 II	1・2後		2											
東洋美術史	1・2前後	2			美術史 II	2								
造形演習	絵画	3前後	2	2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2											
	ビジュアルデザイン	3前後	2											
小計							12		4		4	20		
共通科目の計					60単位以上		38		10		12	60		

大阪芸術大学短期大学部からの編入学 ビジュアルデザイン領域 (映像メディアデザイン)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	基礎実習Ⅱ(スペースデザイン)	2				10		
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前後		2										
	美術リテラシー(描画)	1・2前後		2				デッサンⅠ	2					
	美術リテラシー(工芸)	1・2前		2										
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前		2										
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前		2						美術リテラシー(デジタル)	2			
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後		2				コンピュータ基礎	2					
	美術リテラシー(Web)	1・2前後		2						美術リテラシー(Web)	2			
小計							6		4			10		
共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2			5単位必修	専攻実習Ⅰ(ビジュアルデザイン) 専攻実習Ⅱ(ビジュアルデザイン) 専攻実習Ⅲ(ビジュアルデザイン) 専攻実習Ⅳ(ビジュアルデザイン) 卒業制作 基礎実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	2				5		
	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3					2						
	ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3			9単位必修		2				9		
	ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3					2						
	ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3					4						
	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4		8単位選択必修				ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	4		8	
	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4						ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	4			
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4										
	映像メディア	映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	3前	4				8単位必修			映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	4		24
		映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	3前	4							映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	4		
映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)		3後		8		8単位選択必修			映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	8				
映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)		3後		8										
美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)		4前	2			8単位必修				美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)	2			
美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)		4前	2							美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)	2			
美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)		4前	2							美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)	2			
美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)		4前	2							美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	2			
小計							14		24		8	46		
卒業作業	卒業制作	4後	8			8単位必修				卒業制作	8	8		
小計											8	8		
専門科目の計						64単位以上		20		28	16	64		
合計							58		38		28	124		

履修モデル 美術学部美術学科

大阪芸術大学短期大学部からの編入学

ビジュアルデザイン領域 (イラストレーション)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由			科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目 一般教養	初年次 アカデミックリテラシー	1前	2			2単位必修	研究指導Ⅰ	1					2		
	人文	哲学概論	1・2前後	2			4単位以上選択必修	哲学	2					8	
		文学	1・2前後	2				文学	2						
		心理学	1・2前後	2											
		教育学概論	1・2前後	2											
		教育心理学	3・4前	2								教育心理学	2		
	教育哲学	3・4前後	2						教育哲学	2					
	社会・歴史	法学	1・2前後	2			4単位以上選択必修	法学	2					10	
		日本国憲法	2・3前後	2				日本国憲法	2						
		法学特論	3・4前後	2								法学特論	2		
		知的財産法A	2・3前後	2					メディアと著作権	2					
		知的財産法B	2・3前後	2											
		歴史学概論	1・2前後	2											
	経済学	1・2前後	2				経済学	2							
	体育	体育	1・2通		2			体育講義	1					2	
		体育実技						体育実技	1						
	外国語	英語Ⅰ	1通	2			2単位必修	英語Ⅰ	2					2	
		英語Ⅱ	2・3前後		2		2単位以上選択必修								
		フランス語Ⅰ	1・2前後		2										
		フランス語Ⅱ	2・3前後		2										
	造形	造形表現(彫刻A)	1・2前後	2			4単位以上選択必修							6	
		造形表現(彫刻B)	1・2前後	2											
		造形表現(描画A)	1・2前後	2											
		造形表現(描画B)	1・2前後	2											
		造形表現(工芸A)	1・2前後	2											
		造形表現(工芸B)	1・2前後	2								基礎実習Ⅵ(工芸)	2		
		造形表現(デザインA)	1・2前後	2								デッサンⅡ	2		
		造形表現(デザインB)	1・2前後	2								表現研究Ⅳ(イラストレーション)	2		
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2										6	
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2											
コンピュータ編集		2・3前後	2												
コンピュータハードウェア		2・3後	2							コンピュータハードウェア	2				
コンピュータネットワーク		2・3前	2							コンピュータネットワーク	2				
コンピュータグラフィックス		2・3後	2												
ウェブデザインⅠ		1前	2							CG制作演習	2				
ウェブデザインⅡ		1後	2												
ウェブデザイン演習		2前	2												
ウェブプログラミング演習		2後	2												
マルチメディア演習		2前	2												
3D表現	2前後	2													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数		
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位			
一般教養	総合	原典講読	3・4前	2		4単位以上選択必修							4		
		教養演習	3・4後	2							教養演習	2			
		環境科学	1・2前後	2											
		キャリアデザイン講座	3・4前後	2								キャリアデザイン講座		2	
		ボランティア講座	2・3通	2											
小計							26		6		8	40			
共通科目	専門教養	美術理論	美学概論	1・2前後	2		6単位以上選択必修	美学概論 I	2				14		
			色彩概論	1・2前後	2			2単位必修	色彩学	2					
			色彩特論	3・4前後	2									色彩特論	2
			造形美術論 I	1・2前後	2			2単位必修			造形美術論 I	2			
			造形美術論 II	1・2前後	2										
			造形図法	1・2前後	2										
			構図論	1・2前後	2										
			美術解剖学	1・2前後	2										
			美術表現論	2・3前後	2										
			現代美術論	3・4前後	2										
			デザイン概論	1・2前後	2			2単位必修		デザイン史 I	2				
			デザイン特論	3・4前後	2									デザイン特論	2
			映像論	3・4前後	2										
			絵本論	3・4前後	2										
			漫画論	3・4前後	2										
			身体表象論	3・4前後	2										
			工芸論	3・4前後	2					工芸論	2				
			環境デザイン論	3・4前後	2										
			パフォーミング・アーツ論	3・4前後	2										
			美術教育論	3・4前後	2										
			芸術企画論	3・4前後	2										
			博物館概論	1・2前後	2										
			美術史	西洋美術史 I	1前	2			2単位必修	4単位以上選択必修	美術史 I	2			
西洋美術史 II	1・2後	2													
西洋美術史特論	3・4前後	2													
西洋工芸史	3・4前後	2													
日本美術史 I	1前	2			※日本美術史 I、東洋美術史のどちらか選択必修										
日本美術史 II	1・2後	2													
東洋美術史	1・2前後	2				美術史 II	2								
造形演習	絵画	3前後	2		2単位以上選択必修			絵画	2			2			
	工芸	3前後	2												
	ビジュアルデザイン	3前後	2												
小計							12		4		4	20			
共通科目の計						60単位以上	38		10		12	60			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			卒業要件	認定		3年次		4年次		履修単位数	
			必修	選択	自由		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基礎実技	美術リテラシー(導入)	1前	2			2単位必修	10単位以上選択必修	基礎実習Ⅱ（スペースデザイン）	2				10	
	美術リテラシー(彫刻)	1・2前	2											
	美術リテラシー(描画)	1・2前後	2						デッサンⅠ	2				
	美術リテラシー(工芸)	1・2前	2											
	美術リテラシー(デザイン)	1・2前	2											
	美術リテラシー(デジタル)	1・2前	2							美術リテラシー(デジタル)	2			
	美術リテラシー(DTP)	1・2前後	2							コンピュータ基礎	2			
	美術リテラシー(We b)	1・2前後	2							美術リテラシー(We b)	2			
小計								6		4			10	
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2		5単位必修	22単位必修	専攻実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	2				5	
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3				専攻実習Ⅱ(ビジュアルデザイン)	2					
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3		9単位必修		専攻実習Ⅲ(ビジュアルデザイン)	2					
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3				専攻実習Ⅳ(ビジュアルデザイン)	2					
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3				卒業制作基礎実習Ⅰ(ビジュアルデザイン)	4					
	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後		4	8単位選択必修				ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	4			8	
	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後		4										
	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後		4					ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	4				
	イラストレーション領域	イラストレーションⅠ(発想と描写①)	3前	4		24単位必修				イラストレーションⅠ(発想と描写①)	4			24
		イラストレーションⅡ(発想と描写②)	3前	4						イラストレーションⅡ(発想と描写②)	4			
イラストレーションⅢ(エディトリアル)		3後	4					イラストレーションⅢ(エディトリアル)	4					
イラストレーションⅣ(絵本)		3後	4					イラストレーションⅣ(絵本)	4					
美術研究Ⅰ(イラストレーション)		4前	2						美術研究Ⅰ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅱ(イラストレーション)		4前	2						美術研究Ⅱ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅲ(イラストレーション)		4前	2						美術研究Ⅲ(イラストレーション)	2				
美術研究Ⅳ(イラストレーション)		4前	2						美術研究Ⅳ(イラストレーション)	2				
小計								14		24		8	46	
制卒業作業	卒業制作	4後	8		8単位必修					卒業制作	8		8	
小計												8	8	
専門科目の計					64単位以上			20		28		16	64	
合計								58		38		28	124	